

工 事 番 号							
設計年度	令和4年度	橋梁補修工事（市道沼田東町北部68号線1号橋梁（納所橋）外1橋） 三原市 沼田東町納所外					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
橋梁補修 N=2橋 断面修復工 V=0.557m ³ ひび割れ補修工 L=25.5m 表面含浸工 A=81m ² 水切設置工 L=126m 仮設工 一式							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、橋梁補修工事（市道沼田東町北部68号線1号橋梁（納所橋）外1橋）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・**土木工事共通仕様書（令和4年8月）広島版**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

・その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限

施工内容	工事全般
時期	全工事期間
時間	調整による
施工方法・理由	工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い理解を得たうえで施工を行うこと。

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
作業期間中、仮設工及び、殻運搬時に交通誘導員2（人／日）見込んでいる。

第4節 工事用道路

1 一般道路

使用期間

工事施工期間

使用時間

8時～17時

工事中・後の処置

随時 清掃, 工事後 舗装欠損部補修 (工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)

第5節 建設副産物

1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所

受注者が責任をもって確保すること。

2 各補修工の事前調査

1) 受注者は、橋梁洗浄後に補修図をもとに詳細計測を行い、補修内容について発注者と協議を行った後、施工を行うこと。

3 塗替塗装工の塗膜剥離調査

1) 受注者は、既設の塗膜について剥離調査を実施し、剥離に要する材料の使用量など事前に監督員へ報告すること。

4 有害物質を含む塗膜等の処分

1) 受注者は有害物質を含む塗膜殻について、特別管理産業廃棄物として適切に処理しなければならない。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和4年8月）『1-1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 施工箇所が点在する工事の積算

本案件は、施工箇所が点在する工事の適正な工事価格を算出するため、参考図書に示す工事箇所と施工箇所を基に次の算定方法とする。

算定方法

(1) 工事原価

ア 直接工事費

施工数量及び施工規模等は工事箇所ごとに判断し、施工箇所ごとに直接工事費を算定する。

イ 間接工事費

(ア) 共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、工種区分はその工事箇所の主たるものを適用する。

b 共通仮設費率の補正

工事箇所ごとに施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

c 積上げ計算による部分

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

(イ) 現場管理費

a 現場管理費の算定

対象とする純工事費は工事箇所ごとに算定する。

b 現場管理費率の補正

工事箇所ごとに施工時期、工事期間、施工地域及び工事場所区分の補正を行う

(ウ) 中止期間中の現場維持費等の費用

a 積上げ項目

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

b 率で計上する項目

対象額及び一時中止日数は施工箇所ごとに算定する。

(2) 一般管理費等

ア 一般管理費等の算定

対象とする工事原価は(1)の計による。

なお、処分費等が「共通仮設費対象額(P) + 準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合、率計算の対象については、工事箇所ごとに対象額を算出する。

第5章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第6章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事	納所橋	式	1	レベル1
橋梁補修工		式	1	レベル2
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有り	構造物	1	レベル4
補修工事高力ボルト本締工		式	1	レベル3
補修工事高力ボルト本締工		式	1	レベル4
塗膜処分費		式	1	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工	後付け型水切材	m	97	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	Co殻	m3	0.3	レベル4
殻処分	Co殻	m3	0.3	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事	大板橋	式	1	レベル1
橋梁補修工		式	1	レベル2
ひび割れ補修工		式	1	レベル3
低圧注入工法	超微粒子セメント系	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有り	構造物	1	レベル4
左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない	構造物	1	レベル4
表面含浸工		式	1	レベル3
下地処理工	サンダーケレン	m2	81	レベル4
表面含浸工	ケイ酸塩系含浸材	m2	81	レベル4
FRPシート接着工		式	1	レベル3
紫外線硬化型FRPシート設置工		式	1	レベル4
支承補修工		式	1	レベル3
鋼材	SS400 t=25mm	枚	4	レベル4
香座モルタル	無収縮モルタル	m3	0.03	レベル4
アンカー工		本	4	レベル4
樹脂充填工	エポキシ樹脂系注入材 D25/260	式	1	レベル4

工事数量総括表

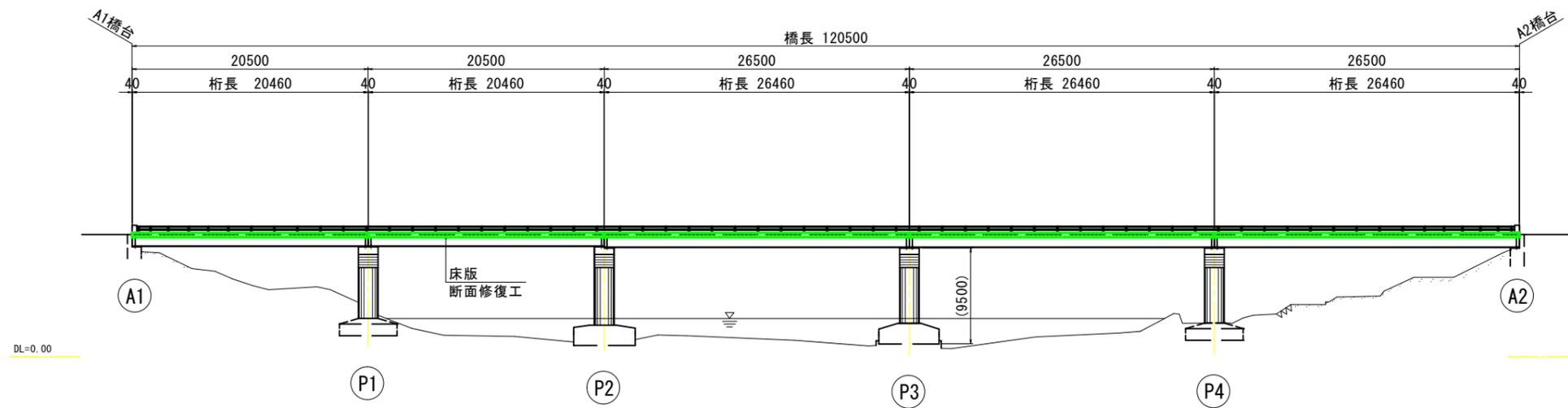
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
塗膜剥離工		式	1	レベル3
湿式塗膜剥離工	湿式塗膜剥離剤工法	m2	118	レベル4
塗膜収集運搬		式	1	レベル4
塗膜受入		式	1	レベル4
湿式塗膜剥離剤工用養生設備工		式	1	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工	後付け型水切材	m	29	レベル4
伸縮部補修工		式	1	レベル3
伸縮部補修		m	16.5	レベル4
現場塗装工		式	1	レベル2
橋梁塗装工		式	1	レベル3
素地調整	3種ケレンA	m2	118	レベル4
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下	m2	118	レベル4
中塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料用中塗	m2	118	レベル4
上塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料用上塗	m2	118	レベル4
表面皮膜処理工	脱脂剤兼用防錆被膜処理剤	m2	35	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3

工事数量総括表

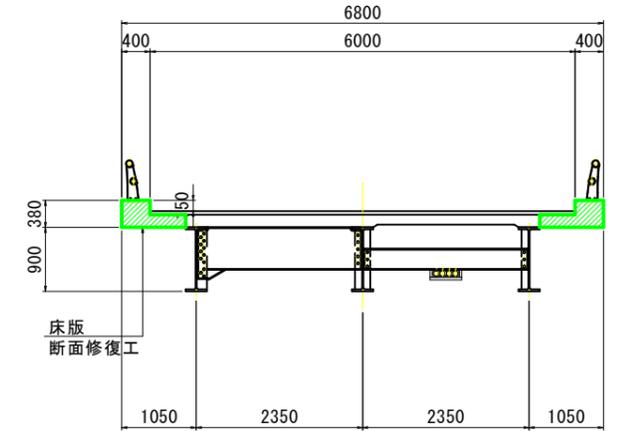
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物	m3	0.01	レベル4
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート削孔工	削孔深さ200mm以上400mm以下	孔	4	レベル4
殻運搬	Co殻	m3	0.3	レベル4
殻処分	Co殻	m3	0.3	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4
** 直接工事費 **				
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
鉄筋探査工	下向き	m2	0.5	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				

納所橋 補修対策工一般図

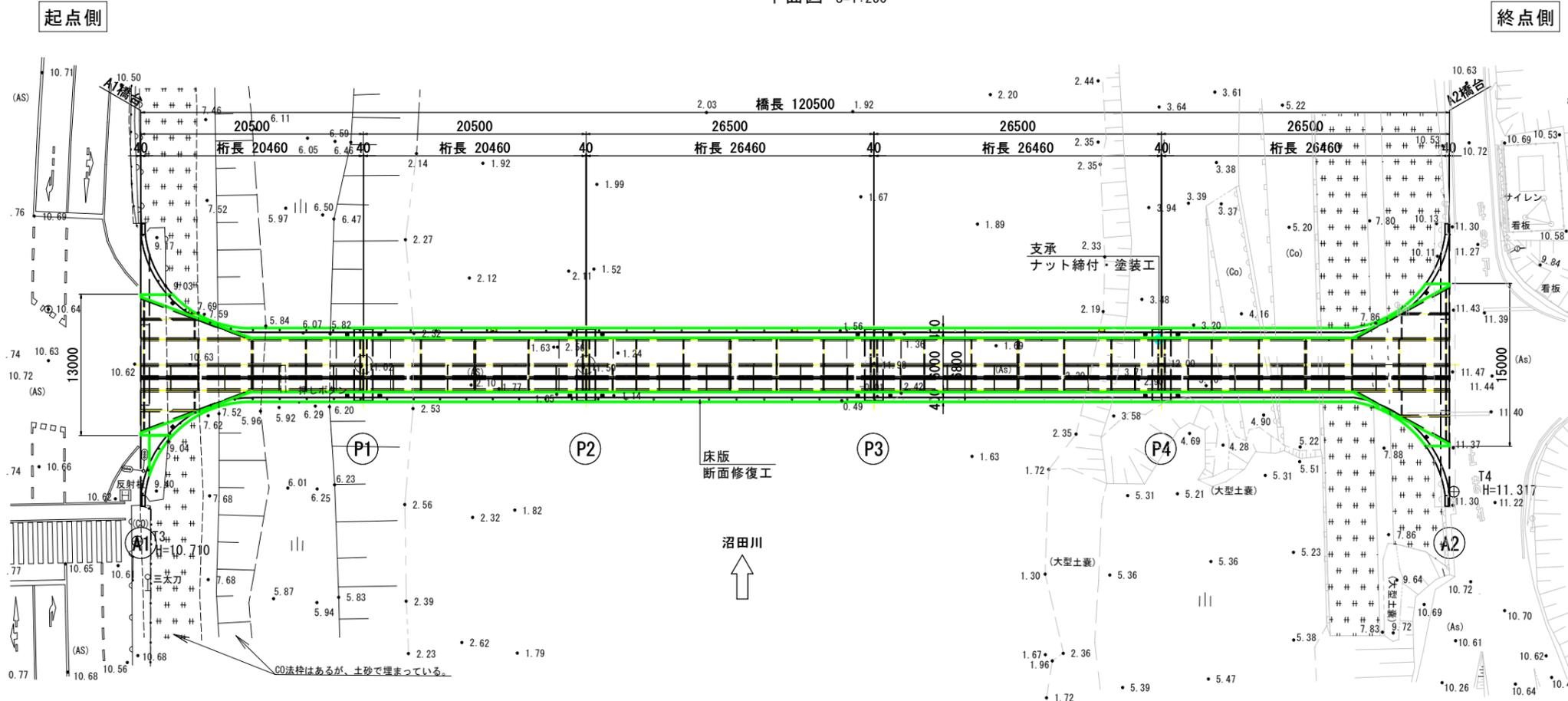
側面図 S=1:250



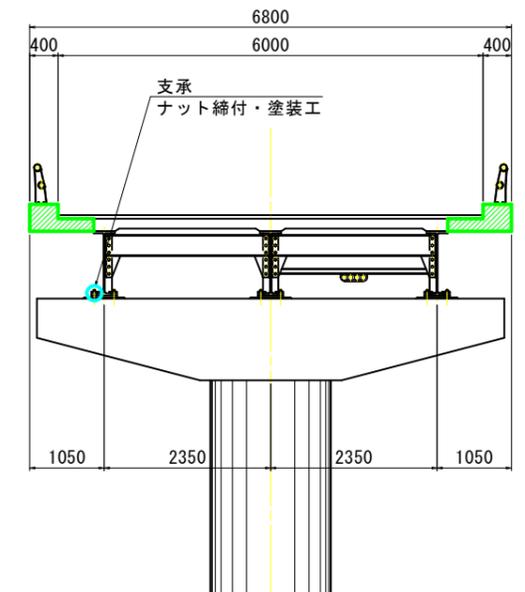
上部工断面図 S=1:50
(標準部)



平面図 S=1:250



上部工断面図 S=1:50
(下部工部)



納所橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線1号橋梁(納所橋)外1橋)
図面名	納所橋 補修対策工一般図
場所	三原市沼田東町納所
縮尺	図示 図面番号 1 / 7
三原市	

納所橋 補修図 (その1) S=1:50

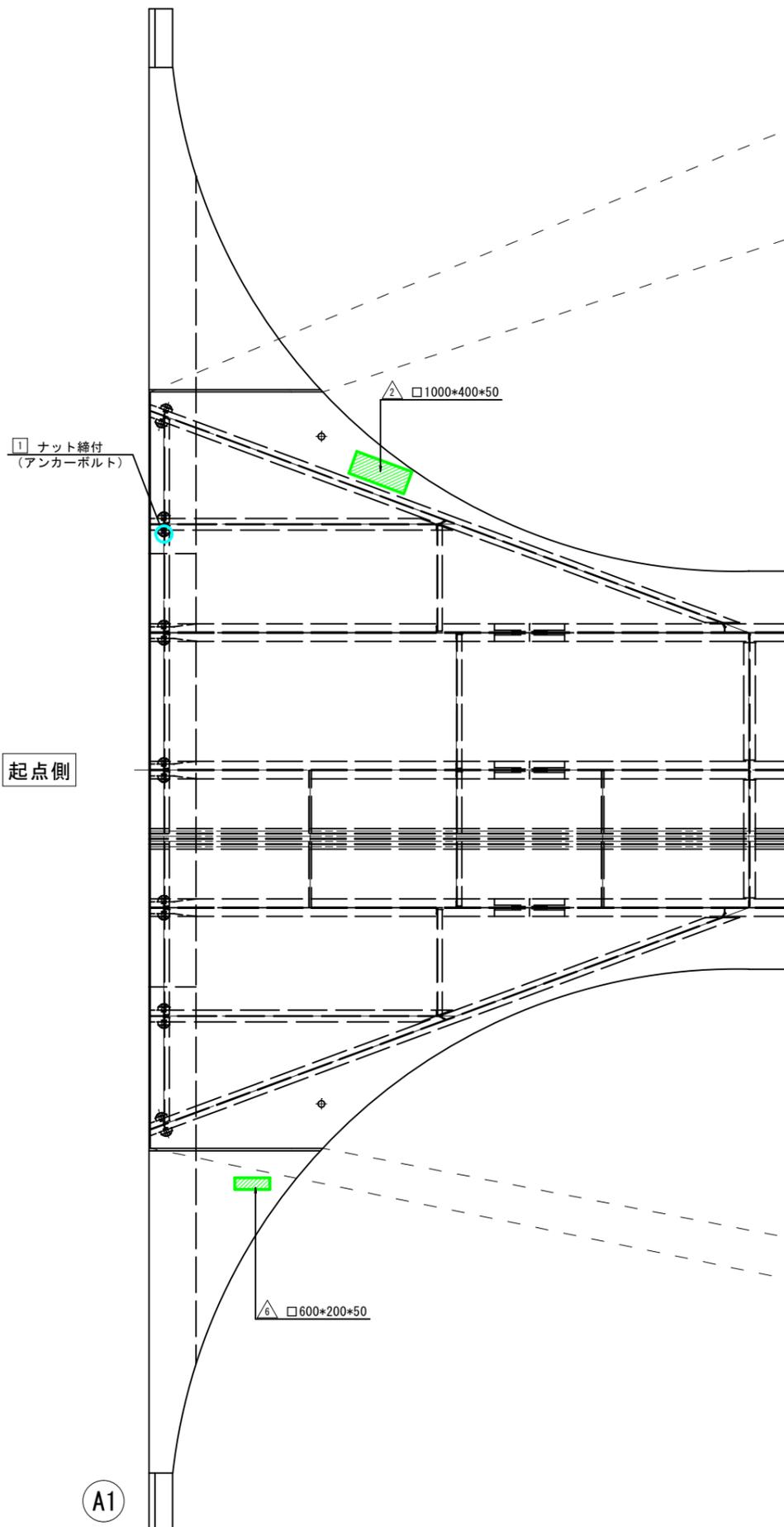
桁下面 (A1~P1)

凡例

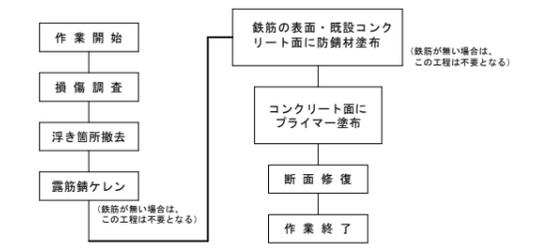
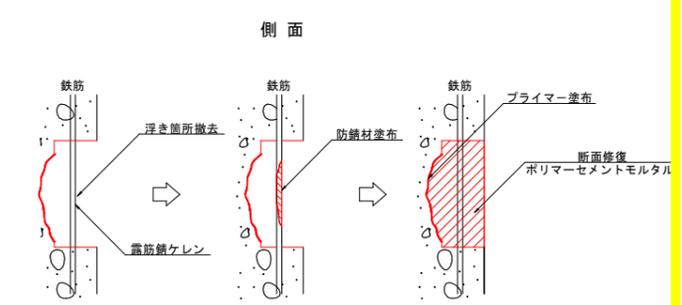
補修の種類	表示
断面修復	
その他修復	

※ ○, △, □, ▽ の数字は、補修番号を示す。

側面図 (地覆外側 下流側)



断面修復工 (参考図)



側面図 (地覆外側 上流側)



A1

P1

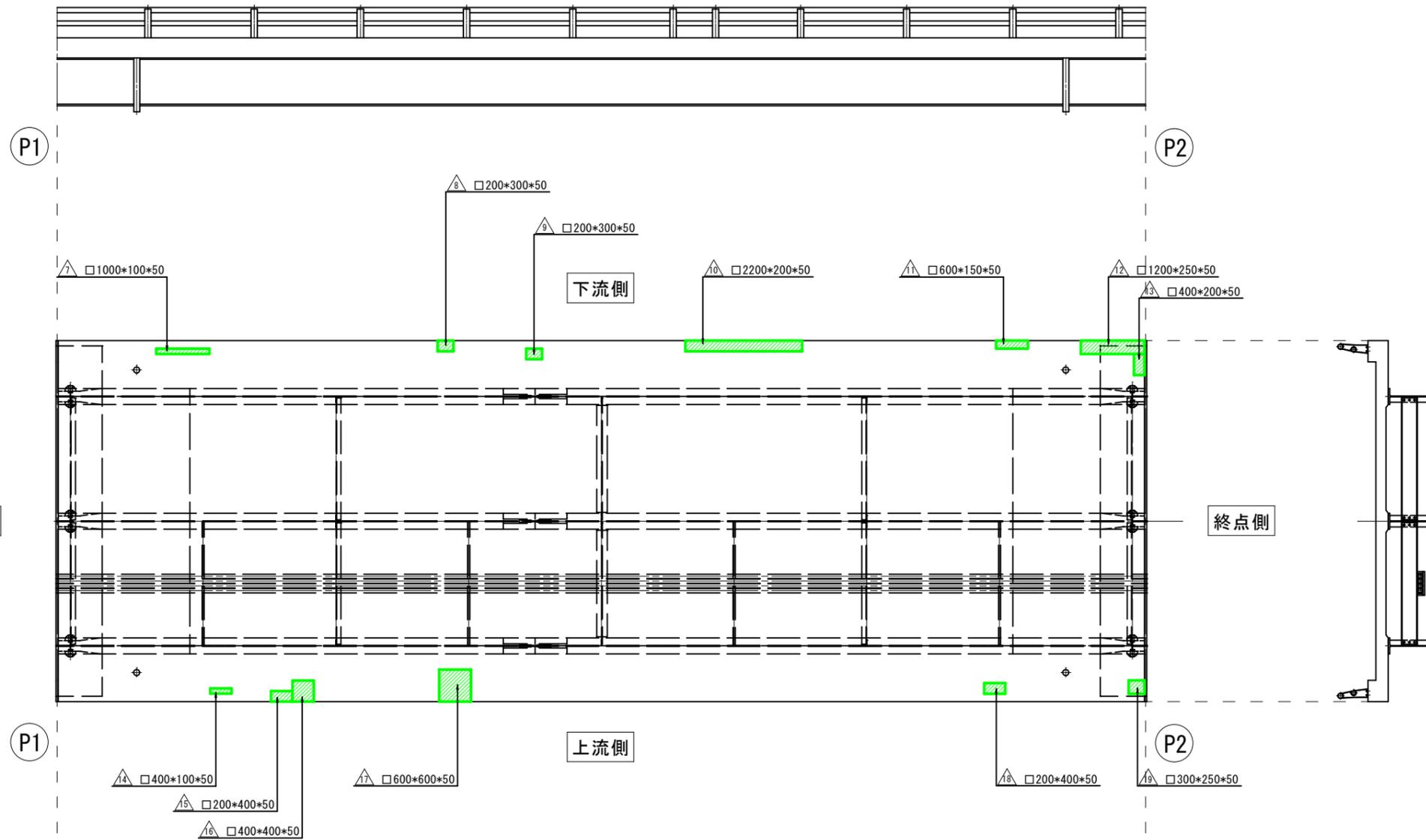
- (特記事項)
1. 図中詳細寸法は、現地計測のうえ決定すること。
 2. 断面修復部に関しては、コンクリート脆弱部を確認し、修復深さ・範囲を決定すること。
(端部はL字カットを行うこと)
 3. 鉄筋を露出する場合は、鉄筋背面まではつり出すこと。
 4. 断面修復部の施工は左官工法とするが、状況に応じて工法を決定すること。
 5. 既設鉄筋が腐食し、断面減少が著しい場合は、新たに鋼材(既設鉄筋径)を追加する。
 6. はつり深さは想定である。既設鉄筋の裏側10mm程度を目安にすること。
(断面修復の深さは、50mmと想定し数量計上する。)

納所橋			
工事名	橋梁補修工事 市道沼田東町北部68号線1号橋梁(納所橋)外1橋		
図面名	納所橋補修図		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	2 / 7
三原市			

納所橋 補修図 (その2) S=1:50

桁下面 (P1~P2)

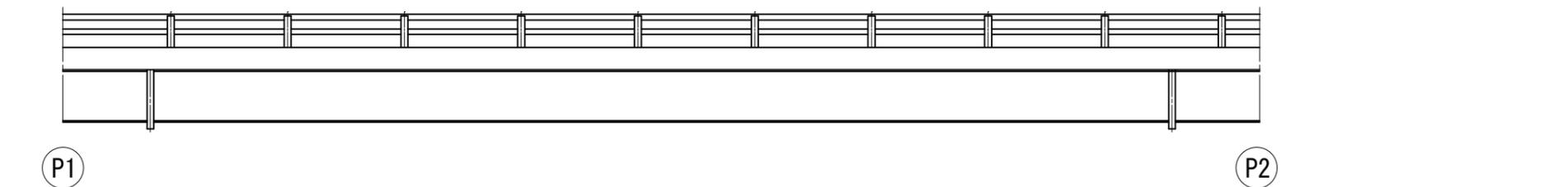
側面図 (地覆外側 下流側)



凡例	
補修の種類	表示
△	断面修復

※ ○、△、□、▽の数字は、補修番号を示す。

側面図 (地覆外側 上流側)



納所橋	
工事名	橋梁補修工事 市道沼田東町北部08号線1号橋梁(納所橋)外1橋
図面名	納所橋補修図
場所	三原市沼田東町納所
縮尺	図示
図面番号	3 / 7
三原市	

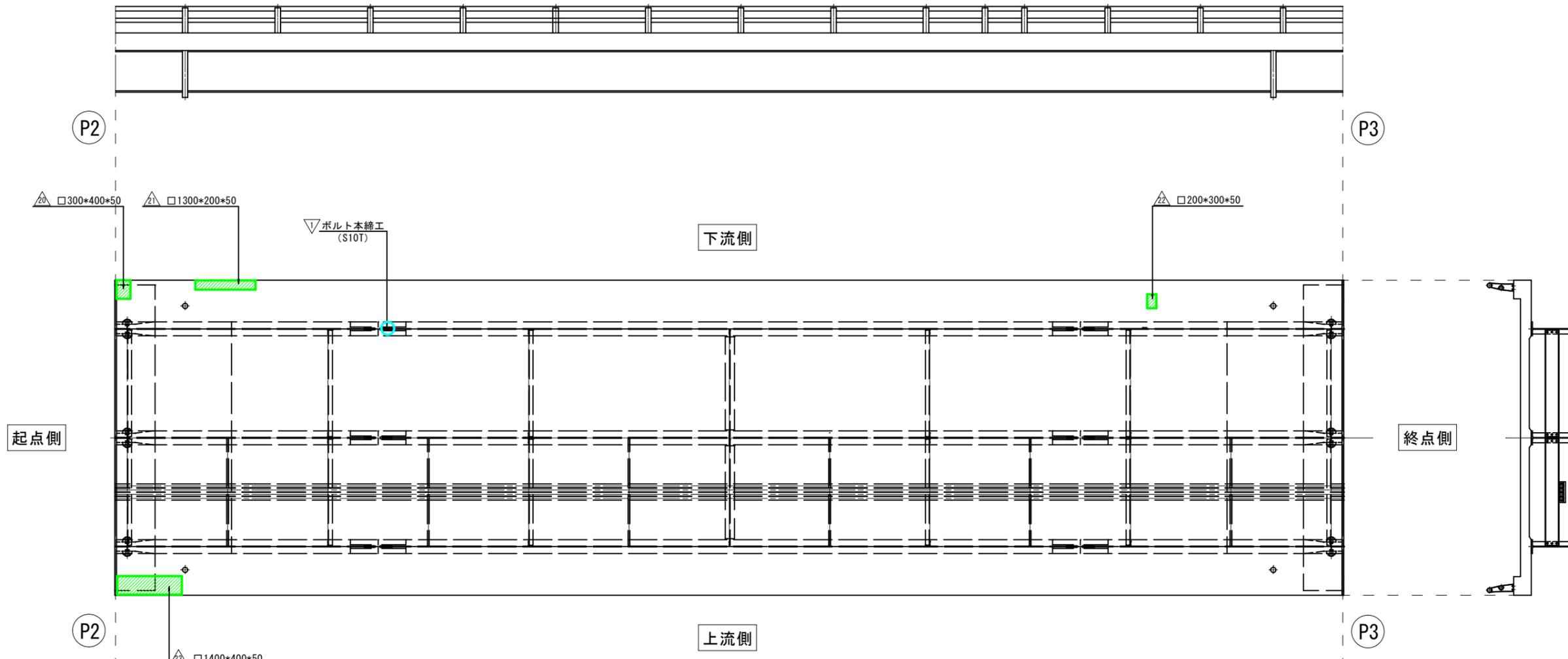
納所橋 補修図 (その3) S=1:50
 桁下面 (P2~P3)

側面図 (地覆外側 下流側)

凡例

補修の種類	表示
断面修復	
その他修復	

※ ○, △, □, ▽ の数字は、補修番号を示す。



側面図 (地覆外側 上流側)

納所橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線1号橋梁(納所橋)外1橋)
図面名	納所橋補修図
場所	三原市沼田東町納所
縮尺	図示 図面番号 4 / 7
三原市	

納所橋 補修図 (その4) S:1:50

桁下面 (P3~P4)

側面図 (地覆外側 下流側)



凡例

補修の種類	表示
△	断面修復
□	その他修復

※ O, △, □, ▽ の数字は、補修番号を示す。

側面図 (地覆外側 上流側)



塗替塗装仕様 Rc-I 塗装系 (スプレー ※1)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2種	—	4時間以内
下塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日 ※2
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

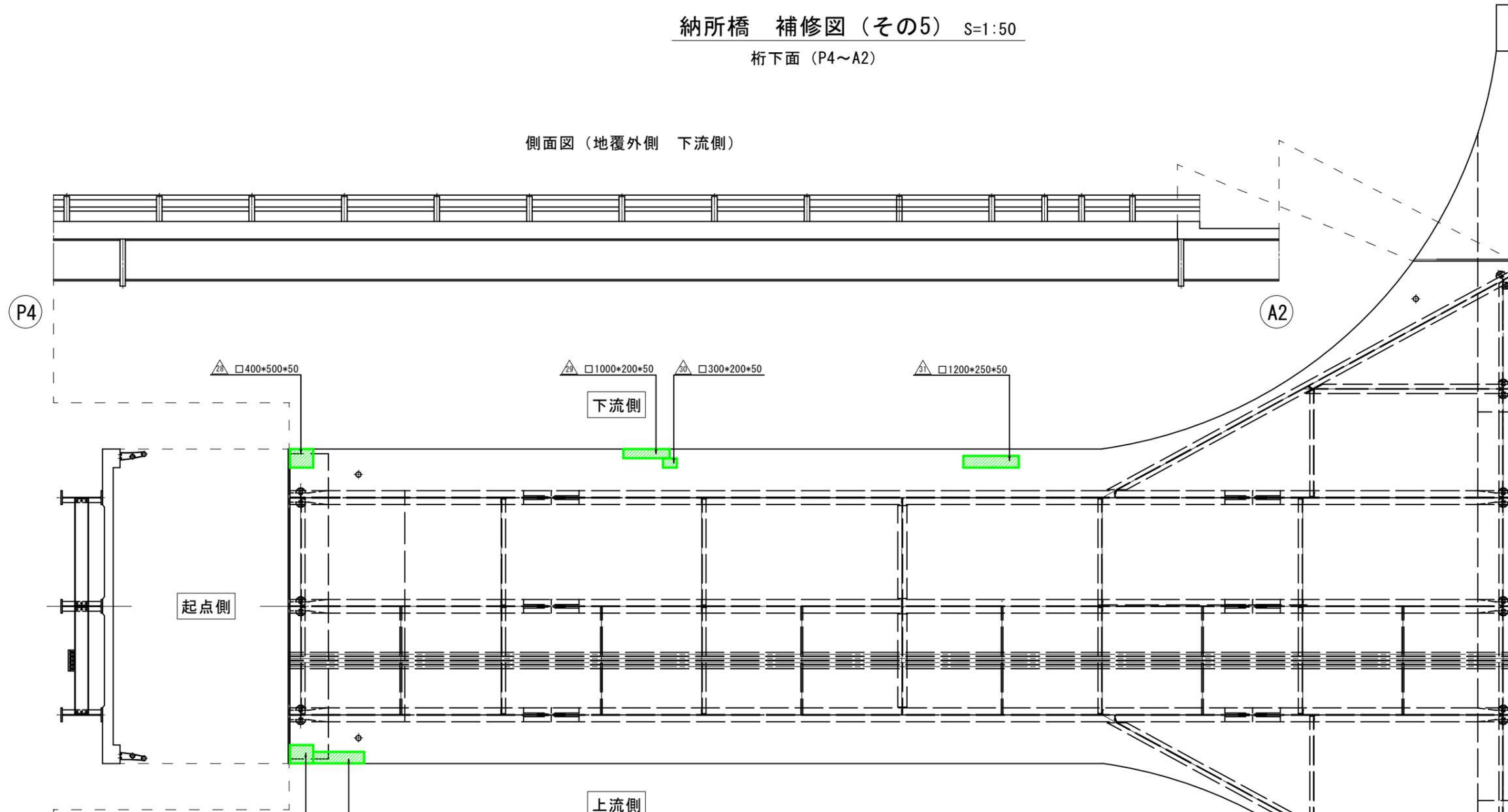
※1. 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
 ※2. 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
 ※3. 狭隙部等施工困難箇所については、発注者との協議の上で、塗装系の変更も考慮すること。
 ※4. 塗替は、支承のナット締付時を対象としている。

納所橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線1号橋梁(納所橋)外1橋)
図面名	納所橋補修図
場所	三原市沼田東町納所
縮尺	図示 図面番号 5 / 7
三原市	

納所橋 補修図 (その5) S=1:50

桁下面 (P4~A2)

側面図 (地覆外側 下流側)



側面図 (地覆外側 上流側)



凡例

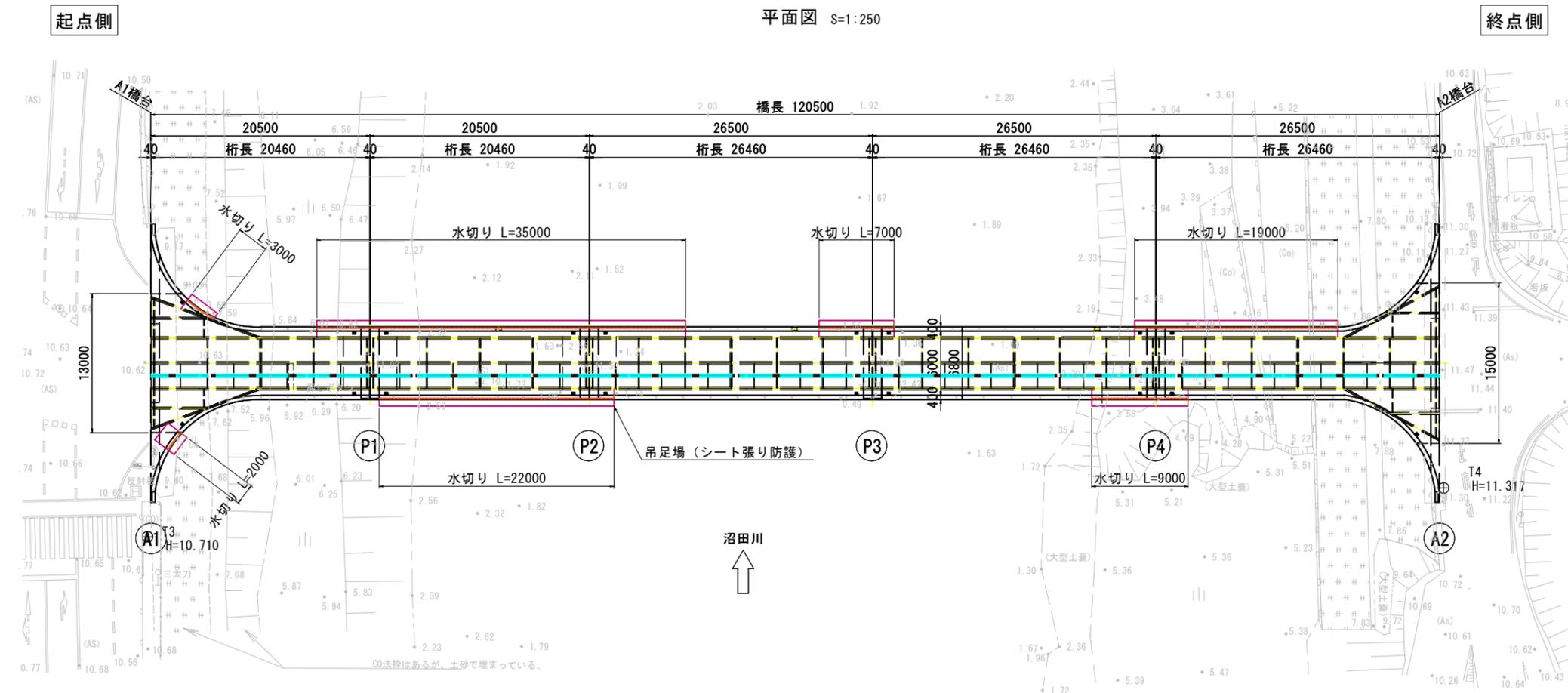
補修の種類	表示
断面修復	

※ ○、△、□、▽ の数字は、補修番号を示す。

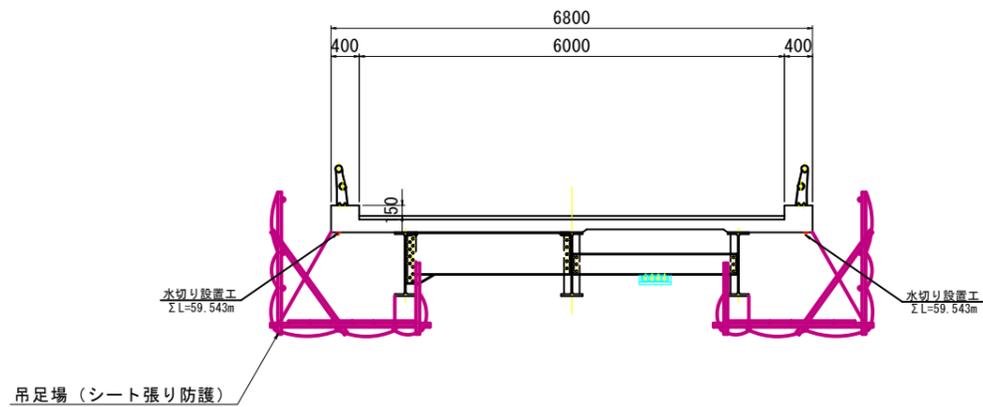
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線1号橋梁(納所橋)外1橋)		
図面名	納所橋補修図		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	6 / 7
三原市			

納所橋 補修図 (その6)

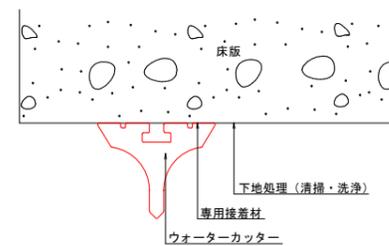
水切り設置工



上部工断面図 S=1:50
(標準部)



水切り設置工 (参考図)



施工手順

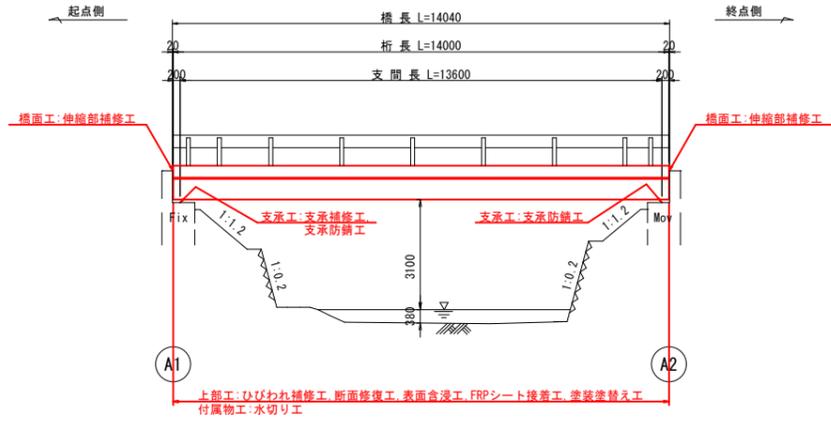


- 注) 1. 施工時には、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
 2. 施工時に発生する粉塵や酸及び補修材料が、河川内や周辺環境に影響しないよう適切な防護等を行うこと。
 3. 旧水切りがある場合は外側に取付けること。
 4. 水切りは、吊足場を設置する箇所を対象とする。

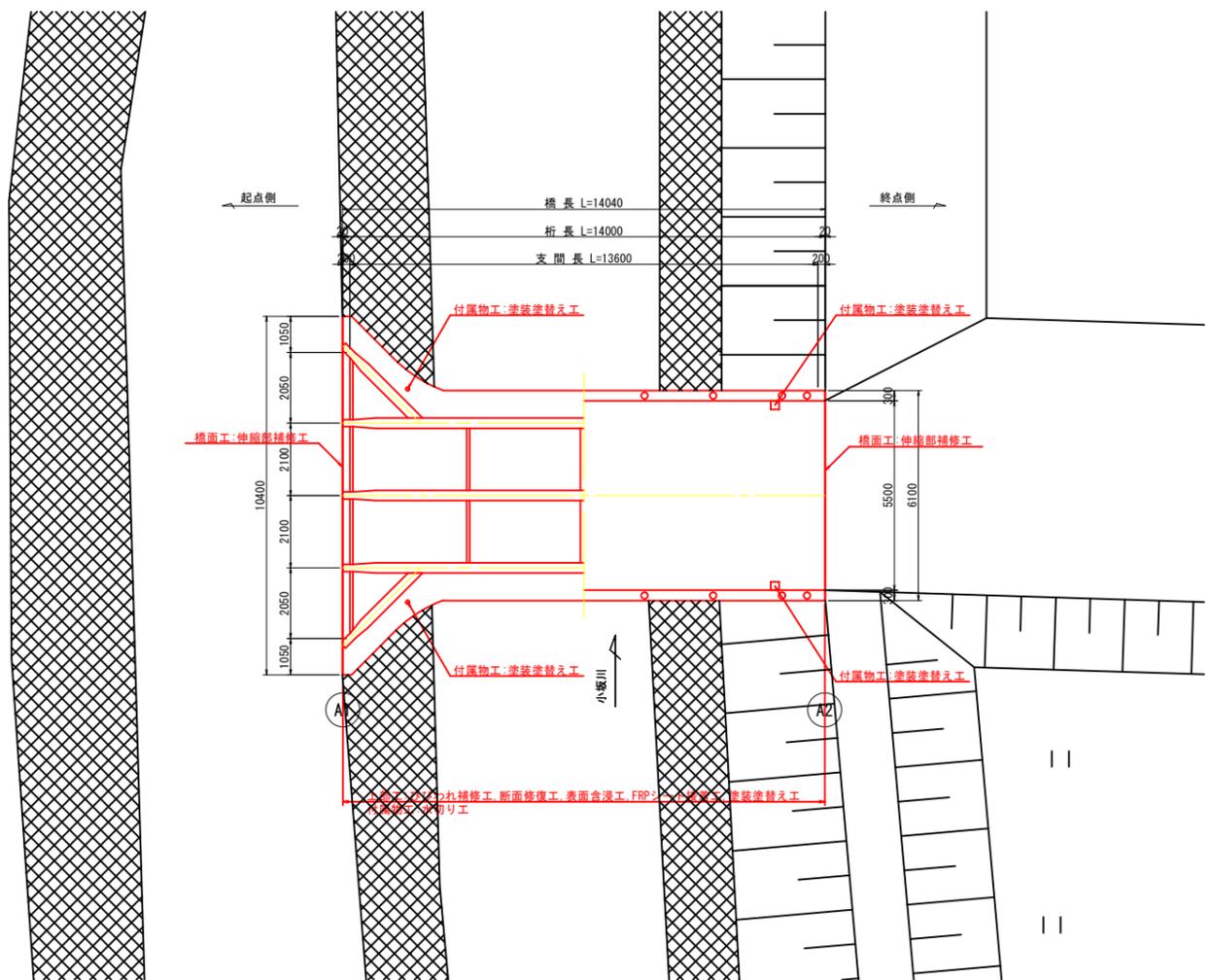
納所橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部03号線1号橋梁(納所橋)外1橋)
図面名	納所橋補修図
場所	三原市沼田東町納所
縮尺	図示 図面番号 7 / 7
三原市	

1号桥梁(大板橋) 補修計画一般図

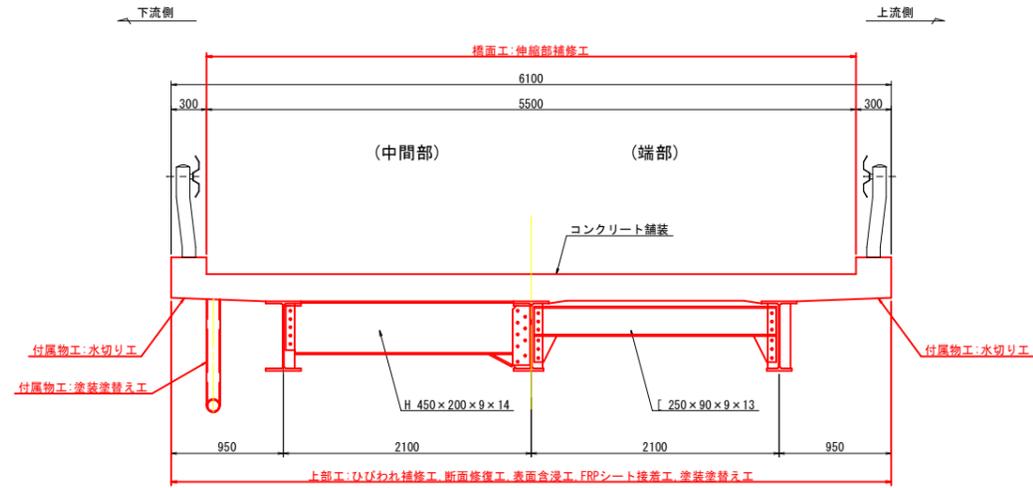
側面図 S=1:100



平面図 S=1:100



A2支点部



対策工法一覧表

- 伸縮部補修工
- ひびわれ補修工
- 断面修復工
- 表面含浸工
- 水切り工
- FRPシート接着工
- 支承補修工
- 支承防錆工
- 塗装塗替え工
- 仮設足場工
- 吊足場

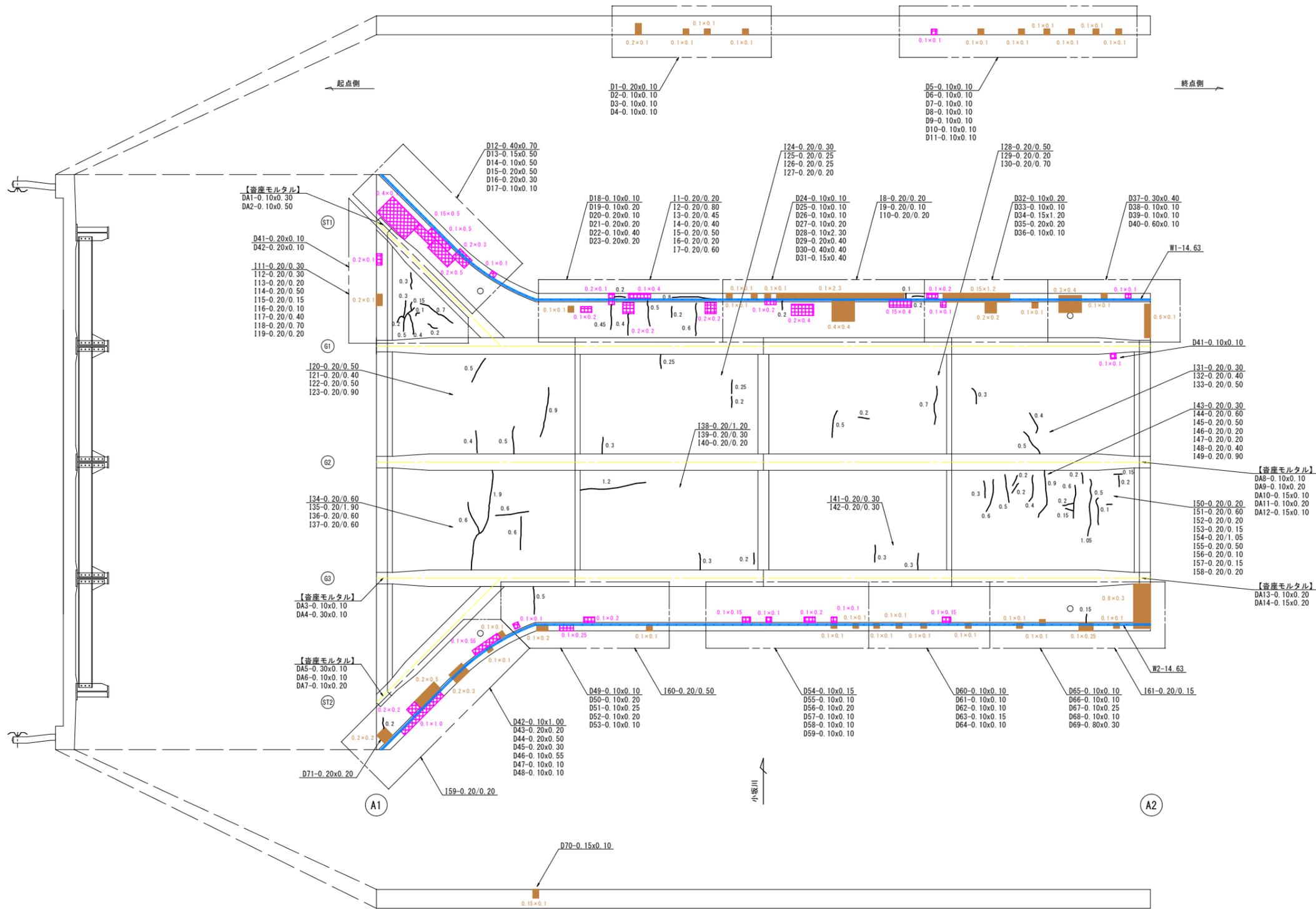
※一般図は、現地計測結果を基に作成したものである。

大板橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線1号橋梁(納所橋)外1橋)
図面名	大板橋 補修対策工一般図
場所	三原市沼田東町納所外
縮尺	図示 図面番号 1 / 7
三原市	

1号桥梁(大板橋) 補修図(その1)

S=1:40

桁下面



補修工法	
1	ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 1.0mm)
0	断面修復工(左官工法)
W	水切り工
10-0.00/0.00	補修工法 補修番号-幅/補修延長
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修縦
W0-0.00	補修工法 補修番号-補修延長

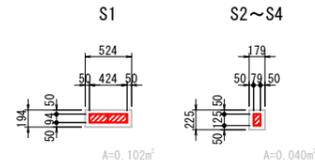
※ 本図面は、現地に簡易な計測を行い、作成したものである。
 ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
 ※ 土砂堆積、補生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
 ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

大板橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線1号橋梁(納所橋)外1橋)
図面名	大板橋 補修図(その1)
場所	三原市沼田東町納所外
縮尺	図示 図面番号 2 / 7
三原市	

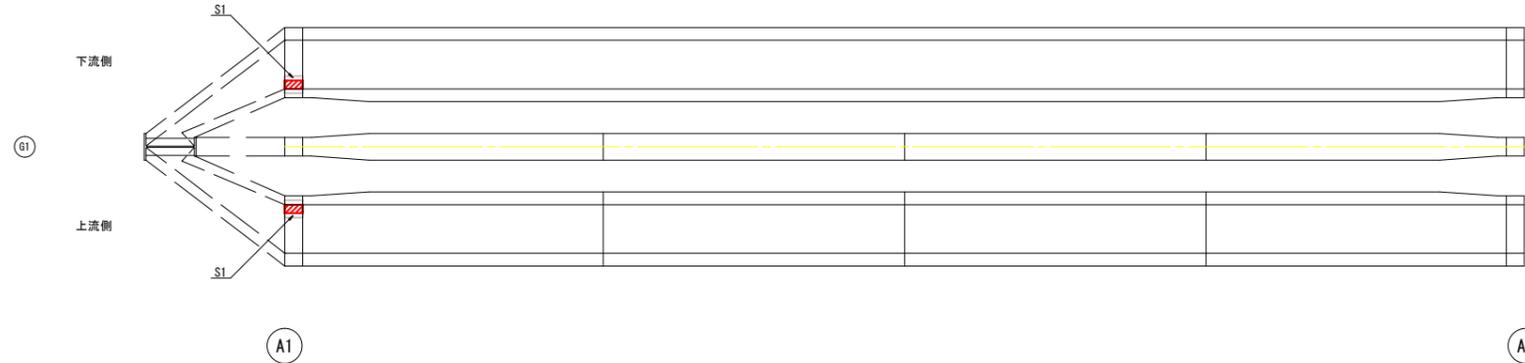
1号桥梁(大板橋) 補修図(その2)

S=1:40

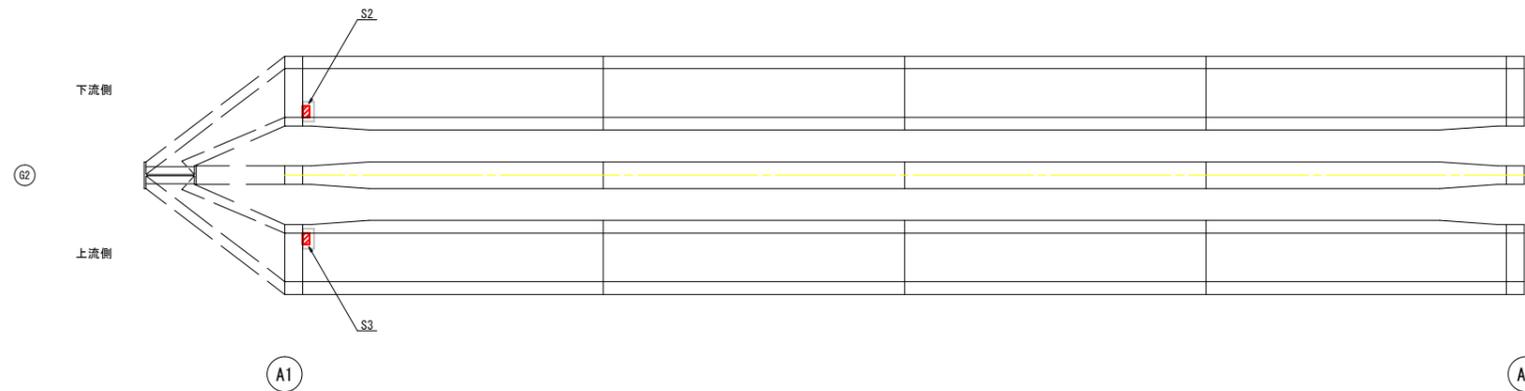
紫外線硬化型FRPシート詳細図 S=1:30



G1主桁展開図



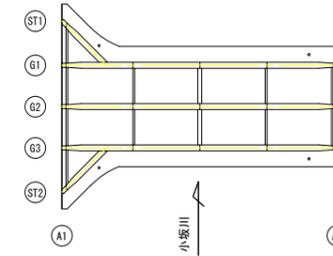
G2主桁展開図



G3主桁展開図



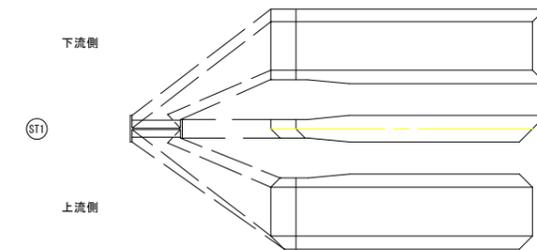
マーク図



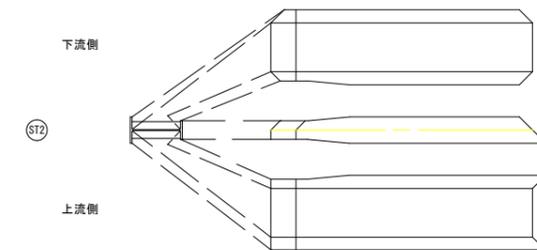
変状凡例

	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅5.0mm以上)
	長さ (m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	縦 × 横 (m) (m)	うき
	縦 × 横 (m) (m)	剥離・欠損
	縦 × 横 (m) (m)	鉄筋露出
	縦 × 横 (m) (m)	豆板
		遊離石灰
		漏水 (伝い水)
		腐食 (減肉)
		その他

ST1縦桁展開図



ST2縦桁展開図



凡例

補修工法	
S	FRPシート接着工
	鋼材 減肉部
S0-0.000	補修工法 補修番号-補修延長

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

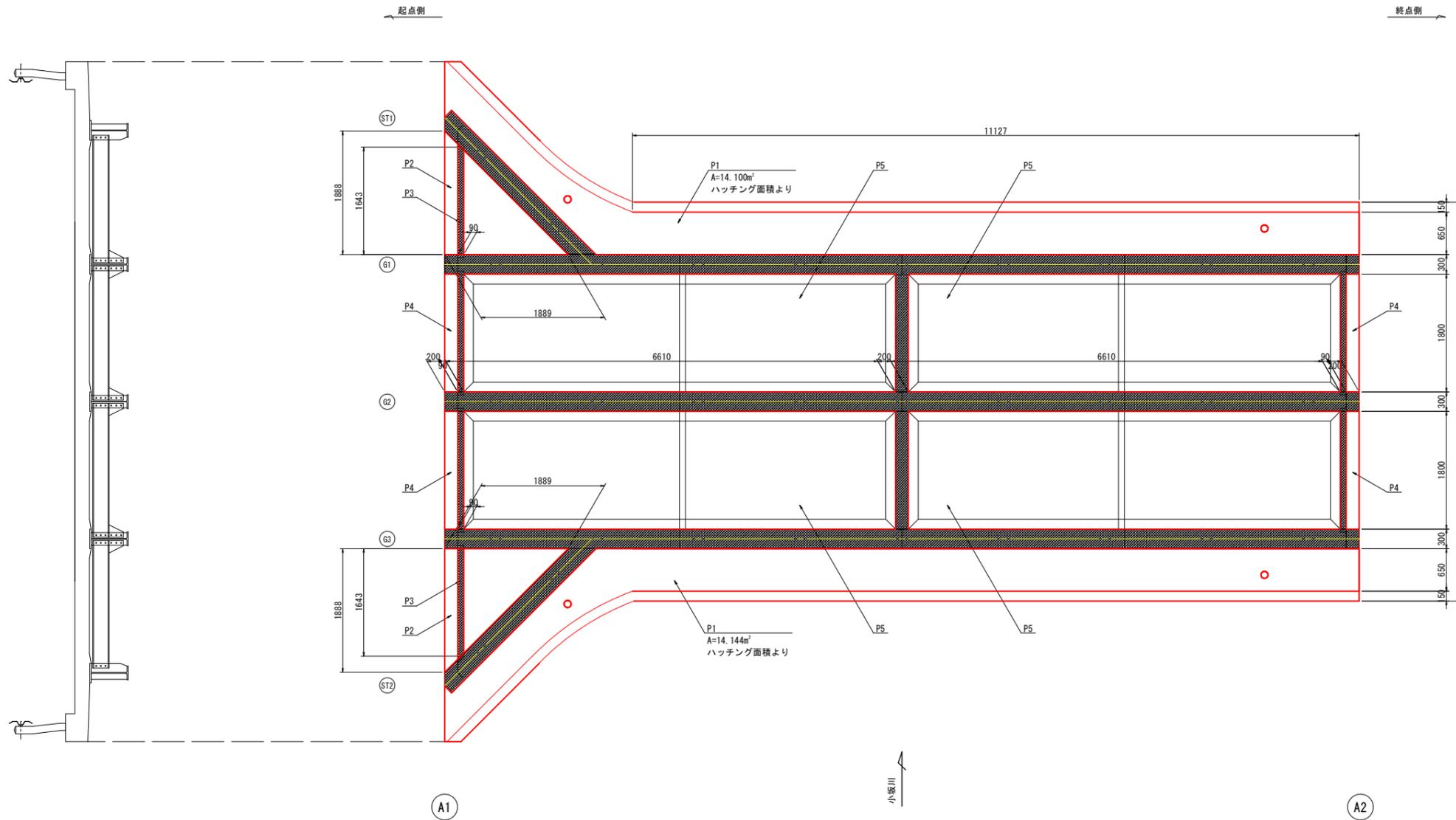
※ 鋼部材全体で防食機能の劣化(点錆)が見られる

大板橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線1号橋梁(納所橋)外1橋)		
図面名	大板橋 補修図(その2)		
場所	三原市沼田東町納所外		
縮尺	図示	図面番号	3 / 7
三原市			

1号桥梁(大板橋) 補修図(その3)

S=1:40

桁下面



凡例

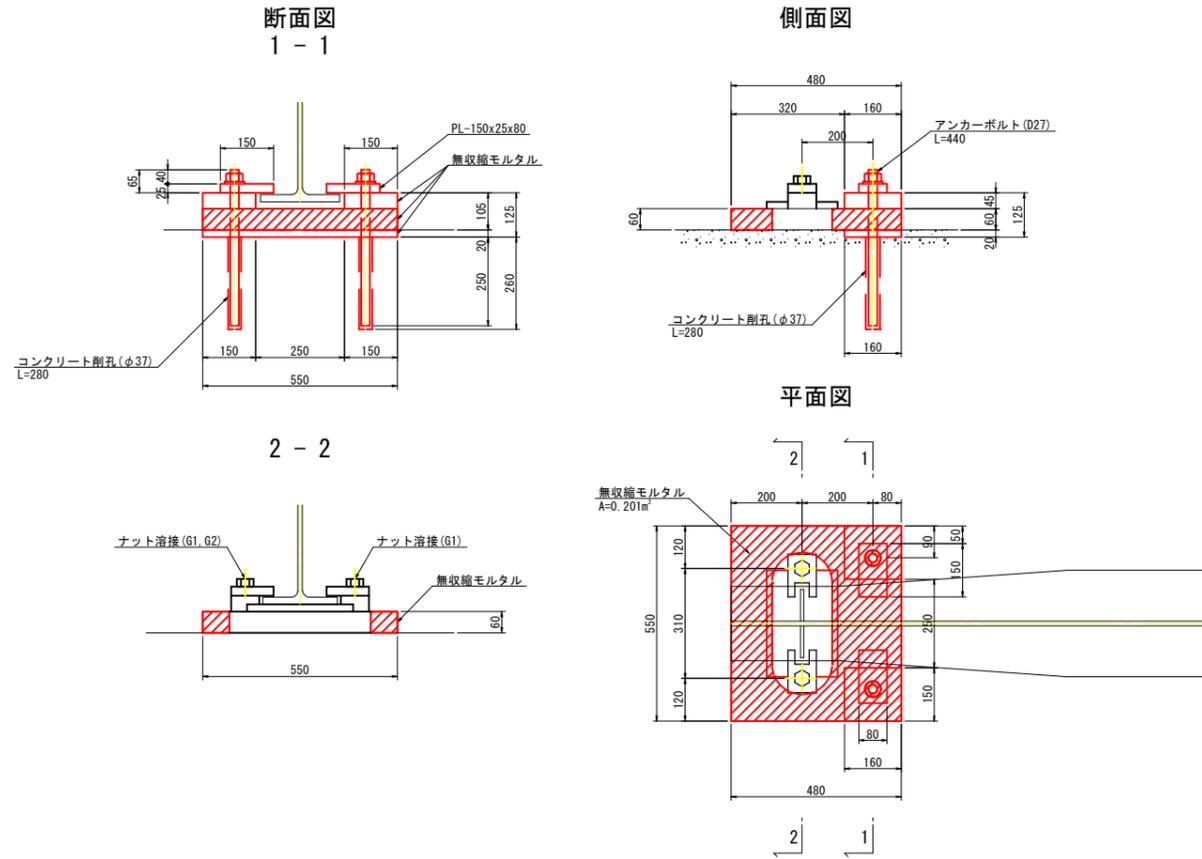
P		表面含浸工
		控除面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、補生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材はケイ酸ナトリウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25L/㎡以上とすること。
(1回目:0.15L/㎡ 2回目:0.10L/㎡)
- ※ 表面含浸材の塗布に先立って、反応促進剤を塗布すること。

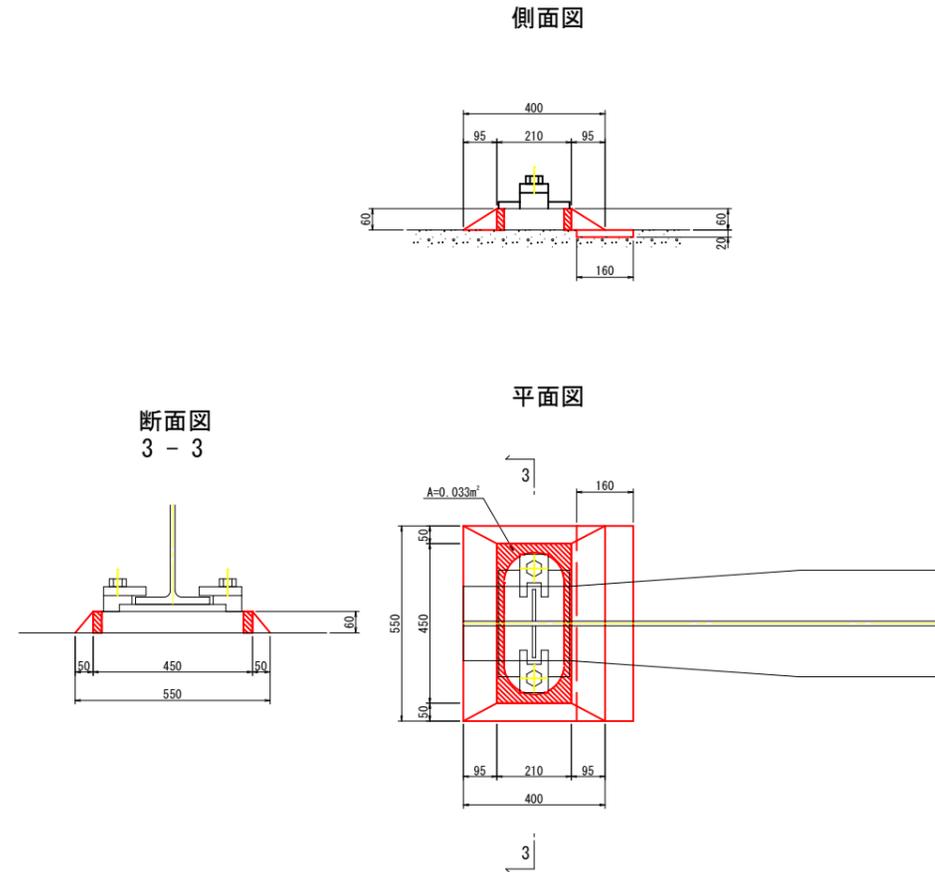
大板橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線1号橋梁(納所橋)外1橋)		
図面名	大板橋 補修図(その3)		
場所	三原市沼田東町納所外		
縮尺	図示	図面番号	4 / 7
三原市			

1号橋梁(大板橋) 補修図(その4)

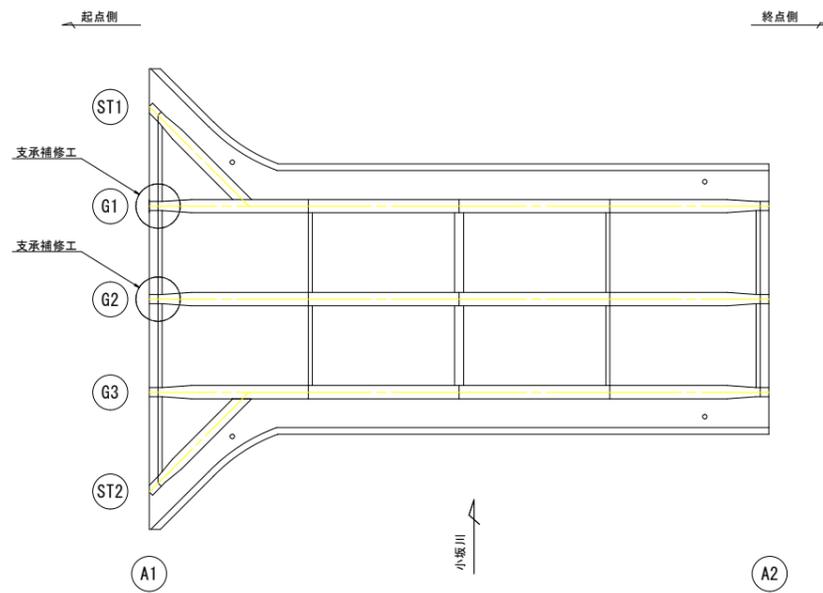
支承補修工 詳細図 S=1:10



構造物とりこわし工 詳細図 S=1:10



位置図 S=1:80

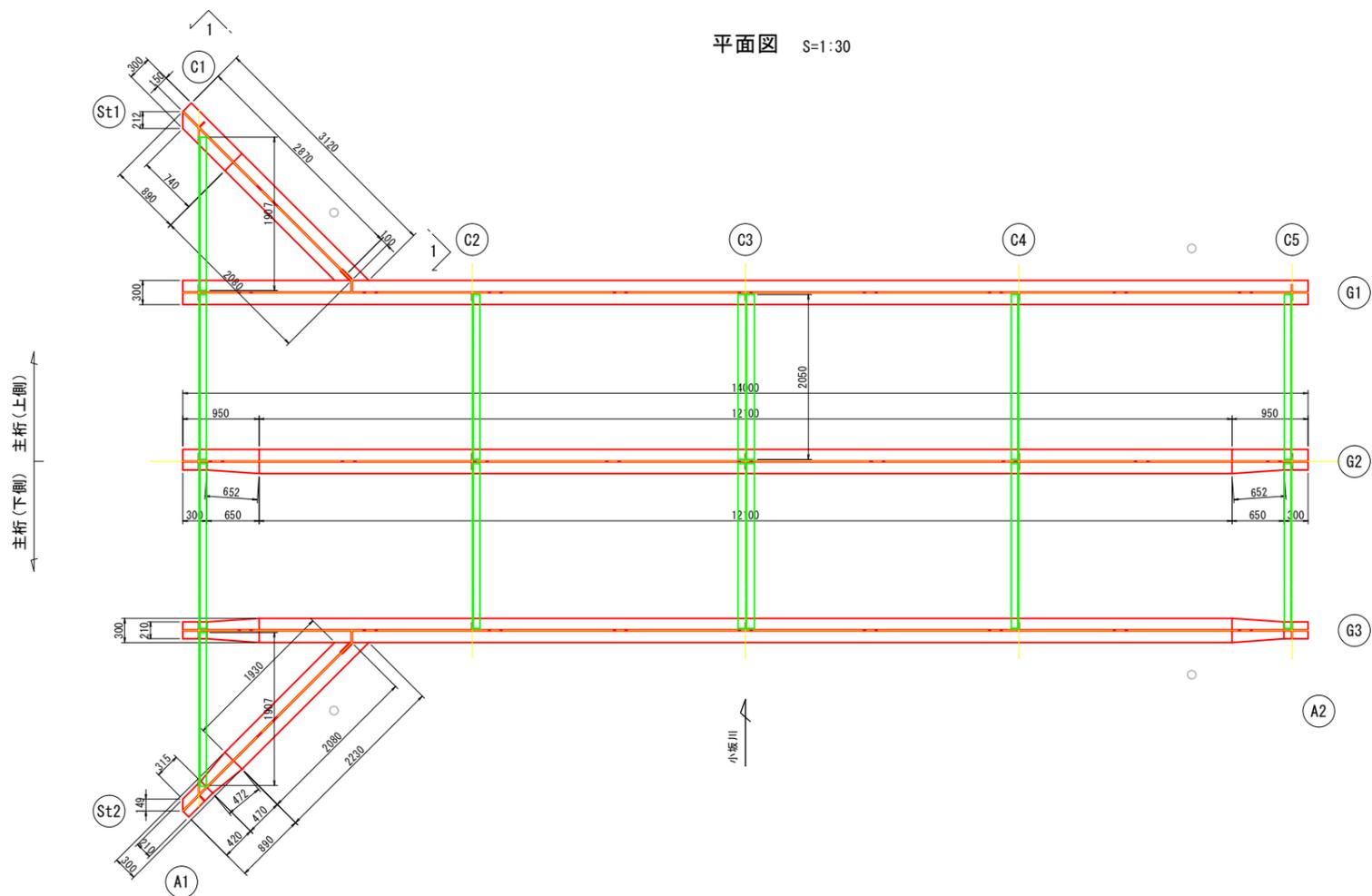


- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

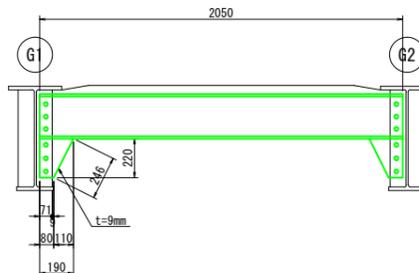
大板橋	
工事名	橋梁補修工事 市道沼田東町北部08号線1号橋梁(納所橋)外1橋
図面名	大板橋 補修図(その4)
場所	三原市沼田東町納所外
縮尺	図示 図面番号 5 / 7
三原市	

1号桥梁(大板橋) 補修図(その5)

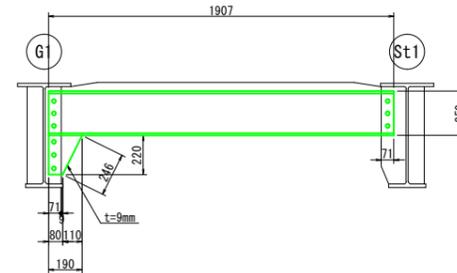
平面図 S=1:30



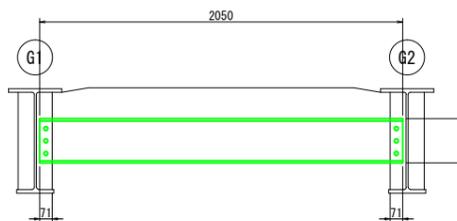
断面図 (C1, C5)



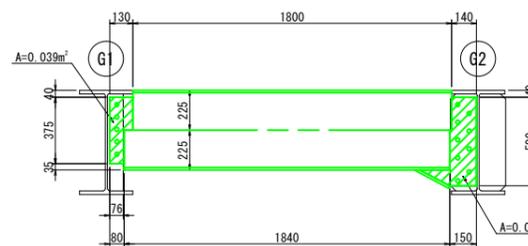
(C1)



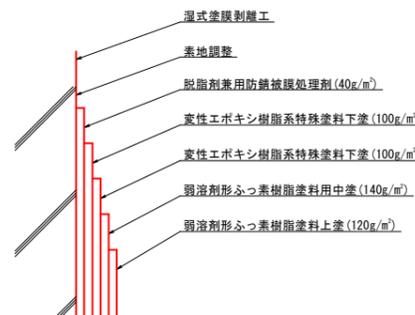
(C2, C4)



(C3)



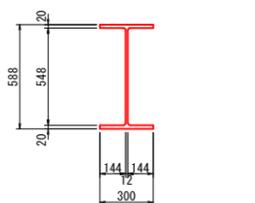
塗装塗替え工 (参考図)



塗装仕様：錆転換型防食塗装

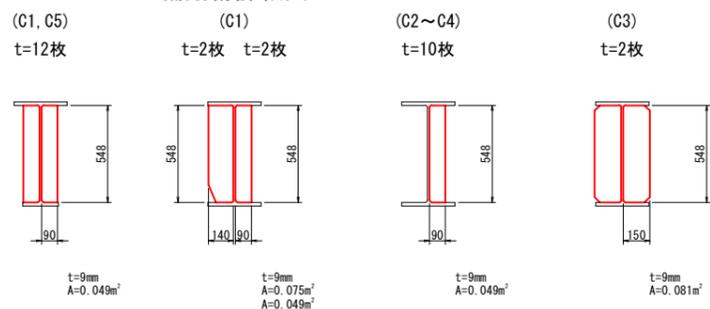
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m²)
素地調整	3種(A)	
表面処理	脱脂剤兼用防錆被膜処理剤	40
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

主桁、縦桁詳細図 S=1:20



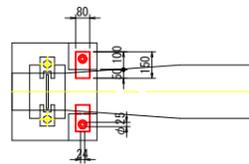
H-588x300x12x20
単位重量:151kg/m
塗装面積:0.0153m²/kg

補剛桁詳細図 S=1:20

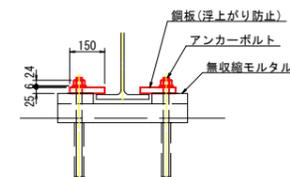


浮上がり防止装置 詳細図

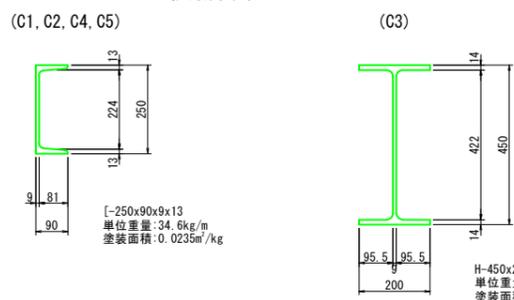
平面図 S=1:20



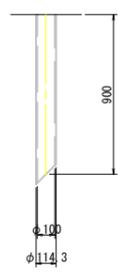
断面図 S=1:15



横桁詳細図 S=1:10



排水管 S=1:20

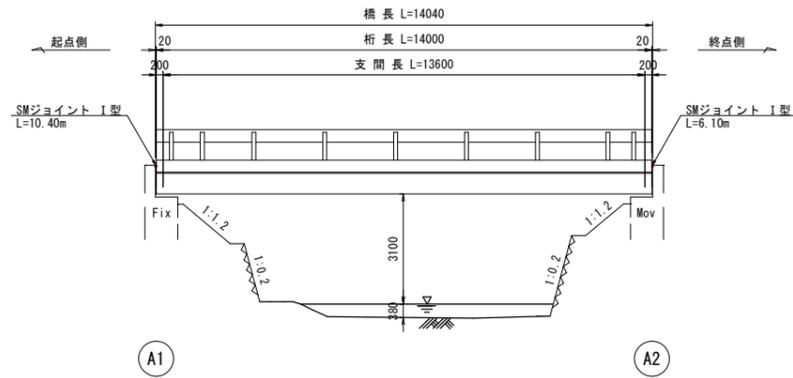


※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
 ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
 ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
 ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

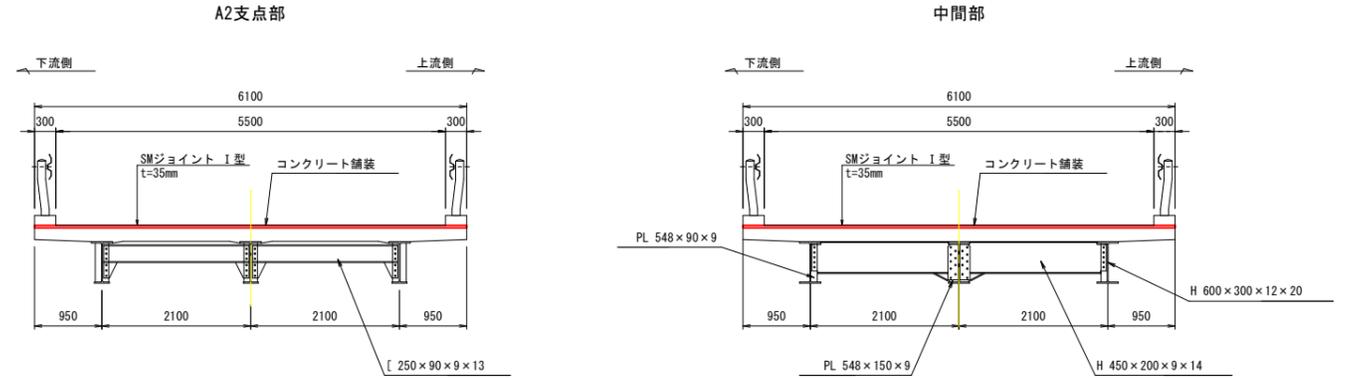
大板橋	
工事名	橋梁補修工事
図面名	市道沼田東町北部68号線1号橋梁(納所橋)外1橋 大板橋 補修図(その5)
場所	三原市沼田東町納所外
縮尺	図示 図面番号 6 / 7
三原市	

1号桥梁(大板橋) 補修図(その6)

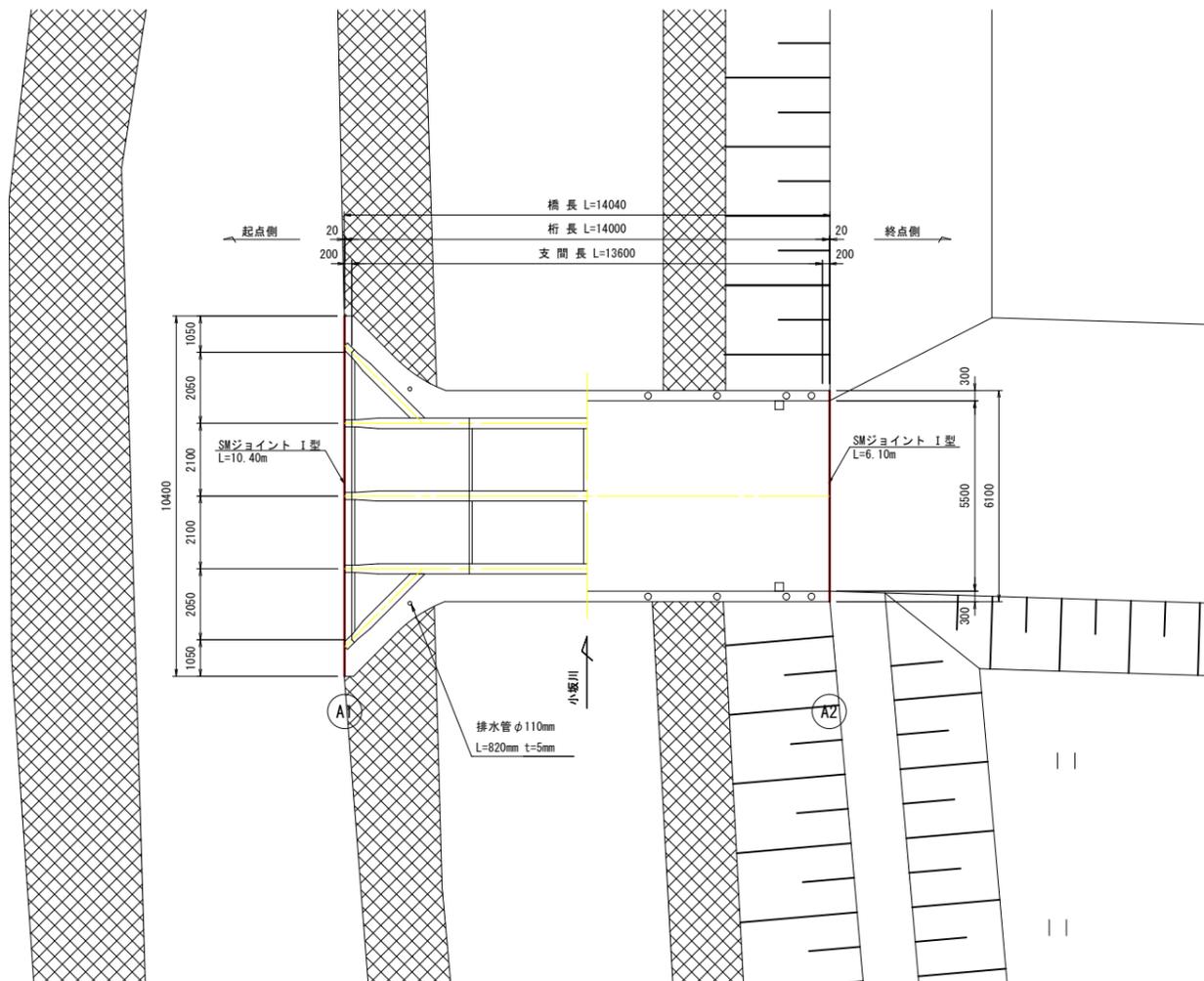
側面図 S=1:100



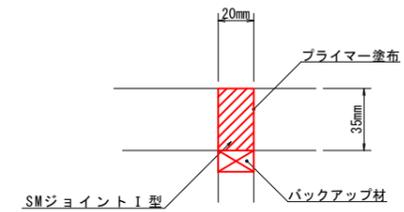
断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



橋梁用目地補修工 S=1:2



使用材料数量表 (施工幅20mm 施工厚35mm 10m当たり参考値)

名称	品名	数量	備考
SMジョイント I 型	特殊ウレタン樹脂	0.035x10x0.02x1.11x1000= 7.77 l	比重 1.11
プライマー	専用プライマー	0.035x10x2x100ml/m2= 70 ml	100 ml/m2
バックアップ材	バックアップ材	10.0 m	

※一般図は、現地計測結果を基に作成したものである。

大板橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部03号線1号橋梁(納所橋)外1橋)
図面名	大板橋 補修図(その6)
場所	三原市沼田東町納所外
縮尺	図示 図面番号 7 / 7
三原市	

参 考 資 料

— 橋梁補修工事（市道沼田東町北部68号線1号橋梁（納所橋）外1橋） —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-04.08.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 納所橋	1	式			Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有り	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.301m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0001 表
補修工事高力ボルト本締工	1	式			Y1G032406 レベル3
補修工事高力ボルト本締工	1	式			Y1G03240601 レベル4
支承ボルト締付工 M22(S10T) × 120	1	本			V9001 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支承ボルト締付工 M36	2	本			V9002 00 単第0 -0004 表
トルシア高力ボルトS10T M22 × 120	1	本			F0000000002 00
塗装剥離工	0.05	m2			V0004 00 単第0 -0005 表
塗替塗装 下塗り塗装	0.05	m2			SDT00029 00 単第0 -0006 表
塗替塗装 下塗り塗装	0.05	m2			SDT00029 00 単第0 -0007 表
塗替塗装 中塗り塗装	0.05	m2			SDT00029 00 単第0 -0008 表
塗替塗装 上塗り塗装	0.05	m2			SDT00029 00 単第0 -0009 表
ピンテール仕上げ工	1	本			V0005 00 単第0 -0010 表
塗膜収集運搬費	1	式			W0001

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜処分費	1	式			Y1G03240602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
塗膜焼却・溶融処理費 100kg未満	1	式			W0001
水切設置工	1	式			Y1G032404 レベル3
水切設置工 後付け型水切材	97	m			Y1G03240401 レベル4
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品	97	m			V0003 00 単第0 -0011 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 Co殻	0.3	m3			Y1G03271601 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
人力積込 コンクリート塊	0.3	m3			SPK22040008 00 単第0 -0012 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	0.3	m3			SPK22040142 00 単第0 -0013 表
殻処分 Co殻	0.3	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
殻受入費 Co殻	0.7	t			F9001 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y1G032801 レベル3
足場 安全ネット有り	170	m2			Y1G03240502レベル4
足場工(床版補強工) 桁高1.5m以上	170	m2			S3030011 00 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔	170	m ²			S3030013 00 単第0 -0015 表
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔	170	m ²			S3030015 00 単第0 -0016 表
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1G03282101 レベル4
交通誘導警備員B	14	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
共通仮設費計					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					

施工単価表

補修工事高力ボルト本締工

V0001

単第0 -0003 表

頁0 -0011

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	1	人			
橋りょう特殊工	3	人			
普通作業員	1	人			
諸雑費	17	%			#01
*** 合計 ***	130	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

130
本 当り

施工単価表

塗装剥離工

V0004

単第0 -0005 表

頁0 -0013

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜剥離工 (塗膜剥離剤)	1	m2			
塗膜剥離剤	1	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

1 m2 当り

施工単価表

ピンテール仕上げ工

V0005

単第0 -0010 表

頁0 -0018

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	2	人			
諸雑費	41	%			#01
*** 合計 ***	250	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

本 当り

250
備考

施工単価表

殻運搬

SPK22040142

単第0 -0013 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.25% 労務構成比:

42.18% 材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,010.60000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-04.08.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 大板橋	1	式			Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 超微粒子セメント系	1	式			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25.5m	1	構造物			S1020037 00 単第0 -0001 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有り	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.236m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020043 00 単第0 -0003 表
表面含浸工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理工 サンダーケレン	81	m2			Y1G03240601 レベル4
下地処理 サンダーケレン	81	m2			V0012 00 単第0 -0004 表
表面含浸工 ケイ酸塩系含浸材	81	m2			Y1G03240601 レベル4
表面含浸工 スーパーシールド相当品	81	m2			V0013 00 単第0 -0005 表
FRPシート接着工	1	式			Y1G032406 レベル3
紫外線硬化型FRPシート設置工	1	式			Y1G03240601 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
紫外線硬化型FRPシート設置工 紫外線照射あり 区分A'	0.1	m2			V0002 00 単第0 -0006 表
紫外線硬化型FRPシート設置工 紫外線照射あり 区分B'	0.1	m2			V0003 00 単第0 -0007 表
支承補修工	1	式			Y3999 レベル3
鋼材 SS400 t=25mm	4	枚			Y4999 レベル4
鋼板 SS400 t=25mm	0.001	t			F0000000012 00
香座モルタル 無収縮モルタル	0.03	m3			Y4999 レベル4
無収縮モルタル工	0.03	m3			V0010 00 単第0 -0008 表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.4	m2			SPK22040146 00 単第0 -0009 表
アンカー工	4	本			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アンカー 適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 下方向	4	本			SPK22040346 00 単第0 -0010 表
アンカー材 D25*450	4	本			V0015 00 単第0 -0011 表
樹脂充填工 工ボキシ樹脂系注入材 D25/260	1	式			Y4999 レベル4
充填補修	4	孔			SPK22040349 00 単第0 -0012 表
注入材 工ボキシ樹脂系	0.7	kg			T5021002 00
塗膜剥離工	1	式			Y1G032404 レベル3
湿式塗膜剥離工 湿式塗膜剥離剤工法	118	m2			Y1G03240401 レベル4
塗装剥離工	118	m2			V0004 00 単第0 -0013 表
塗膜収集運搬	1	式			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜収集運搬費					W0001
	1	式			
塗膜受入					Y4999 レベル4
	1	式			
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
塗膜焼却・熔融処理					F9002 00
	118	kg			
湿式塗膜剥離剤工用養生設備工					Y4999 レベル4
	1	式			
剥離剤工用養生設備 A=98.8m2					W0001
	1	式			
水切設置工					Y1G032404 レベル3
	1	式			
水切設置工 後付け型水切材					Y1G03240401 レベル4
	29	m			
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品					V0014 00
	29	m			単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮部補修工					Y3999 レベル3
	1	式			
伸縮部補修					Y4999 レベル4
	16.5	m			
伸縮装置目地補修工 ゴム劣化取替工法					V0011 00
	16.5	m			単第0 -0015 表
現場塗装工					Y1G0325 レベル2
	1	式			
橋梁塗装工					Y1G032501 レベル3
	1	式			
素地調整 3種ケレンA					Y1G03250101 レベル4
	118	m2			
素地調整 3種ケレンA					F000000009 00
	118	m2			
下塗 変性エポキシ樹脂系特殊塗料下					Y1G03250102 レベル4
	118	m2			
防錆塗装工（一層目）					V0006 00
	118	m2			単第0 -0016 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防錆塗装工（二層目）					V0007 00
	118	m2			単第0 -0017 表
中塗 弱溶剤形フッ素樹脂塗料用中塗					Y1G03250103レベル4
	118	m2			
中塗り塗装工 弱溶剤形フッ素樹脂塗料用中塗					F000000010 00
	118	m2			
上塗 弱溶剤形フッ素樹脂塗料用上塗					Y1G03250104レベル4
	118	m2			
上塗り塗装工 弱溶剤形フッ素樹脂塗料用上塗					F000000011 00
	118	m2			
表面皮膜処理工 脱脂剤兼用防錆被膜処理剤					Y4999 レベル4
	35	m2			
表面皮膜処理工 脱脂剤兼用防錆被膜処理剤					V0008 00
	35	m2			単第0 -0018 表
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
構造物取壊し工					Y1G032706 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート構造物取壊し 無筋構造物	0.01	m3			Y1G03270601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.01	m3			SDT00031 00 単第0 -0019 表
構造物取壊し工	1	式			Y1G032716 レベル3
コンクリート削孔工 削孔深さ200mm以上400mm以下	4	孔			Y4999 レベル4
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200mm以上400mm以下	4	孔			SPK22040110 00 単第0 -0020 表
殻運搬 Co殻	0.3	m3			Y1G03271601 レベル4
人力積込 コンクリート塊	0.3	m3			SPK22040008 00 単第0 -0021 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	0.3	m3			SPK22040142 00 単第0 -0022 表
殻処分 Co殻	0.3	m3			Y1G03271602 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
殻受入費 Co殻	0.6	t			F9001 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y1G032801 レベル3
足場 安全ネット有り	99	m2			Y1G03240502 レベル4
足場工（床版補強工） 桁高1.5m以上	99	m2			S3030011 00 単第0 -0023 表
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔	99	m 2			S3030013 00 単第0 -0024 表
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔	99	m 2			S3030015 00 単第0 -0025 表
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員	1	式			Y1G03282101 レベル4
交通誘導警備員B	8	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
鉄筋探査工 下向き	0.5	m2			Y4999 レベル4
鉄筋探査工 下向き	0.5	m2			V0009 00
共通仮設費率分					単第0 -0026 表 Z0019

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25.5m

S1020037

単第0 -0001 表

1

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.479	人			
特殊作業員	2.448	人			
普通作業員	1.811	人			
超微粒子セメント系注入材 アーマ#600 相当	0.420	kg			
可とう性エポキシシール材 E380F相当	8.384	kg			
低圧注入器具 無機系用 5回転用	102.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=25.5 C=0.42 E=6.12 G=102	1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) 注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		B=2 D=3 F=4	【F】注入材(kg) 【F】シール材(kg) 【F】低圧注入器具(個)	

施工単価表

下地処理
サンダーケレン

V0012

単第0 -0004 表

頁0 -0017

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	3	人			
普通作業員	2	人			
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100

m2 当り

施工単価表

表面含浸工
スーパーシールド相当品

V0013

単第0 -0005 表

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
特殊作業員	4	人			
普通作業員	4	人			
ケイ酸塩系表面保護剤 スーパーシールド 相当品	28.8	L			
施工品質管理テスター パステスター 相当品	1	セット			
カルシウム付加・反応促進剤 ストレンクス剤 相当品	28.8	L			
機械損料 薬剤噴霧器, 給水タンク他	1	式			
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

型枠

SPK22040146

単第0 -0009 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,866.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.15%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.34%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

アンカー

SPK22040346

単第0 -0010 表

適用アンカー材径25mmを超え40mm以下

下方向

1

本 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,433.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	50.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	26.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	22.16%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 適用アンカー材径25mmを超え40mm以下 -(全ての費用)			B=2 下方向		

施工単価表

伸縮装置目地補修工
ゴム劣化取替工法

V0011

単第0 -0015 表

16.5

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	10	人			
シール材 SMジョイント 型相当	4	缶			
専用プライマー	2	缶			
バックアップ材 2次止水機能兼バックアップ材	17	m			
ハンドミキサー	2	日			
ハンドカッター	2	日			
発電機 2KVA	2	日			
*** 合計 ***	16.5	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0 -0033

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK22040110

単第0 -0020 表

削孔深さ200mm以上400mm以下

1

孔 当り

機械構成比: 2.41% 労務構成比: 95.51%

材料構成比: 2.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

873.58000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.08%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm	0.85%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.29%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

殻運搬

SPK22040142

単第0 -0022 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.25% 労務構成比:

42.18% 材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,203.10000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

5. 納所橋 補修数量

5.1 数量総括表

工種	名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	摘 要
断面修復工	断面修復工	プライマー	m ²	9.21	
		ポリマーセメントモルタル	m ³	0.36	
	コンクリート殻		m ³	0.30	殻処分 : 0.7 t
ナット締付工	M36ナット	ナット締付・塗装剥離・塗装工	箇所	2	塗膜剥離・塗装面積A=0.04m ²
ボルト本締工	トルシア型高力ボルト	M22 (S10T) × 120	本	1	ピンテール仕上げ, 塗装面積A=0.01m ²
水切工	水切工		m	97	
仮設工	吊足場		m ²	174.60	朝顔, 板張り, シート張り防護

5.2 断面修復工

鉄筋構造物

1. 断面修復工（左官工法）

(1) プライマー工

$$A = 9.205 \qquad \qquad \qquad \Sigma A = 9.205 \text{ m}^2$$

(2) 断面修復工

$$V = 0.301 \qquad \qquad \qquad \Sigma V = 0.301 \text{ m}^3$$
$$\times 1.18 \text{ : ロス率} = 0.355 \text{ m}^3$$

(3) コンクリート殻

$$V = \qquad \qquad \qquad = 0.301 \text{ m}^3$$
$$W = 0.301 \times 2.35 \text{ (t/m}^3\text{)} = 0.71 \text{ t}$$

5.3 支承ナット締付工数量

1. 支承ナット締付工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
□1	M36ナット (A1橋台)		1	塗装剥離及び塗装含む
□2	M36ナット (P4橋脚)		1	塗装剥離及び塗装含む
	合計		2	箇所

5.4 ボルト本締工数量

1. 支承ナット締付工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
①	M22 (S10T) × 125		1	P2~P3径間
	合計		1	本

5.5 水切り工数量

1. 水切り工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
①	上流側	2.000 + 22.0 + 9.0	33.00	
②	下流側	3.000 + 35.0 + 7.0 + 19.0	64.00	
	合計		97.00	m

5.6 仮設工数量

1. 仮設工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	吊足場	仮設参考図参照		
①	上流側 A1~P1	1.800 × 2.000	3.60	
②	上流側 P1~P2	1.800 × 22.000	39.60	
③	上流側 P4~A2	1.800 × 9.000	16.20	
④	下流側 A1~P2	1.800 × 3.000	5.40	
⑤	下流側 A1~P2	1.800 × 35.000	63.00	
⑥	下流側 P2~P3	1.800 × 7.000	12.60	
⑦	下流側 P4~A2	1.800 × 19.000	34.20	
	合計		174.60	m ²

1.1 補修数量総括表

橋梁名：1号橋梁(大板橋)

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
道路修繕	橋梁補修工	ひびわれ補修工 低圧注入工法	ひびわれ注入工 延べ施工量	超微粒子セメント系	m	25.5	
				ひびわれ注入工 1橋当り延べ延長	m	25.5	
			シーラ材	エポキシ樹脂系	kg	8.4	ロス率37%を含む
			ひびわれ注入材	超微粒子セメント系	kg	0.4	ロス率37%を含む
			注入器	低圧注入器	個	102	設置間隔：250mm間隔
		断面修復工 左官工法	左官工法 延べ施工量	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む	m ³	0.24	
				材料ロス	m ³	0.04	ロス率：18%
			左官工法 1橋当り延べ体積	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含まない	m ³	0.02	
				材料ロス	m ³	0.01	ロス率：18%
			殻運搬	コンクリート構造物 人力積込	m ³	-	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	-	運搬処理工にて計上
					t	-	運搬処理工にて計上
			表面処理工 表面含浸工	下地処理工	サンダーケレン	m ²	80.5
		含浸材塗布工			ケイ酸ナトリウム系表面含浸材	m ²	80.5
		含浸材		ストレンクス剤同等品以上	ℓ	20.1	標準使用量：0.25ℓ/m ²
				材料ロス	ℓ	3.0	ロス率：15%
		含浸材		スーパーシールド同等品以上	ℓ	20.1	標準使用量：0.25ℓ/m ²
				材料ロス	ℓ	3.0	ロス率：15%
		テスター設置			組	5	

橋梁名：1号橋梁(大板橋)

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
道路修繕	橋梁補修工	FRPシート接着工	紫外線硬化型FRPシート設置工	紫外線照射なし 区分A	m ²	-	
				紫外線照射なし 区分B	m ²	-	
				紫外線照射なし 区分C	m ²	-	
				紫外線照射あり 区分A'	m ²	0.1	
				紫外線照射あり 区分B'	m ²	0.1	
				紫外線照射あり 区分C'	m ²	-	
		支承補修工	鋼材	SS400 t=25mm	枚	4	
					kg	1	
			沓座モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.03	
			型枠	一般型枠 小型構造物	m ²	0.4	
			鉄筋探査工	下向き	m ²	-	構造物取壊し工にて計上
			コンクリート削孔工	削孔径φ10mm以上～30mm未満 電動ハンマードリル 200mm以上400mm未満	孔	-	構造物取壊し工にて計上
			構造物とりこわし工	鉄筋構造物 人力施工	m ³	-	構造物取壊し工にて計上
			アンカー工	アンカー材径25mmを超え40mm以下, 下向き	本	4	
			アンカー材	D27×450	本	4	
			注入材	エポキシ樹脂系注入材 D27×260	kg	0.8	
			殻運搬	コンクリート構造物 人力積込	m ³	-	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	-	運搬処理工にて計上
					t	-	運搬処理工にて計上
現場塗装工	塗膜除去工	湿式塗膜剥離剤	湿式塗膜剥離工	湿式塗膜剥離剤工法 (1回を想定)	m ²	117.8	
			湿式塗膜剥離剤	湿式塗膜剥離剤工法 (1回を想定) パントレ	kg	117.8	標準塗布量：1.0kg/m ²
				材料ロス	kg	7.1	ロス率：6%
			廃材の回収・積込		m ²	117.8	
			剥離剤および塗料かす運搬工		回	1	

橋梁名：1号橋梁(大板橋)

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考	
道路修繕	現場塗装工	塗装塗替え工 錆転換型防食塗装	素地調整	3種ケレンA	m ²	117.8		
			表面処理	脱脂剤兼用防錆被膜処理剤	m ²	35.3	標準塗布量：40g/m ² 鋼材露出：30%	
			下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	m ²	117.8	標準塗布量：100g/m ²	
			下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	m ²	117.8	標準塗布量：100g/m ²	
			中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m ²	117.8	標準塗布量：140g/m ²	
			上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	m ²	117.8	標準塗布量：120g/m ²	
	橋梁付属物工	伸縮部補修工	伸縮目地材	特殊ウレタン樹脂 SMジョイントI型同等品以上		m	16.5	
		水切り工	水切り材	軟質PVC製水切り材		m	29.3	
				下地処理		m ²	0.7	
		接着剤塗布	エポキシ樹脂系接着剤		m ²	0.7		
	構造物撤去工	構造物取壊し工	鉄筋探查工	下向き		m ²	0.5	
			コンクリート削孔工	削孔径φ10mm以上～30mm未満 電動ハンマードリル 200mm以上400mm以下		孔	4	
			構造物とりこわし工	無筋構造物 人力施工		m ³	0.01	
		運搬処理工	殻運搬	コンクリート構造物 人力積込		m ³	0.3	
			殻処分	がれき類		m ³	0.3	
						t	0.6	
	仮設工	仮設足場工	吊足場	TYPE A1 吊足場 桁高h<1.5		m ²	99	
床面シート張防護設置			床面シート張防護設置時		m ²	99		
朝顔			TYPE B 朝顔 (両側)		m ²	99		
防護工			TYPE B シート張防護工 (両側)		m ²	99		
		湿式塗膜剥離剤 工用養生設備工	剥離剤工用養生設備		m ²	99		

1.2 ひびわれ補修工

1.2.1 低圧注入工法（ひびわれ注入工）

(1) 延べ施工量

1) 超微粒子セメント系

・ $0.2 \leq w < 1.0 \text{ mm}$

$$L = 25.50 = 25.50 \text{ m}$$

・ $1.0 \leq w \leq 5.0 \text{ mm}$

$$L2 = - = \frac{0.00 \text{ m}}{\Sigma L = 25.50 \text{ m}}$$

(2) シール材

1) エポキシ樹脂系

$$w = 50 \text{ mm} \quad (\text{仮定})$$

$$t = 3 \text{ mm} \quad (\text{仮定})$$

$$\gamma = 1.60 \text{ kg/m}^3 \quad (\text{仮定})$$

$$W = 25.50 \times 0.050 \times 0.003 \times 1600 \times 1.37 = 8.38 \text{ kg}$$

ロス率37%

(3) 注入材

1) 超微粒子セメント系

$$w = 0.20 \text{ mm} \quad (\text{荷重平均})$$

$$t = 40 \text{ mm} \quad (\text{荷重平均})$$

$$\gamma = 1.50 \text{ kg/m}^3 \quad (\text{仮定})$$

$$W = 25.50 \times 0.00020 \times 0.040 \times 1500 \times 1.37 = 0.42 \text{ kg}$$

ロス率37%

(4) 注入器（低圧注入器）

・ 設置間隔：250mm間隔

$$N = 25.50 / 0.25 = 102 \text{ 個}$$

1.2.2 ひびわれ延長数量計算書

番号	部 位	ひびわれ		遊離石灰を伴う	ひびわれ 深さt(mm)	備 考
		幅 w(mm)	長さ L(m)	長さ L(m)		
1	桁下面					
1		0.20	0.20		40	
2		0.20	0.80		40	
3		0.20	0.45		40	
4		0.20	0.40		40	
5		0.20	0.50		40	
6		0.20	0.20		40	
7		0.20	0.60		40	
8		0.20	0.20		40	
9		0.20	0.10		40	
10		0.20	0.20		40	
11		0.20	0.30		40	
12		0.20	0.30		40	
13		0.20	0.20		40	
14		0.20	0.50		40	
15		0.20	0.15		40	
16		0.20	0.10		40	
17		0.20	0.40		40	
18		0.20	0.70		40	
19		0.20	0.20		40	
20		0.20	0.50		40	
21		0.20	0.40		40	
22		0.20	0.50		40	
23		0.20	0.90		40	
24		0.20	0.30		40	
25		0.20	0.25		40	
26		0.20	0.25		40	
27		0.20	0.20		40	
28		0.20	0.50		40	
29		0.20	0.20		40	
30		0.20	0.70		40	
31		0.20	0.30		40	
32		0.20	0.40		40	
33		0.20	0.50		40	
34		0.20	0.60		40	
35		0.20	1.90		40	
36		0.20	0.60		40	
37		0.20	0.60		40	
38		0.20	1.20		40	
39		0.20	0.30		40	
40		0.20	0.20		40	
41		0.20	0.30		40	
42		0.20	0.30		40	
43		0.20	0.30		40	
44		0.20	0.60		40	
45		0.20	0.50		40	
46		0.20	0.20		40	
47		0.20	0.20		40	
48		0.20	0.40		40	
49		0.20	0.90		40	
50		0.20	0.20		40	

1.3 断面修復工（左官工法）

1.3.1 左官工法（ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む）

（1）延べ施工量

$$v1 = 0.236 = 0.236 \text{ m}^3$$

$$v2 = 0.236 \times \frac{0.18}{\text{ロス率18\%}} = 0.042 \text{ m}^3$$
$$\underline{\Sigma V = 0.278 \text{ m}^3}$$

1.3.2 左官工法（ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）

（1）延べ施工量

$$v1 = 0.020 = 0.020 \text{ m}^3$$

$$v2 = 0.020 \times \frac{0.18}{\text{ロス率18\%}} = 0.004 \text{ m}^3$$
$$\underline{\Sigma V = 0.024 \text{ m}^3}$$

1.3.3 殻運搬

（1）コンクリート構造物 人力積込

$$V = 0.256 = 0.256 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

1.3.4 殻処分（がれき類）

$$V = 0.256 = 0.256 \text{ m}^3$$

$$W = 0.256 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.602 \text{ t}$$

1.3.5 左官工法 数量計算書

番号	部 位	形状・寸法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
D	桁下面						
1		0.20 × 0.10	0.020	0.080	0.068	0.002	
2		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
3		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
4		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
5		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
6		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
7		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
8		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
9		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
10		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
11		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
12		0.40 × 0.70	0.280	0.080	0.456	0.022	
13		0.15 × 0.50	0.075	0.080	0.179	0.006	
14		0.10 × 0.50	0.050	0.080	0.146	0.004	
15		0.20 × 0.50	0.100	0.080	0.212	0.008	
16		0.20 × 0.30	0.060	0.080	0.140	0.005	
17		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
18		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
19		0.10 × 0.20	0.020	0.080	0.068	0.002	
20		0.20 × 0.10	0.020	0.080	0.068	0.002	
21		0.20 × 0.20	0.040	0.080	0.104	0.003	
22		0.10 × 0.40	0.040	0.080	0.120	0.003	
23		0.20 × 0.20	0.040	0.080	0.104	0.003	
24		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
25		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
26		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
27		0.10 × 0.20	0.020	0.080	0.068	0.002	
28		0.10 × 2.30	0.230	0.080	0.614	0.018	
29		0.20 × 0.40	0.080	0.080	0.176	0.006	
30		0.40 × 0.40	0.160	0.080	0.288	0.013	
31		0.15 × 0.40	0.060	0.080	0.148	0.005	
32		0.10 × 0.20	0.020	0.080	0.068	0.002	
33		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
34		0.15 × 1.20	0.180	0.080	0.396	0.014	
35		0.20 × 0.20	0.040	0.080	0.104	0.003	
36		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
37		0.30 × 0.40	0.120	0.080	0.232	0.010	
38		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
39		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
40		0.60 × 0.10	0.060	0.080	0.172	0.005	
41		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
42		0.10 × 1.00	0.100	0.080	0.276	0.008	
43		0.20 × 0.20	0.040	0.080	0.104	0.003	
44		0.20 × 0.50	0.100	0.080	0.212	0.008	
45		0.20 × 0.30	0.060	0.080	0.140	0.005	
46		0.10 × 0.55	0.055	0.080	0.159	0.004	
47		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
48		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
49		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
50		0.10 × 0.20	0.020	0.080	0.068	0.002	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
51		0.10 × 0.25	0.025	0.080	0.081	0.002	
52		0.10 × 0.20	0.020	0.080	0.068	0.002	
53		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
54		0.10 × 0.15	0.015	0.080	0.055	0.001	
55		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
56		0.10 × 0.20	0.020	0.080	0.068	0.002	
57		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
58		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
59		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
60		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
61		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
62		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
63		0.10 × 0.15	0.015	0.080	0.055	0.001	
64		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
65		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
66		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
67		0.10 × 0.25	0.025	0.080	0.081	0.002	
68		0.10 × 0.10	0.010	0.080	0.042	0.001	
69		0.80 × 0.30	0.240	0.080	0.416	0.019	
70		0.15 × 0.10	0.015	0.080	0.055	0.001	
71		0.20 × 0.20	0.040	0.080	0.104	0.003	
	小計		2.855		7.343	0.236	ケレン・防錆:有
DA	沓座モルタル						
1		0.10 × 0.30	0.030	0.050	0.070	0.002	
2		0.10 × 0.50	0.050	0.050	0.110	0.003	
3		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.001	
4		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.002	
5		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.002	
6		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.001	
7		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.001	
8		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.001	
9		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.001	
10		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.001	
11		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.001	
12		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.001	
13		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.001	
14		0.15 × 0.20	0.030	0.050	0.065	0.002	
	小計		0.310		0.755	0.020	ケレン・防錆:無
	鉄筋ケレン・防錆処理を含む合計		2.855		7.343	0.236	
	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない合計		0.310		0.755	0.020	
	合計		3.165		8.098	0.256	

1.4 表面処理工（表面含浸工）

1.4.1 表面含浸工（ケイ酸ナトリウム系表面含浸材）

（1）下地処理工（サンダーケレン）

$$A = 80.546 = 80.546 \text{ m}^2$$

（2）含浸材塗布工（ケイ酸ナトリウム系表面含浸材）

$$A = 80.546 = 80.546 \text{ m}^2$$

（3）含浸材（ストレングス剤同等品以上）

$$w1 = 80.546 \times 0.25 \text{ } \ell/\text{m}^2 = 20.137 \text{ } \ell$$

標準使用量

$$w2 = 20.137 \times 0.15 = 3.021 \text{ } \ell$$

ロス率15%

$$\Sigma W = 23.158 \text{ } \ell$$

（4）含浸材（スーパーシールド同等品以上）

$$w1 = 80.546 \times 0.25 \text{ } \ell/\text{m}^2 = 20.137 \text{ } \ell$$

標準使用量

$$w2 = 20.137 \times 0.15 = 3.021 \text{ } \ell$$

ロス率15%

$$\Sigma W = 23.158 \text{ } \ell$$

（5）テスター設置（1組/20m²）

$$N = 80.546 / 20 \text{ m}^2/\text{1組} = 5 \text{ 組}$$

1.5 FRPシート接着工

1.5.1 紫外線硬化型FRPシート設置工

(1) 紫外線硬化型FRPシート貼付

歩掛区分

区分A：	紫外線照射なし	0.01m ² /箇所以上0.07m ² /箇所未満	=	- m ²
区分B：	紫外線照射なし	0.07m ² /箇所以上0.15m ² /箇所未満	=	- m ²
区分C：	紫外線照射なし	0.15m ² /箇所以上	=	- m ²
区分A'：	紫外線照射あり	0.01m ² /箇所以上0.07m ² /箇所未満	=	0.120 m ²
区分B'：	紫外線照射あり	0.07m ² /箇所以上0.15m ² /箇所未満	=	0.102 m ²
区分C'：	紫外線照射あり	0.15m ² /箇所以上	=	- m ²
A =	0.222		=	0.222 m ²

1.6 支承補修工

1.6.1 鋼材

(1) SS400 t=25mm

$$N = 2 \times 2 = 4 \text{ 枚}$$

$$W = 0.150 \times 0.080 \times 0.025 \times 7.850 \times 4 = 1 \text{ kg}$$

1.6.2 沓座モルタル (無収縮モルタル)

$$v1 = 0.160 \times 0.550 \times 0.020 \times 2 = 0.004 \text{ m}^3$$

$$v2 = 0.201 \times 0.060 \times 2 = 0.024 \text{ m}^3$$

$$v3 = 0.160 \times 0.150 \times 0.045 \times 2 \times 2 = 0.004 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.032 \text{ m}^3$$

1.6.3 型枠 (一般型枠 小型構造物)

$$a1 = (0.480 + 0.550) \times 2 \times 0.060 \times 2 = 0.247 \text{ m}^2$$

$$a2 = (0.160 + 0.150) \times 2 \times 0.045 \times 2 = 0.112 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 0.359 \text{ m}^2$$

1.6.4 鉄筋探査工

(1) 下向き

$$A = 0.480 \times 0.550 \times 2 = 0.528 \text{ m}^2$$

1.6.5 コンクリート削孔工

(1) 削孔径 ϕ 10mm以上~30mm未満 電動ハンマードリル 200mm以上400mm未満

1) ϕ 37×280

$$N = 2 \times 2 = 4 \text{ 孔}$$

1.6.6 構造物とりこわし工 (鉄筋構造物 人力施工)

$$v1 = 0.033 \times 0.060 \times 2 = 0.004 \text{ m}^3$$

$$v2 = \frac{1}{2} \times (0.450 + 0.550) \times \frac{1}{2} \times 0.050 \times 0.060 \times 2 \times 2 = 0.003 \text{ m}^3$$

$$v3 = \frac{1}{2} \times (0.210 + 0.400) \times \frac{1}{2} \times 0.050 \times 0.060 \times 2 \times 2 = 0.002 \text{ m}^3$$

$$v4 = 0.160 \times 0.550 \times 0.020 \times 2 = 0.004 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.013 \text{ m}^3$$

1.6.7 アンカー工

(1) アンカー材径25mmを超え40mm以下, 下向き

1) D27×385

$$N = 2 \times 2 = 4 \text{ 本}$$

1.6.8 アンカー材

1) D27×450

$$N = 4 = 4 \text{ 本}$$

1.6.9 充填材 (エポキシ樹脂系注入材)

1) D27×260

$$V = \left(\frac{\pi}{4} \times 0.037^2 \times 0.270 - \frac{\pi}{4} \times 0.027^2 \right) \times 0.260 \times 4 \times 1200 \text{ kg/m}^3 \times 1.15 = 0.781 \text{ kg}$$

ロス率15%

1.6.10 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

$$v1 = 0.013 = 0.013 \text{ m}^3$$

$$v2 = \frac{\pi}{4} \times 0.037^2 \times 0.270 \times 2 \times 2 = 0.001 \text{ m}^3$$
$$\underline{\Sigma V = 0.014 \text{ m}^3}$$

1.6.11 殻処分 (がれき類)

$$V = 0.014 = 0.014 \text{ m}^3$$

$$W = 0.014 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.033 \text{ t}$$

1.7 塗膜除去工

1.7.1 湿式塗膜剥離工

(1) 湿式塗膜剥離工 (湿式塗膜剥離剤工法)

$$A = 117.758 \times 1回 = 117.758 \text{ m}^2$$

塗装塗替え工より

(2) 湿式塗膜剥離剤 (湿式塗膜剥離剤工法 パントレ 標準塗布量 : 1.0kg/m²)

$$a1 = 117.758 \times 1.0 \text{ kg/m}^2 = 117.758 \text{ kg}$$

$$a2 = 117.758 \times \frac{0.06}{\text{ロス率6\%}} = 7.065 \text{ kg}$$

$$\Sigma A = 124.823 \text{ kg}$$

(3) 廃材の回収・積込

$$A = 117.758 = 117.758 \text{ m}^2$$

(4) 剥離剤および塗料かす運搬工

$$N = 1回 = 1回$$

1.8 塗装塗替え工，支承防錆工

1.8.1 塗装塗替え工，支承防錆工 (錆転換型防食塗装)

(1) 素地調整 (3種ケレンA)

$$A = 117.758 = 117.758 \text{ m}^2$$

(2) 表面処理 (脱脂剤兼用防錆被膜処理剤 標準塗布量 : $40\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 117.758 \times 0.30 = 35.327 \text{ m}^2$$

鋼材露出 : 30%

(3) 下塗 (変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗 標準塗布量 : $100\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 117.758 = 117.758 \text{ m}^2$$

(4) 下塗 (変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗 標準塗布量 : $100\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 117.758 = 117.758 \text{ m}^2$$

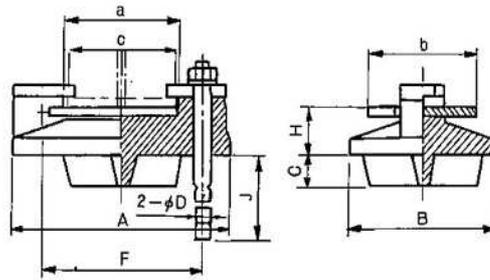
(5) 中塗 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 標準塗布量 : $140\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 117.758 = 117.758 \text{ m}^2$$

(6) 上塗 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 標準塗布量 : $120\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 117.758 = 117.758 \text{ m}^2$$

・ 支承防錆面積については、推定反力から下表を参考にして防錆面積の算出を行った。



1) 線支承(LB)

設計条件						固定 可動の 区別	上部工との取合 寸法 mm			下部工との取合 寸法 mm					支承高さ H mm	支承重量 kgf	支 承 塗装面積 m ²	
全反力 tf	橋軸方向水平力 tf		橋軸直角 方向地震 時水平力 tf	上揚力 tf	計 算 移動量 mm		a	b	c	A	B	C	D	F				J
	移動時	地震時																
30	6	10.8	5.4	2.25	△	固定	216	170	200	420	240	50	28	300	440	77	52.4	0.28
30	6	5.4	5.4	2.25	20	可動	216	190	200	420	240	50	28	300	440	77	52.9	0.24
40	8	14.4	7.2	3.0	△	固定	216	180	200	420	260	60	32	300	480	82	61.5	0.30
40	8	7.2	7.2	3.0	20	可動	216	200	200	420	260	60	32	300	480	82	62.1	0.26
50	10	18.0	9.0	3.75	△	固定	216	190	200	420	280	75	36	300	560	87	71.9	0.31
50	10	9.0	9.0	3.75	20	可動	216	210	200	420	280	75	36	300	565	87	72.5	0.27
75	15	27.0	13.5	5.63	△	固定	266	240	250	510	340	80	46	370	730	100	127.5	0.46
75	15	13.5	13.5	5.63	20	可動	266	250	250	510	340	80	42	370	640	100	121.5	0.38
100	20	36.0	18.0	7.5	△	固定	316	290	300	610	400	80	55	440	840	115	202.1	0.63
100	20	18.0	18.0	7.5	20	可動	316	300	300	610	400	80	50	440	760	115	191.1	0.52

出典：'93デザインデータブック より

1.8.2 塗装塗替え工, 支承防錆工数量計算書

部位	参照番号	計 算 式	面数	個数	Net	塗装面積 (m ²)	適 用
主桁							
標準部							
H	G1~G3	12.100 × 151kg/m × 0.0153m ² /kg	1	3	100%	83.864	H-588×300×12×20
		- 12.100 × 0.300	1	3	100%	-10.890	床版との設置面
断面変化部							
U.Flg.PL.	G1~G3	0.300 × 0.950	2	3	100%	1.710	
Web.PL.	G1~G3	0.548 × 0.950	2	3	100%	3.124	
		0.012 × 0.548	2	3	100%	0.039	
L.Flg.PL.	G1~G3	0.300 × 0.210	2	3	100%	0.378	
		1/2 ×(0.210 + 0.300)× 0.650	2	3	100%	0.995	
V.St.PL.	C1~C5	0.049	2	22	100%	2.156	
		- 0.071 × 0.250	1	20	100%	-0.355	横桁との設置面
		- 0.071 × 0.220	1	10	100%	-0.156	横桁との設置面
	C3	0.081	2	2	100%	0.324	
		- 0.076 × 0.375	1	2	100%	-0.057	横桁との設置面
		- 0.073	1	2	100%	-0.146	横桁との設置面
		小計				80.986	
縦桁							
標準部							
H	St1,St2	2.080 × 151kg/m × 0.0153m ² /kg	1	2	100%	9.611	H-588×300×12×20
		- 2.080 × 0.300	1	2	100%	-1.248	床版との設置面
断面変化部							
U.Flg.PL.	St1,St2	1/2 ×(0.740 + 0.890)× 0.150	1	2	100%	0.245	
		0.890 × 0.150	1	2	100%	0.267	
Web.PL.	St1,St2	0.890 × 0.548	2	3	100%	2.926	

部位	参照番号	計 算 式	面数	個数	Net	塗装面積 (m ²)	適 用
L.Flг.PL.	St1,St2	$1/2 \times (0.315 + 0.420) \times 0.105$	2	2	100%	0.154	
		0.420×0.105	2	2	100%	0.176	
		$1/2 \times (0.210 + 0.300) \times 0.470$	2	2	100%	0.479	
V.St.PL.	C1	0.075	2	2	100%	0.300	
		0.049	2	2	100%	0.196	
		- 0.071 \times 0.250	1	2	100%	-0.036	横桁との設置面
		小計				13.070	
端横桁							
[C1	$1.907 \times 34.6\text{kg/m} \times 0.0235\text{m}^2/\text{kg}$	1	2	100%	3.101	[-250×90×9×13
	C1,C5	$2.050 \times 34.6\text{kg/m} \times 0.0235\text{m}^2/\text{kg}$	1	4	100%	6.667	[-250×90×9×13
		- 0.071 \times 0.250	1	12	100%	-0.213	V.St.PL.との設置面
PL	C1,C5	$1/2 \times (0.080 + 0.190) \times 0.220$	1	10	100%	0.297	
中間横桁							
[C2,C4	$2.050 \times 34.6\text{kg/m} \times 0.0235\text{m}^2/\text{kg}$	1	4	100%	6.667	[-250×90×9×13
		- 0.071 \times 0.250	1	8	100%	-0.142	V.St.PL.との設置面
H	C3	$1.800 \times 76.0\text{kg/m} \times 0.0217\text{m}^2/\text{kg} / 2$	1	2	100%	2.969	H-450×200×9×14
		$1.840 \times 76.0\text{kg/m} \times 0.0217\text{m}^2/\text{kg} / 2$	1	2	100%	3.035	H-450×200×9×14
		- 2.050 \times 0.200	1	2	100%	-0.820	床版との設置面
PL	C3	0.039	2	2	100%	0.156	
		0.081	2	2	100%	0.324	
		- 0.076 \times 0.375	1	2	100%	-0.057	V.St.PL.との設置面
		- 0.073	1	2	100%	-0.146	V.St.PL.との設置面
		0.200 \times 0.220	2	2	100%	0.176	
		小計				22.014	

1.9 伸縮部補修工

1.9.1 伸縮目地材 (特殊ウレタン樹脂 SMジョイント I型同等品以上)

$$L = 10.400 + 6.100 = 16.500 \text{ m}$$

1.10 水切り工

1.10.1 水切り材 (軟質PVC製水切り材)

$$L = 14.630 \times 2 = 29.260 \text{ m}$$

1.10.2 下地処理

$$A = 29.260 \times 0.025 = 0.732 \text{ m}^2$$

1.10.3 接着剤塗布 (エポキシ樹脂系接着剤)

$$A = 29.260 \times 0.025 = 0.732 \text{ m}^2$$

1.11 構造物取壊し工

1.11.1 鉄筋探査工

(1) 下向き

1) 支承補修工

$$A = 0.528 = 0.528 \text{ m}^2$$

1.11.2 コンクリート削孔工

(1) 削孔径 ϕ 10mm以上 \sim 30mm未満 電動ハンマードリル 200mm以上400mm未満

1) 支承補修工

$$N = 4 = 4 \text{ 孔}$$

1.11.3 構造物とりこわし工

(1) 鉄筋構造物 人力施工

1) 支承補修工

$$V = 0.013 = 0.013 \text{ m}^3$$

1.12 運搬処理工

1.12.1 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

1) 断面修復工 (左官工法)

$$V = 0.256 = 0.256 \text{ m}^3$$

1) 支承補修工

$$V = 0.014 \quad \quad \quad = 0.014 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.270 \text{ m}^3$$

1.12.2 殻処分 (がれき類)

$$V = 0.270 = 0.270 \text{ m}^3$$

$$W = 0.270 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.635 \text{ t}$$

1.13 仮設足場工

1.13.1 吊足場

(1) 吊足場 (TYPE A1 吊足場 桁高 $h < 1.5$)

$$a1 = 7.700 \times 12.440 = 95.788 \text{ m}^2$$

$$a2 = 1.502 \times 2 = 3.004 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 98.792 \text{ m}^2$$

(2) 床面シート張防護設置 (床面シート張防護設置時)

$$A = 98.792 = 98.792 \text{ m}^2$$

(3) 朝顔 (TYPE B 朝顔(両側))

$$A = 98.792 = 98.792 \text{ m}^2$$

(4) 防護工 (TYPE B シート張防護工(両側))

$$A = 98.792 = 98.792 \text{ m}^2$$

1.14 塗膜剝離劑工用養生設備工

1.14.1 剝離劑工用養生設備

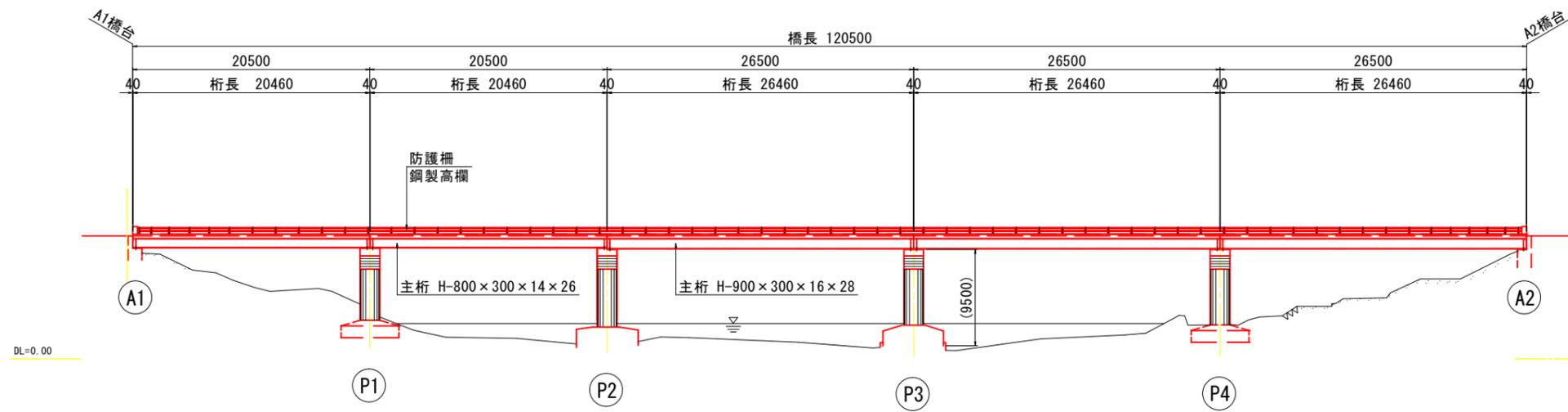
$$a1 = 7.700 \times 12.440 = 95.788 \text{ m}^2$$

$$a2 = 1.502 \times 2 = 3.004 \text{ m}^2$$

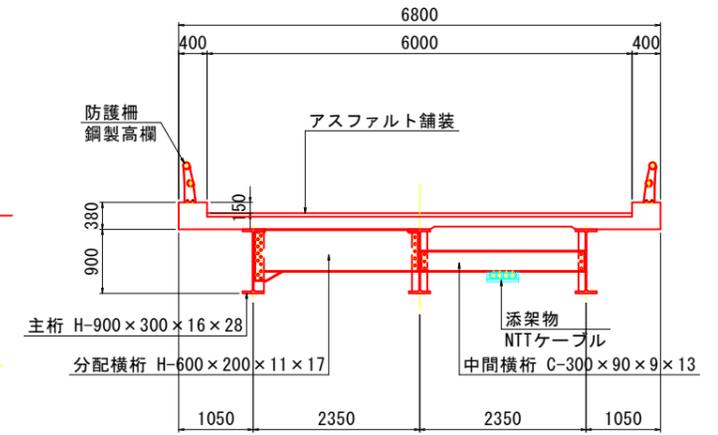
$$\underline{\Sigma A = 98.792 \text{ m}^2}$$

納所橋 現況一般図

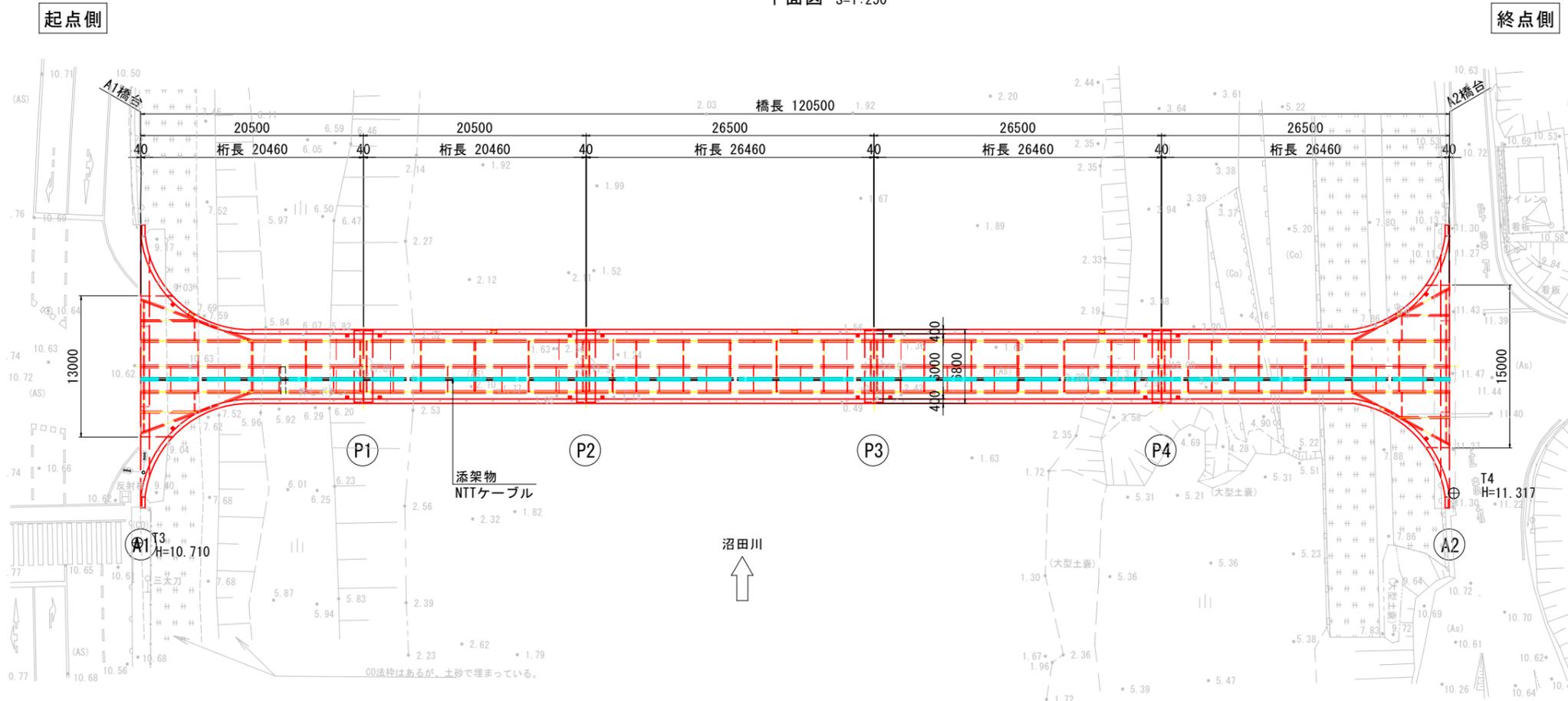
側面図 S=1:250



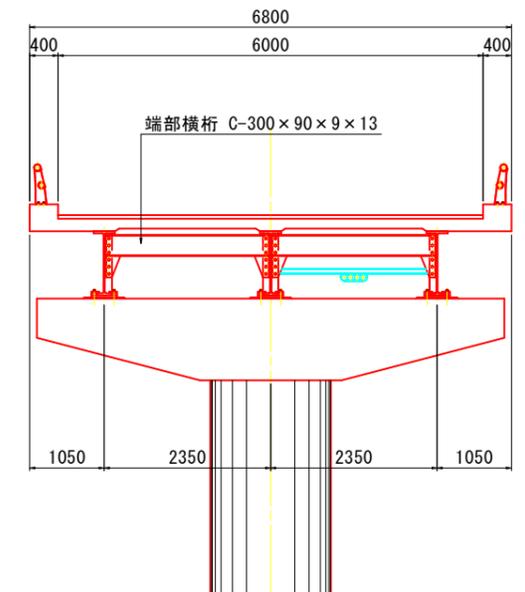
上部工断面図 S=1:50 (標準部)



平面図 S=1:250



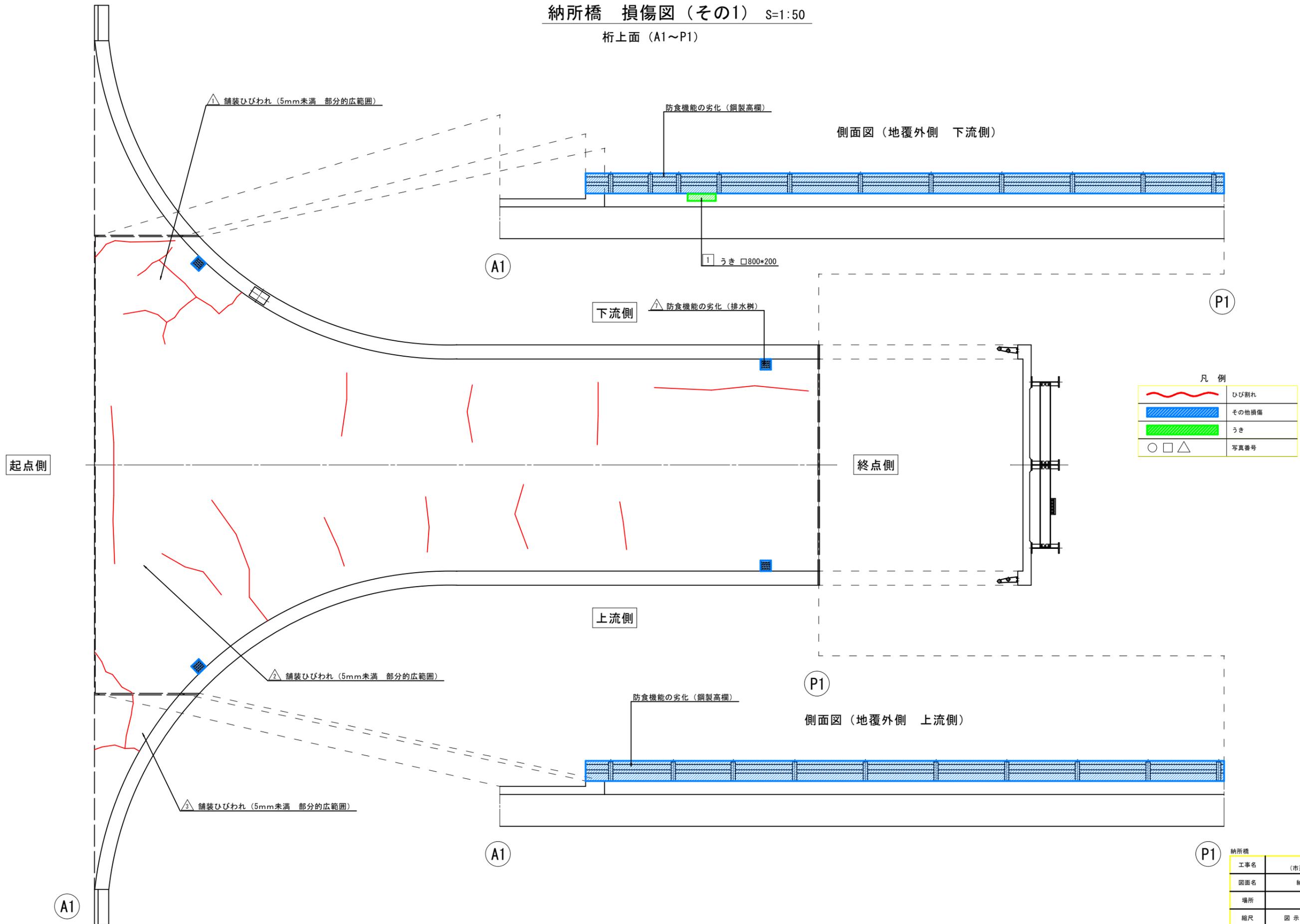
上部工断面図 S=1:50 (下部工部)



納所橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)
図面名	納所橋 現況一般図
場所	三原市沼田東町納所
縮尺	図示 図面番号 /
三原市	

納所橋 損傷図 (その1) S=1:50

桁上面 (A1~P1)



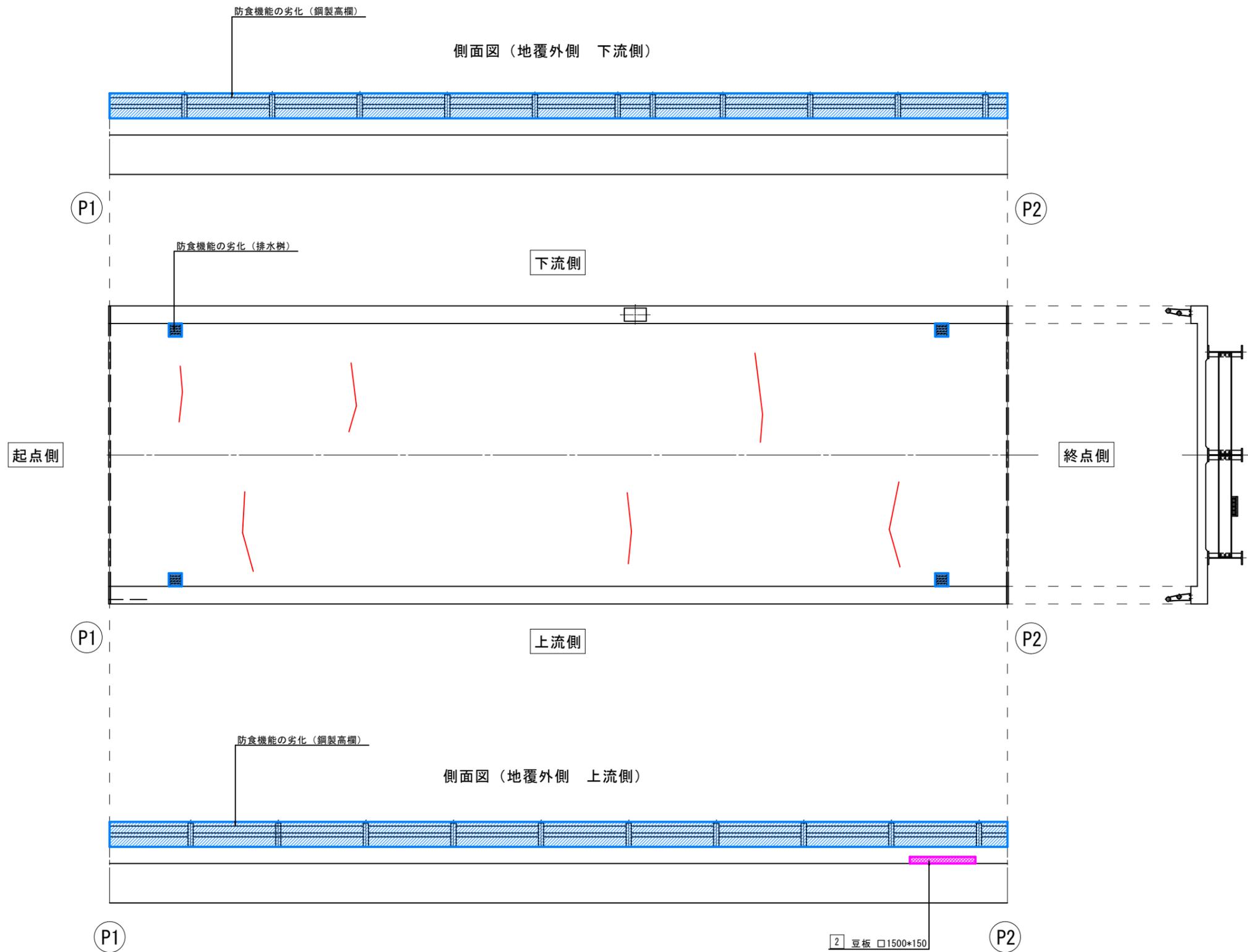
凡例

	ひび割れ
	その他損傷
	うき
	写真番号

納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)		
図面名	納所橋 損傷図 (その1)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

納所橋 損傷図 (その2) S=1:50

桁上面 (P1~P2)



凡例

	ひび割れ
	豆板
	その他損傷
	写真番号

納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)		
図面名	納所橋 損傷図 (その2)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

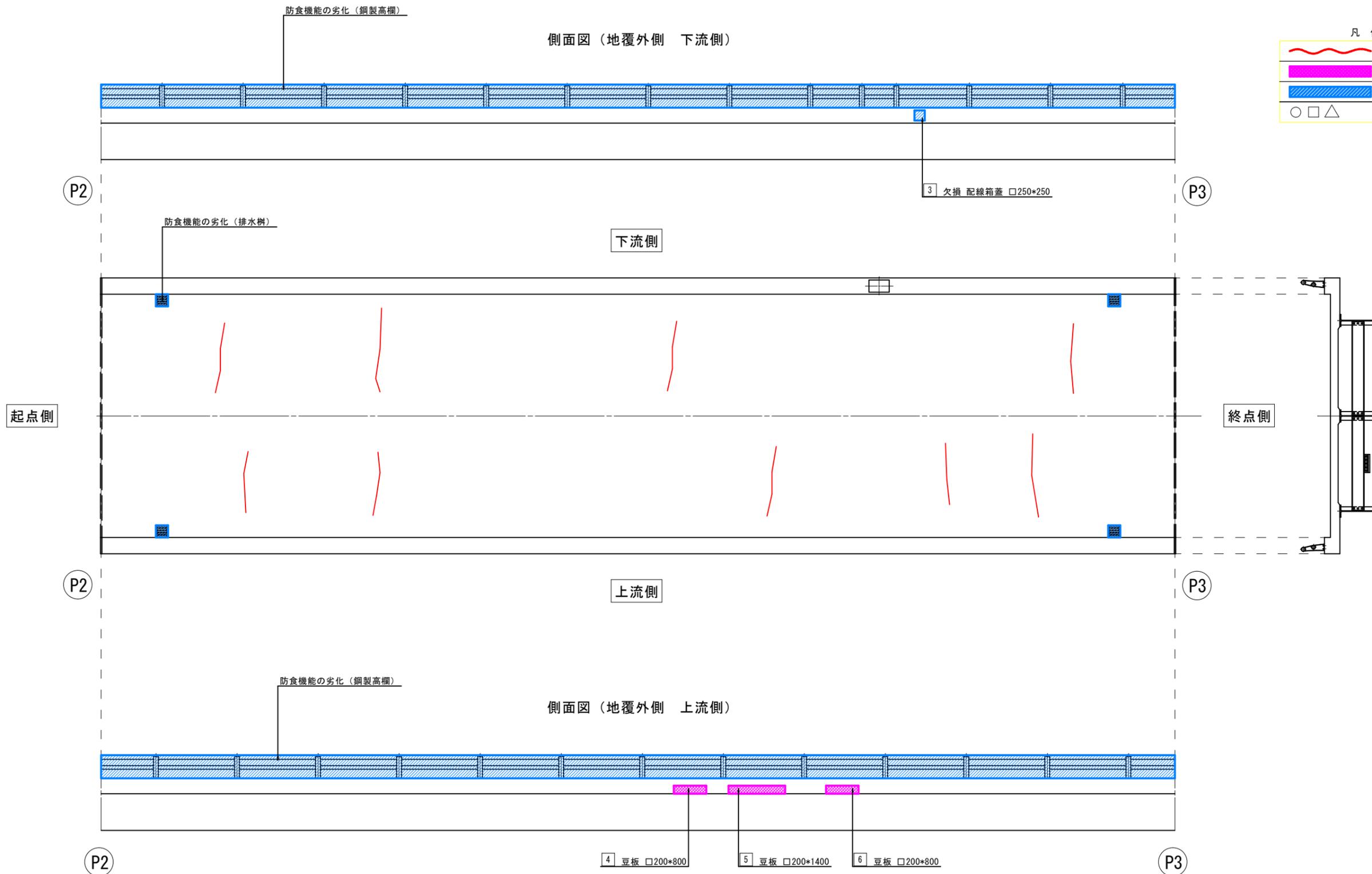
納所橋 損傷図 (その3) S=1:50

桁上面 (P2~P3)

側面図 (地覆外側 下流側)

凡例

	ひび割れ
	豆板
	その他損傷
	写真番号



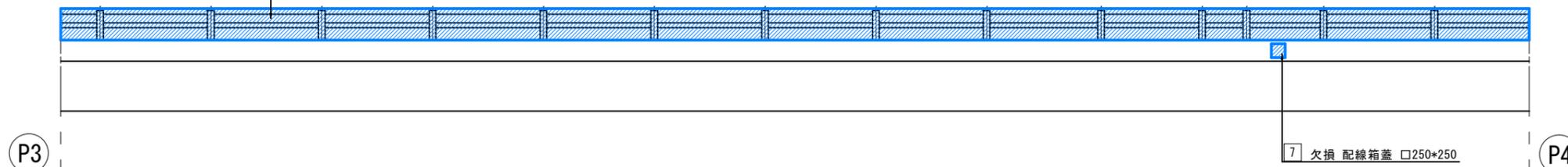
納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)		
図面名	納所橋 損傷図 (その3)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

納所橋 損傷図 (その4) S=1:50

桁上面 (P3~P4)

側面図 (地覆外側 下流側)

防食機能の劣化 (鋼製高欄)



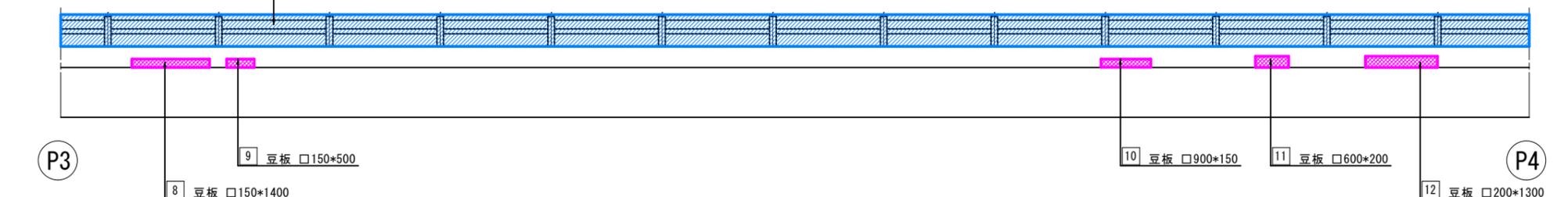
凡例

	ひび割れ
	豆板
	その他損傷
	写真番号



側面図 (地覆外側 上流側)

防食機能の劣化 (鋼製高欄)

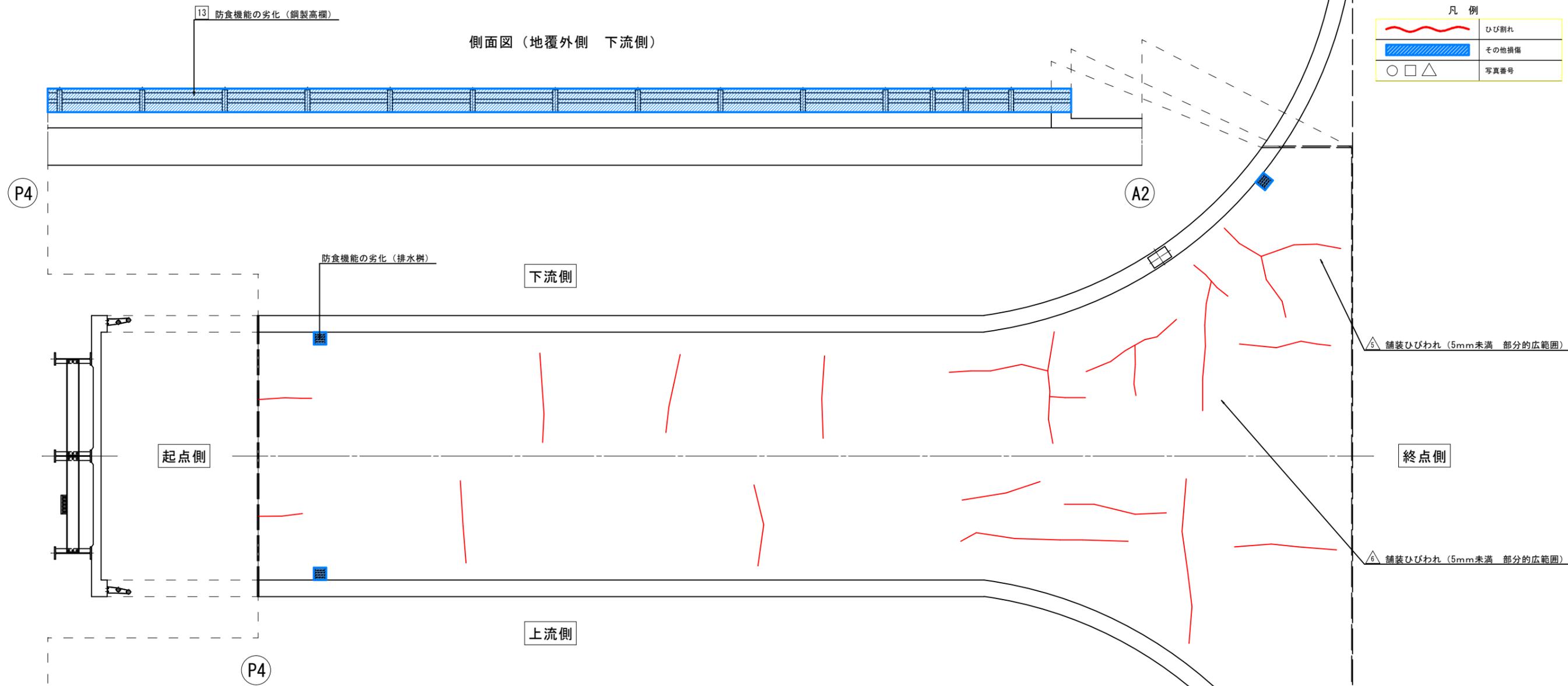


納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)		
図面名	納所橋 損傷図 (その4)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

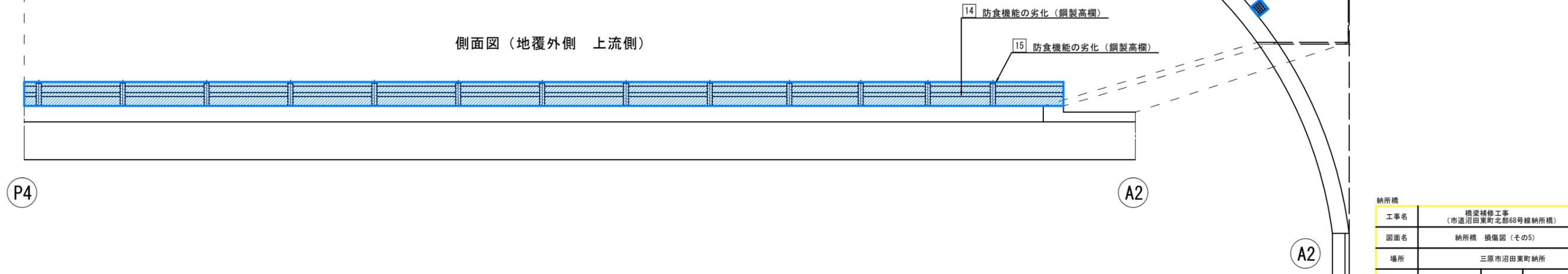
納所橋 損傷図 (その5) S=1:50

桁上面 (P4~A2)

側面図 (地覆外側 下流側)



側面図 (地覆外側 上流側)



凡例

	ひび割れ
	その他損傷
	写真番号

舗装ひびわれ (5mm未満 部分的広範囲)

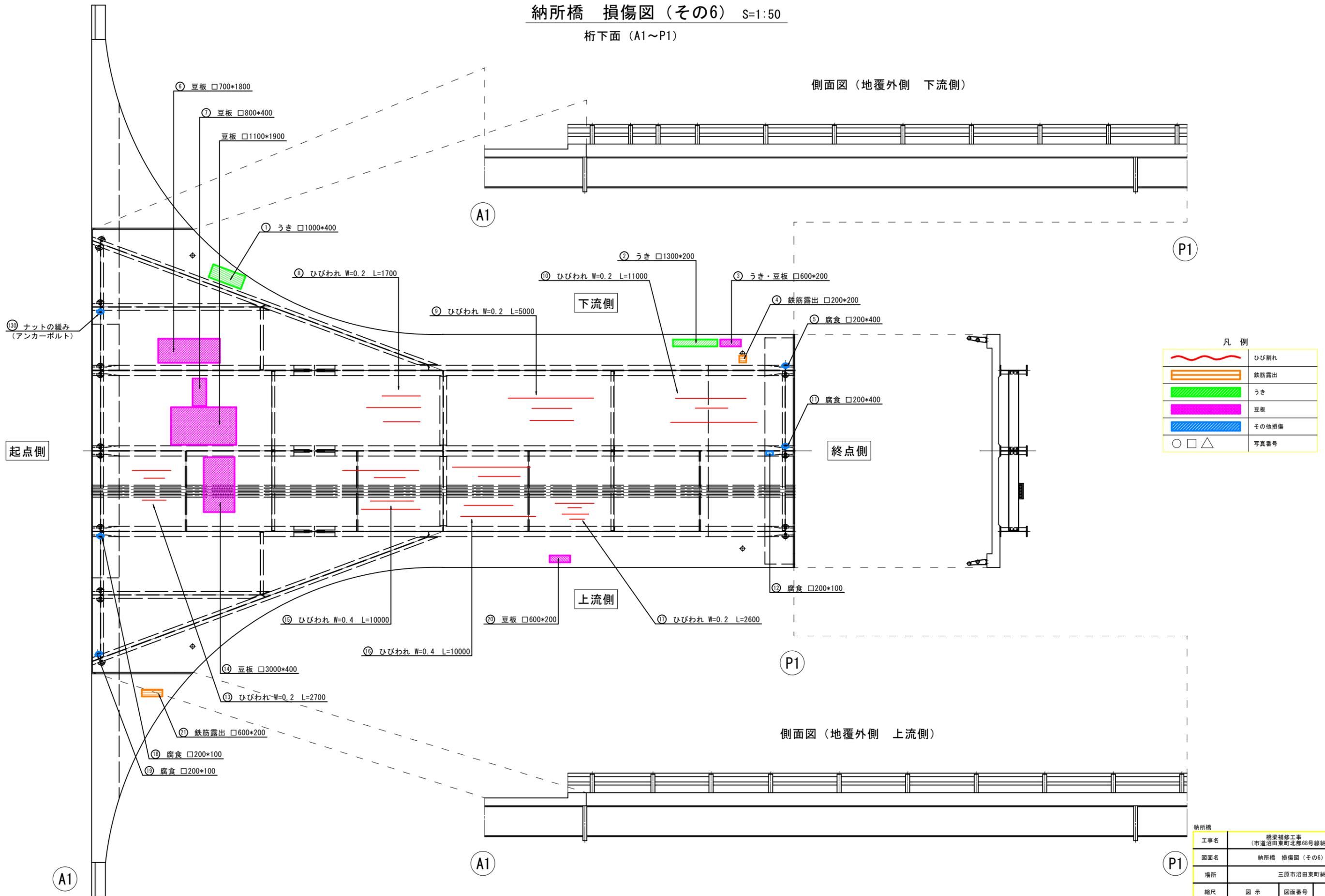
舗装ひびわれ (5mm未満 部分的広範囲)

納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)		
図面名	納所橋 損傷図 (その5)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

納所橋 損傷図 (その6) S=1:50

桁下面 (A1~P1)

側面図 (地覆外側 下流側)

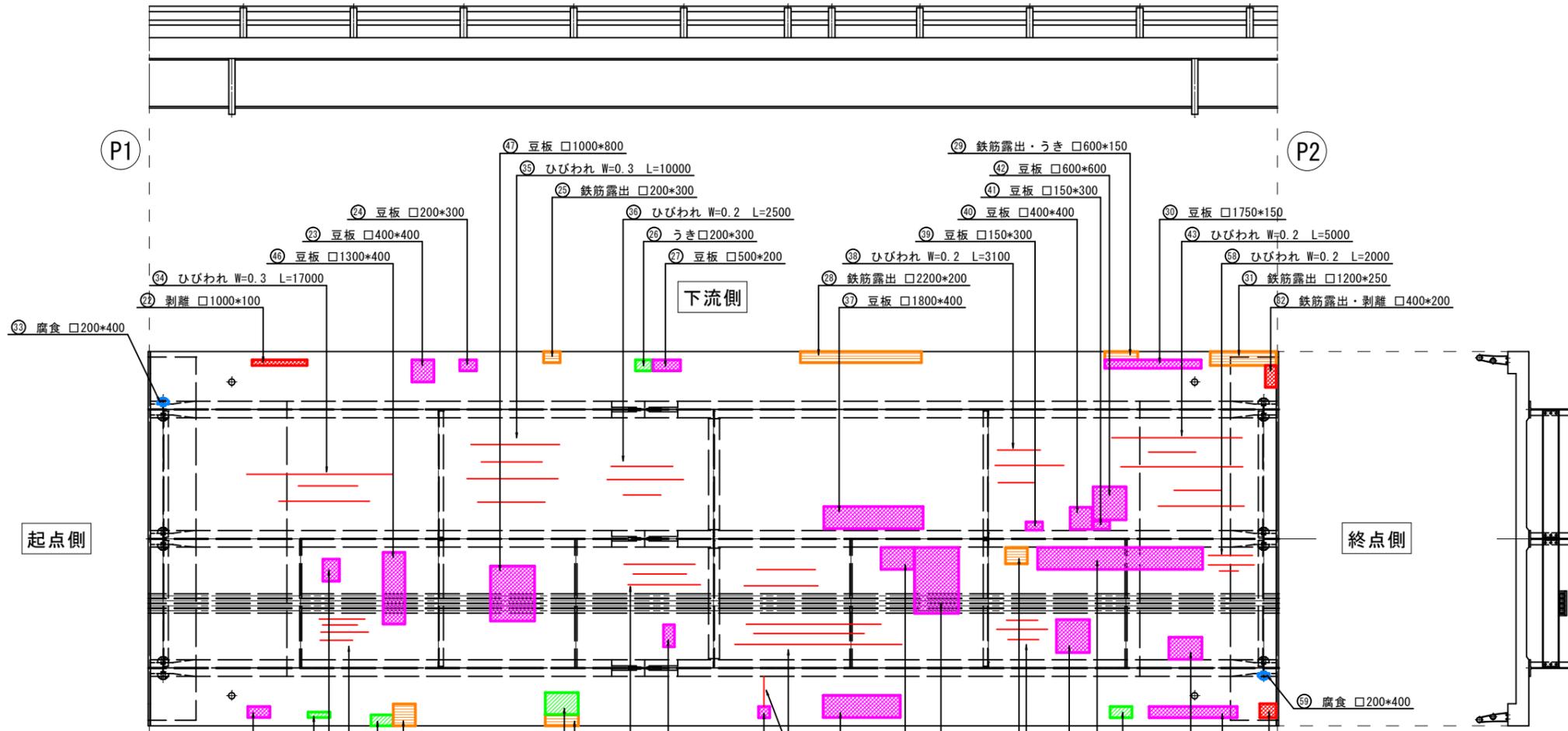


納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)		
図面名	納所橋 損傷図 (その6)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

納所橋 損傷図 (その7) S=1:50

桁下面 (P1~P2)

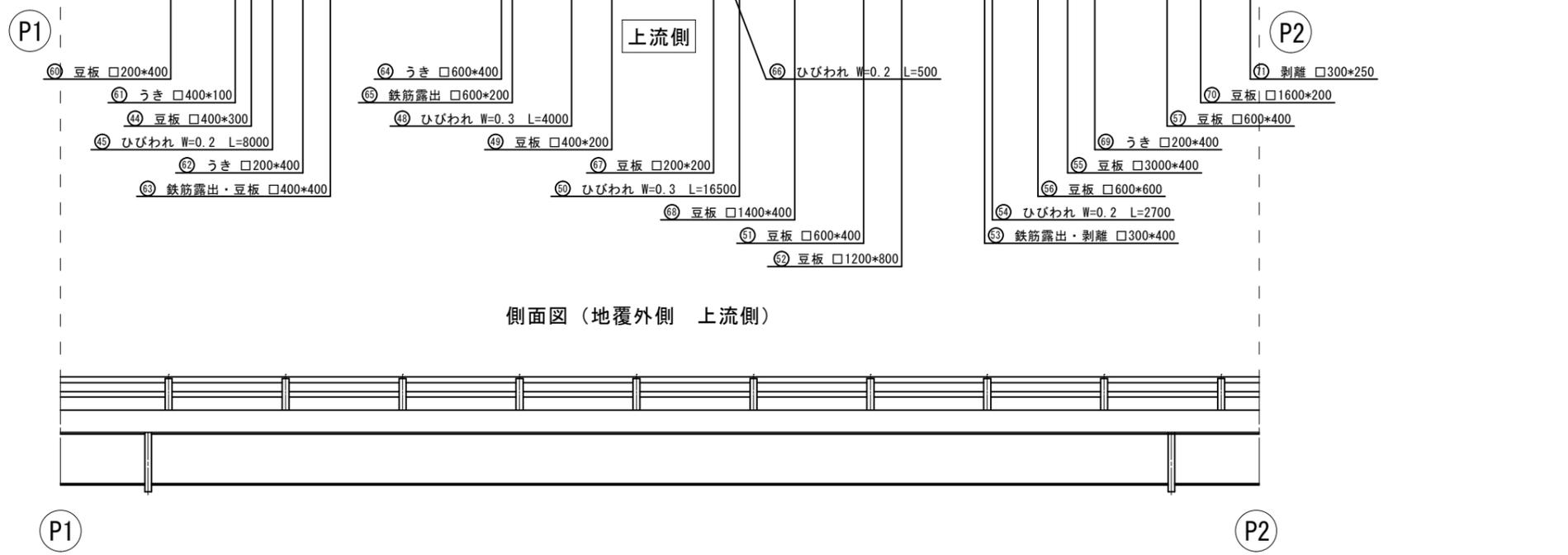
側面図 (地覆外側 下流側)



凡例

	ひび割れ
	鉄筋露出
	剥離
	うき
	豆板
	その他損傷
○ □ △	写真番号

側面図 (地覆外側 上流側)

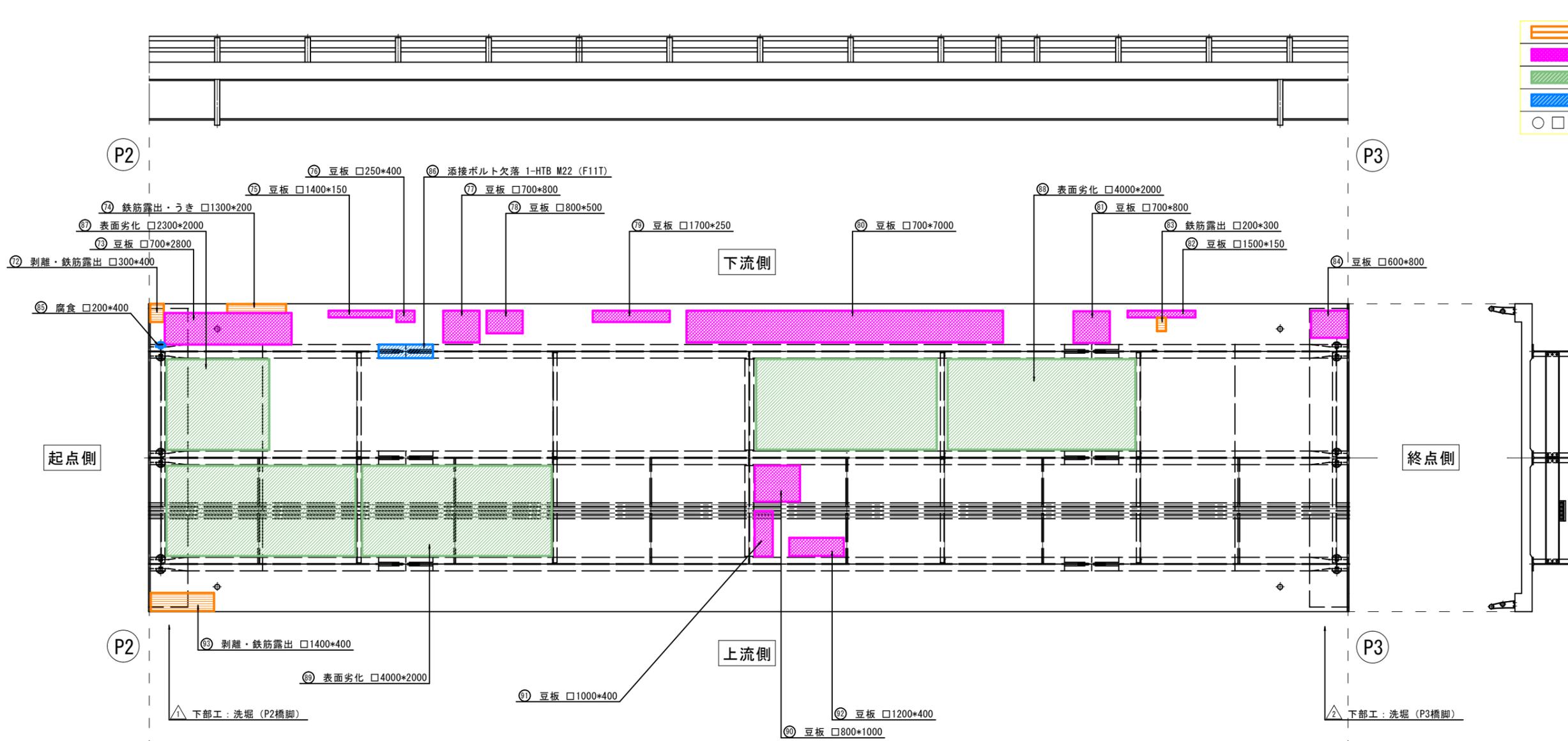


納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)		
図面名	納所橋 損傷図 (その7)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

納所橋 損傷図 (その8) S=1:50

桁下面 (P2~P3)

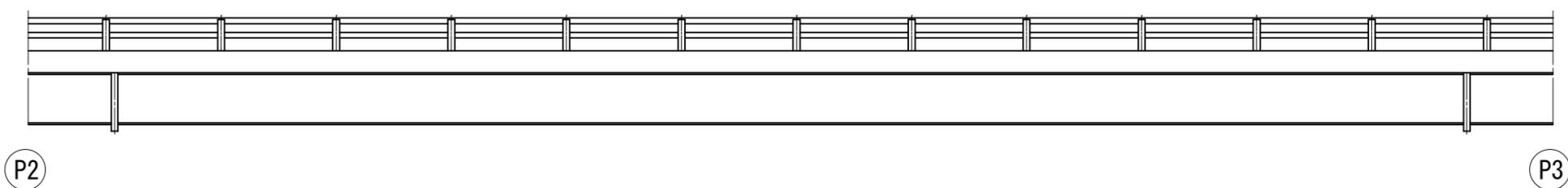
側面図 (地覆外側 下流側)



凡例

	鉄筋露出
	豆板
	表面劣化
	その他損傷
○ □ △	写真番号

側面図 (地覆外側 上流側)



納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)		
図面名	納所橋 損傷図 (その8)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

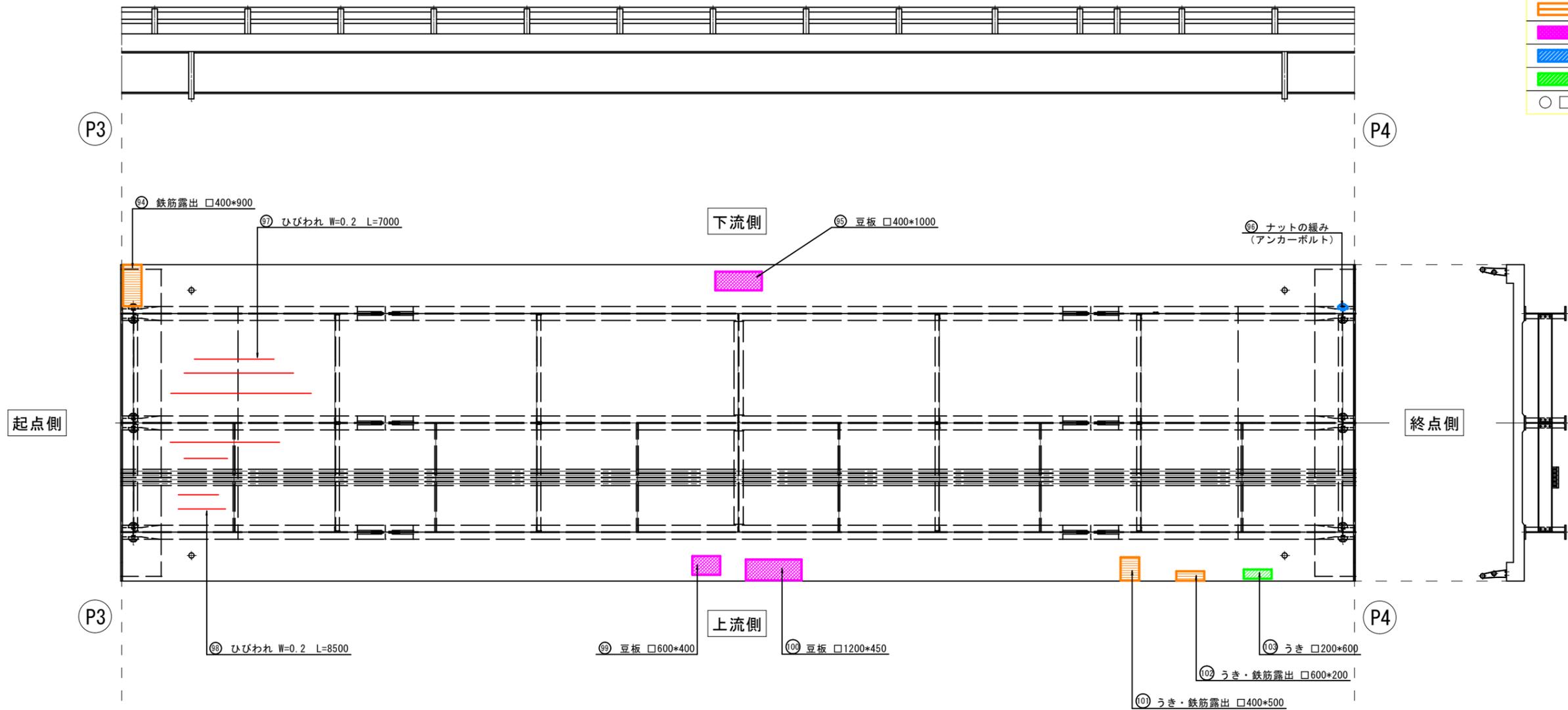
納所橋 損傷図 (その9) S=1:50

桁下面 (P3~P4)

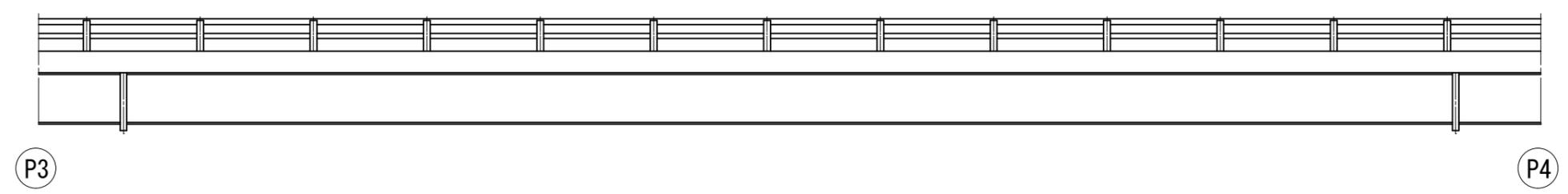
側面図 (地覆外側 下流側)

凡例

	ひび割れ
	鉄筋露出
	豆板
	その他損傷
	うき
	写真番号



側面図 (地覆外側 上流側)

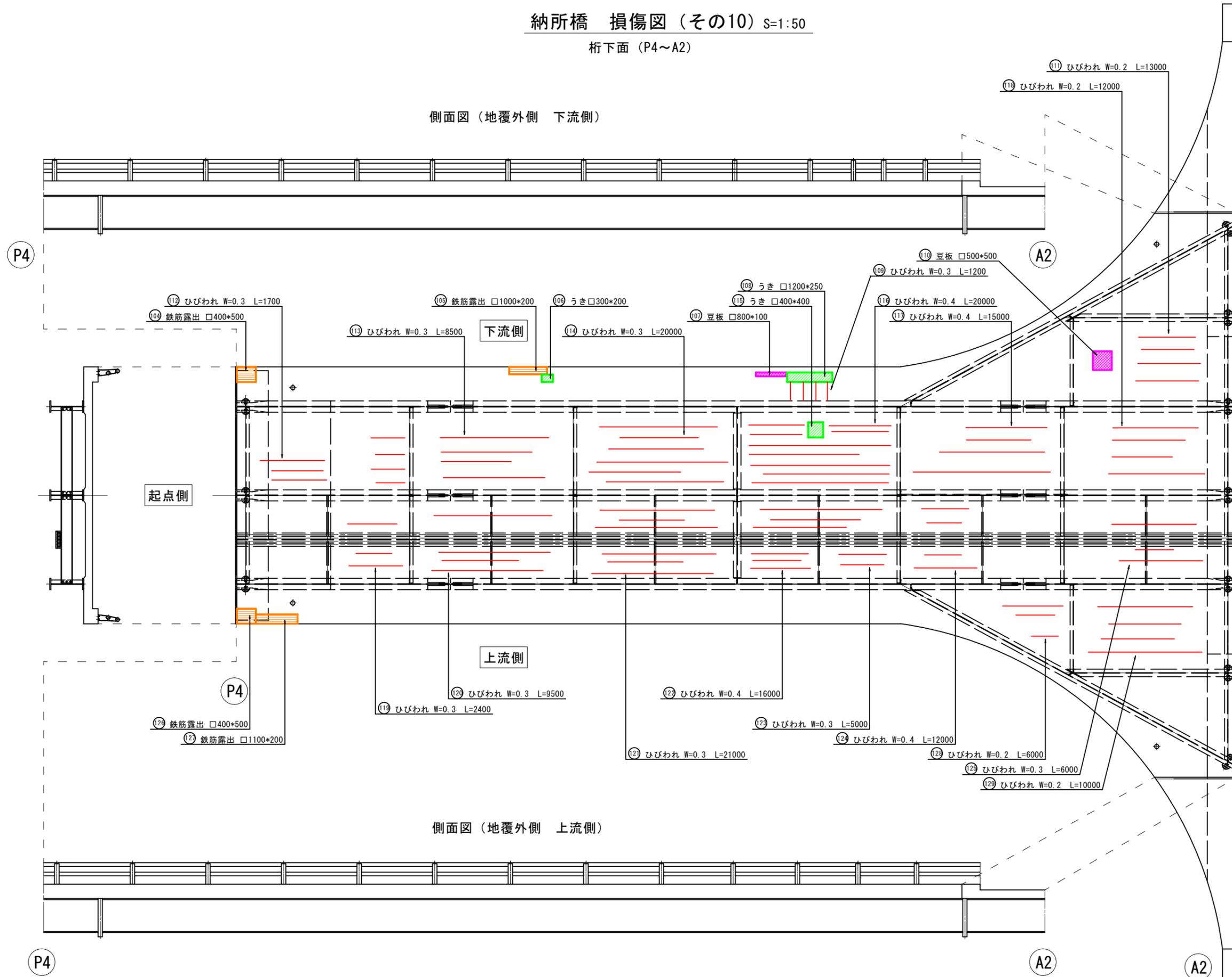


納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部08号線納所橋)		
図面名	納所橋 損傷図 (その9)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

納所橋 損傷図 (その10) S=1:50

桁下面 (P4~A2)

側面図 (地覆外側 下流側)



凡例

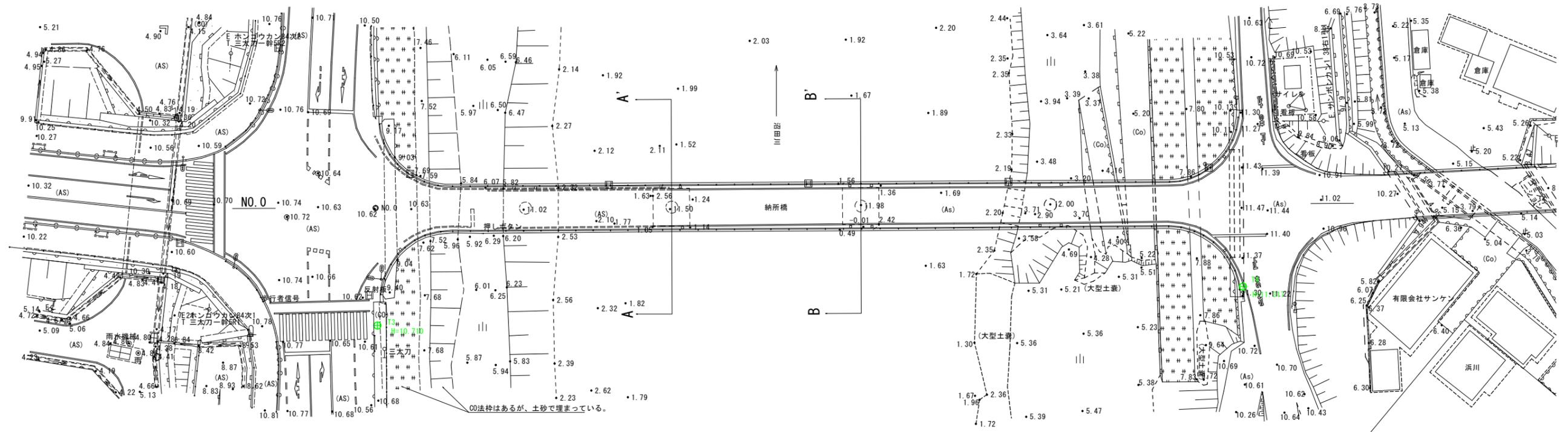
	ひびわれ
	鉄筋露出
	うき
	豆板
○ □ △	写真番号

納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)		
図面名	納所橋 損傷図 (その10)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

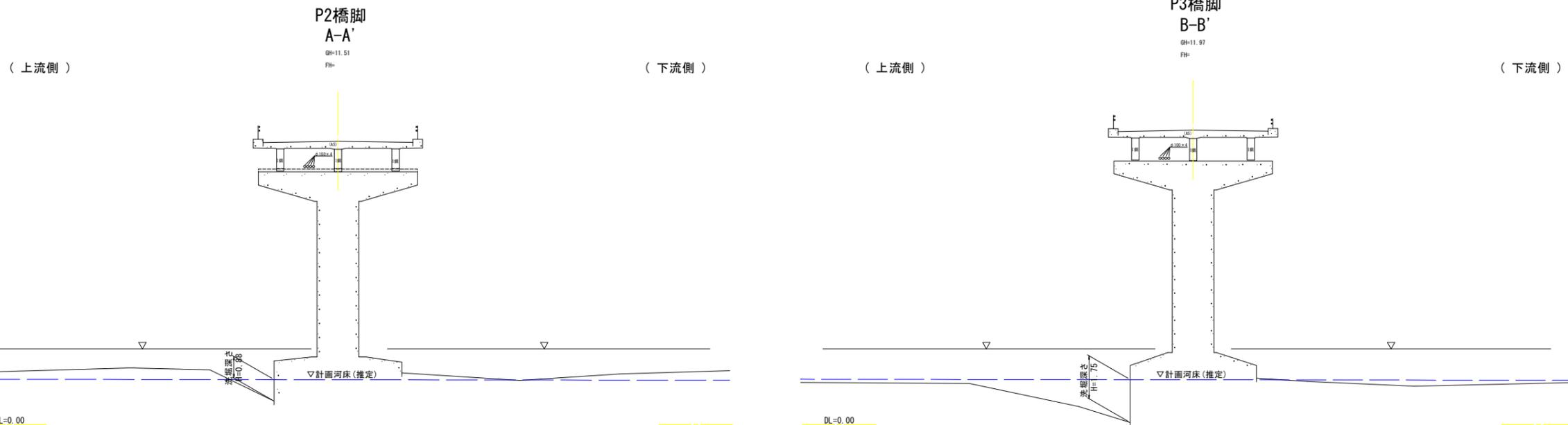
納所橋 損傷図 (その11)

橋脚(洗堀状況)

平面図 S=1:300



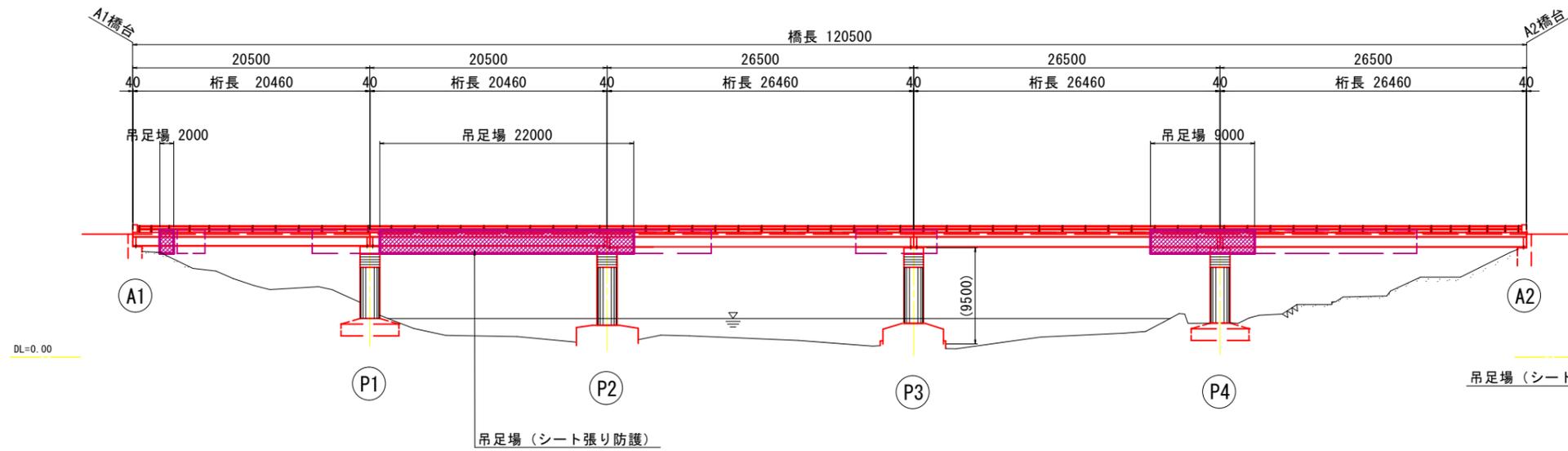
断面図 S=1:100



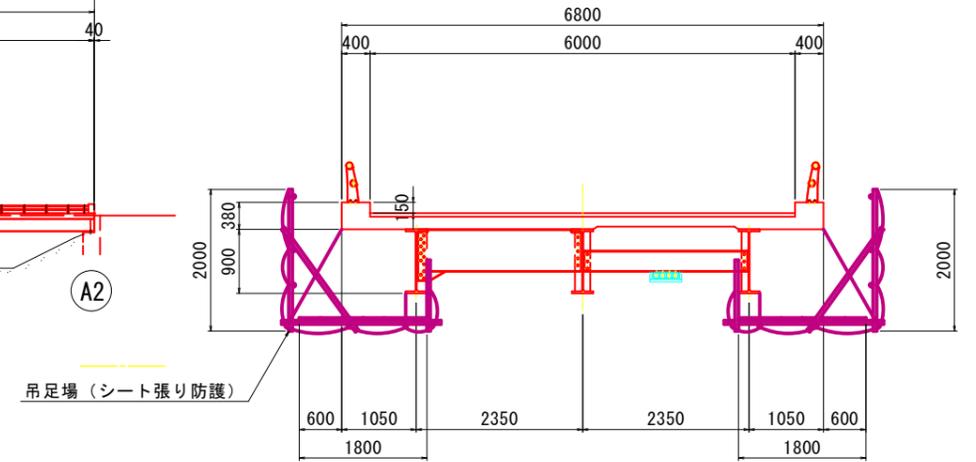
納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)		
図面名	納所橋 損傷図 (その11)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

納所橋 仮設図 (吊足場参考図)

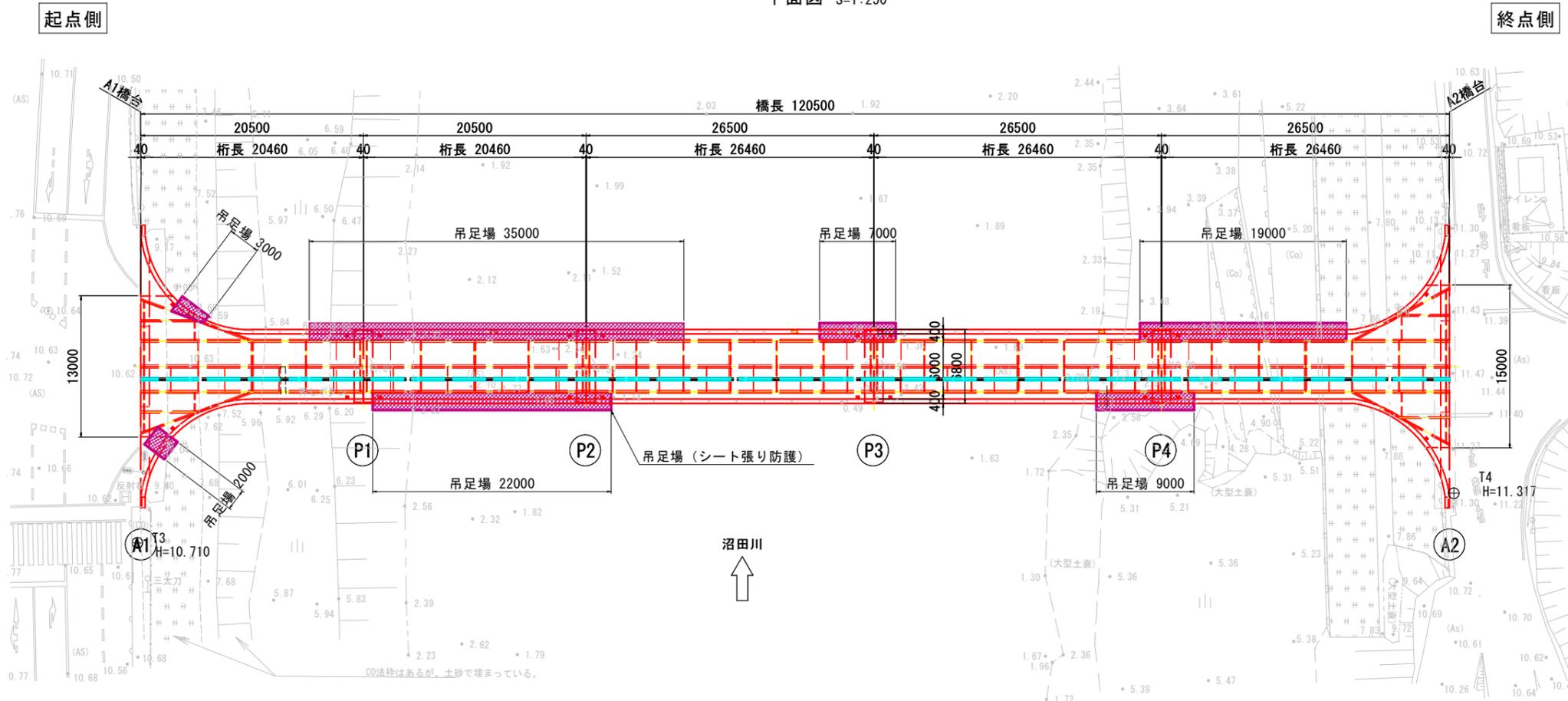
側面図 S=1:250



上部工断面図 S=1:50
(標準部)



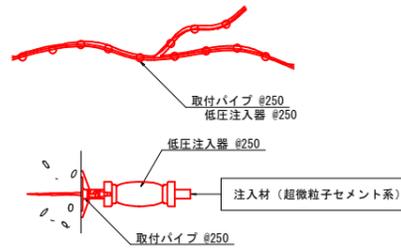
平面図 S=1:250



納所橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線納所橋)		
図面名	納所橋 仮設図 (吊足場参考図)		
場所	三原市沼田東町納所		
縮尺	図示	図面番号	/
三原市			

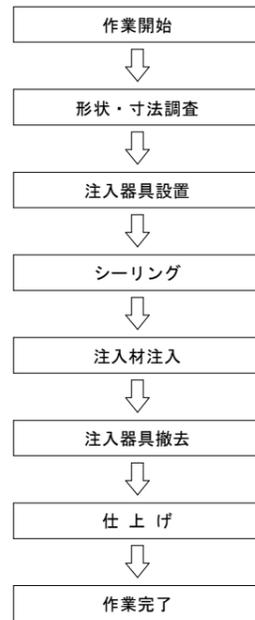
1号橋梁(大板橋) 補修詳細図(参考図)(その1)

ひびわれ注入工 (参考図)

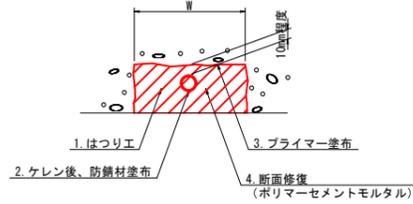


- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 鉛直方向のひびわれについては、特に注入材の造粒に注意すること。
- ※ 注入材は可使用時間内に注入を行い、可使用時間を過ぎた材料については使用しないこと。
- ※ 注入はひびわれの下方から上方に向かって、順次注入を行う。
- ※ 注入パイプ取付は25cm間隔を基本とする。

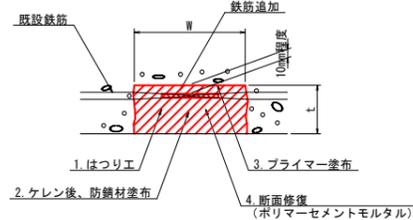
施工手順



断面修復工(左官工法) (参考図)

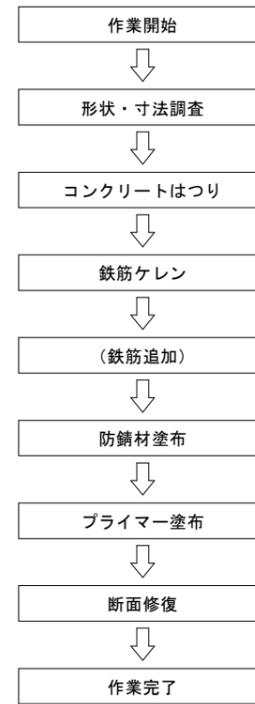


断面修復工(鉄筋追加) (左官工法) (参考図)

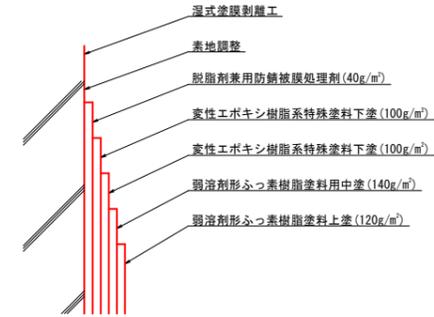


- ※ 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
- ※ 端部は、L字カットを行い、フェザーエッジとならない処理を行うこと。
- ※ 腐食鉄筋のケレンに伴い鉄筋断面が著しく減少した箇所は協議の上、対策を決定すること。
- ※ 鉄筋を追加する場合は、必要な鉄筋継ぎ手長を確保すること。
- ※ 断面修復工は、原形復旧を基本とするが、縦かぶり10mm未満の箇所については、10mm以上のかぶり厚を確保させること。
- ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

施工手順



塗装塗替え工, 支承防錆工 (参考図)

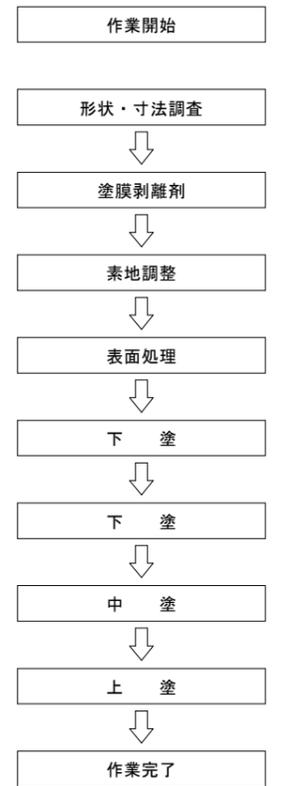


塗装仕様：錆転換型防食塗装

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
素地調整	3種 (A)	
表面処理	脱脂剤兼用防錆被膜処理剤	40
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	100
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

- ※ 塗装塗替え対象は全ての鋼部材(全面塗替え)とする。
- ※ 素地調整の種類は3種ケレンAを想定。
- ※ 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
- ※ 塗装面のケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下、湿度85RH%以上では施工しないこと。
- ※ 塗布量は標準使用量以上とすること。
- ※ 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
- ※ 降雨、降雪のとき、またはその恐れがある時は使用しないこと。
- ※ 材料は可使用時間内に塗布を行い、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

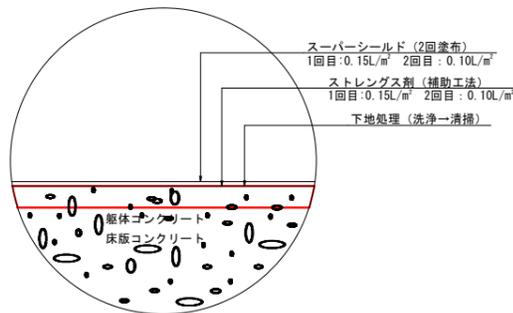
施工手順



表面含浸工 (参考図)

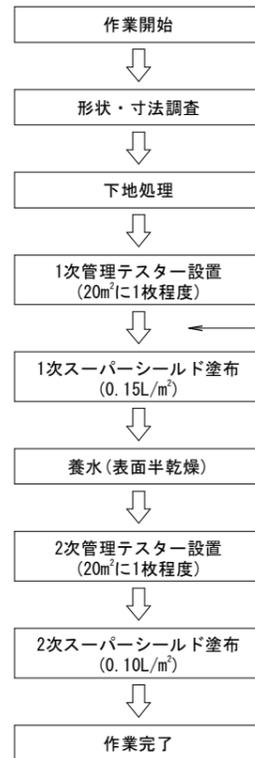
(中性化対策・微細なひび割れ補修等)

- ※ 上部0部(地覆・床版・箱桁)を対象とする。
- ※ ケイ酸塩系含浸材



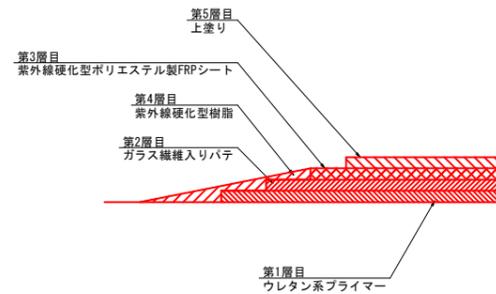
- ※ スーパーシールド塗布はコンクリート面を湿潤状態にして行い、塗布後も含浸を促進するため散水養生すること。
- ※ 下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについてはプラスト処理やケレンによって除去・清掃すること。
- ※ 含浸工はスーパーシールドを参考に示すが、別途製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従うこと。

施工手順



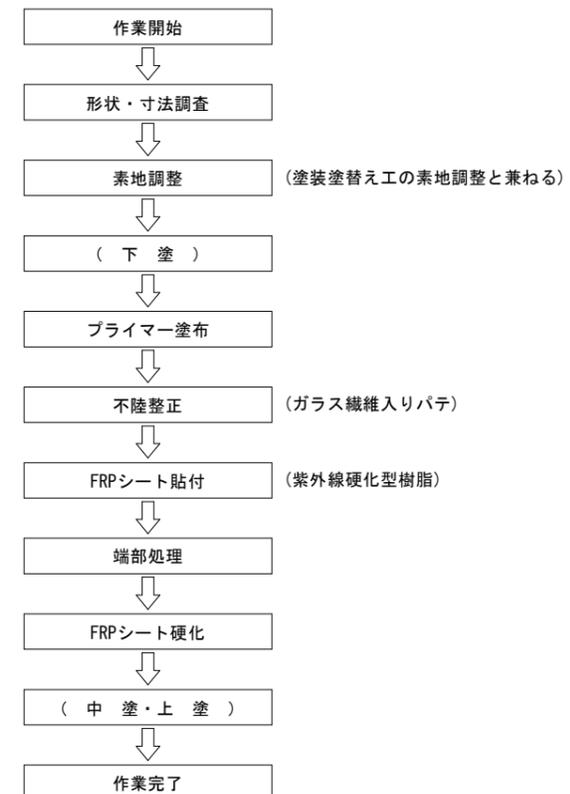
補助工法 ストレングス剤 0.25L/m²

FRPシート接着工(紫外線硬化型FRPシート) (参考図)



- ※ 素地調整の種類は3種ケレンAを想定し、塗装塗替え工の素地調整を兼ねることとする。
- ※ 下塗、中塗及び上塗材料は塗装塗替え工と同様の材料を塗布すること。

施工手順

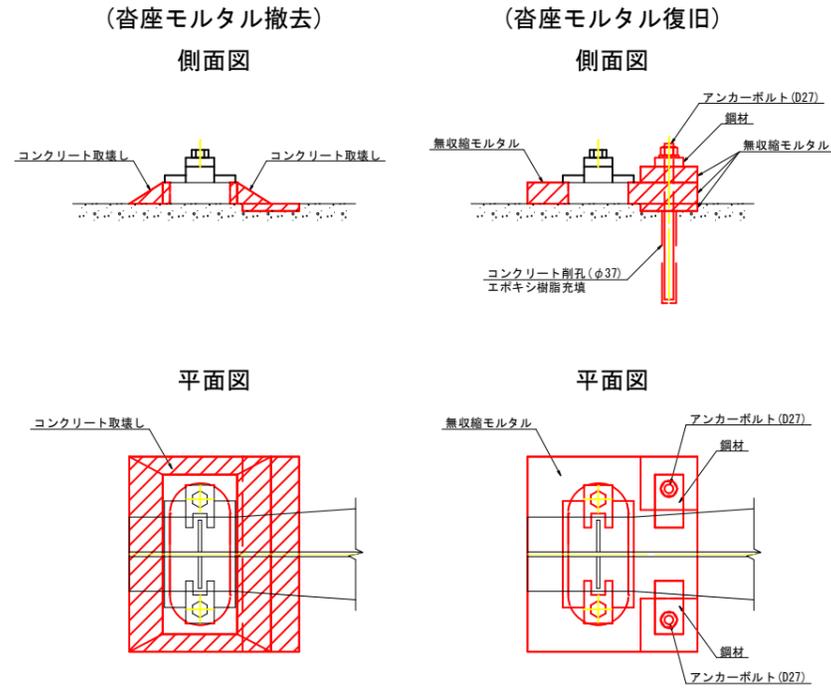


大板橋

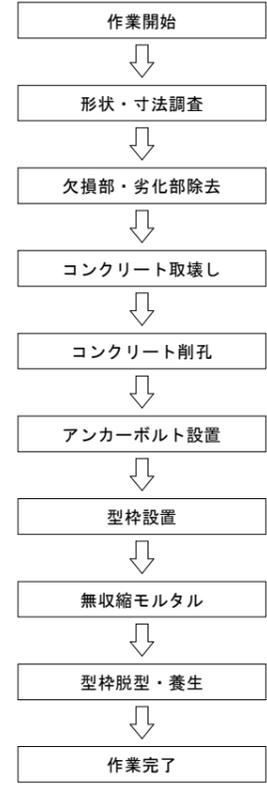
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線(納所橋)外1路線)		
図面名	大板橋 補修詳細図(参考図)(その1)		
場所	三原市沼田東町納所外		
縮尺	図示	図面番号	1 / 8
三原市			

1号橋梁(大板橋) 補修詳細図(参考図)(その2)

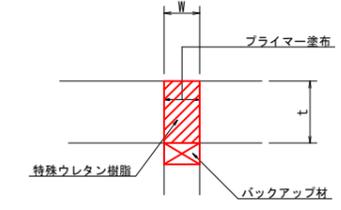
支承補修工 (参考図)



施工手順

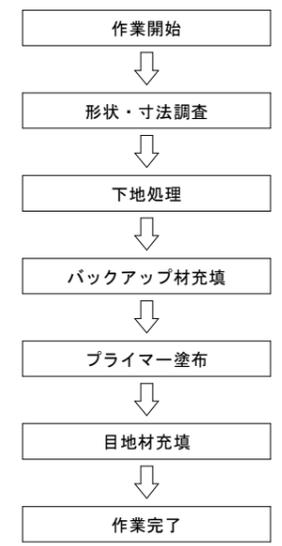


伸縮部補修工 (参考図)

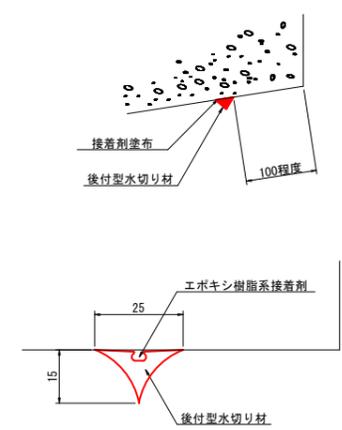


- ※ 施工箇所の清掃を十分に行うこと。
- ※ 充填材は可使用時間内に注入を行い、可使用時間を過ぎた材料については使用しないこと。
- ※ 充填後は、指触乾を確認後に交通解放を行うこと。

施工手順

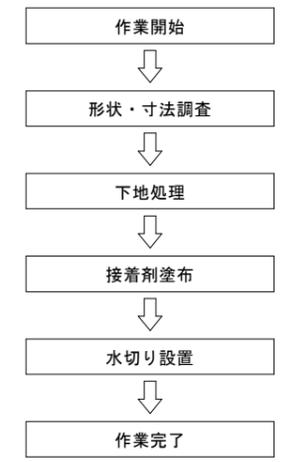


水切り工 (参考図)



※ 水切り設置面のコンクリートは、不陸のないよう調整を行うこと。

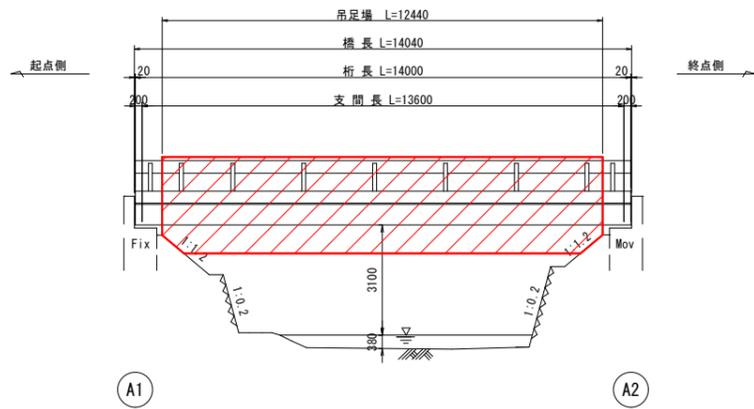
施工手順



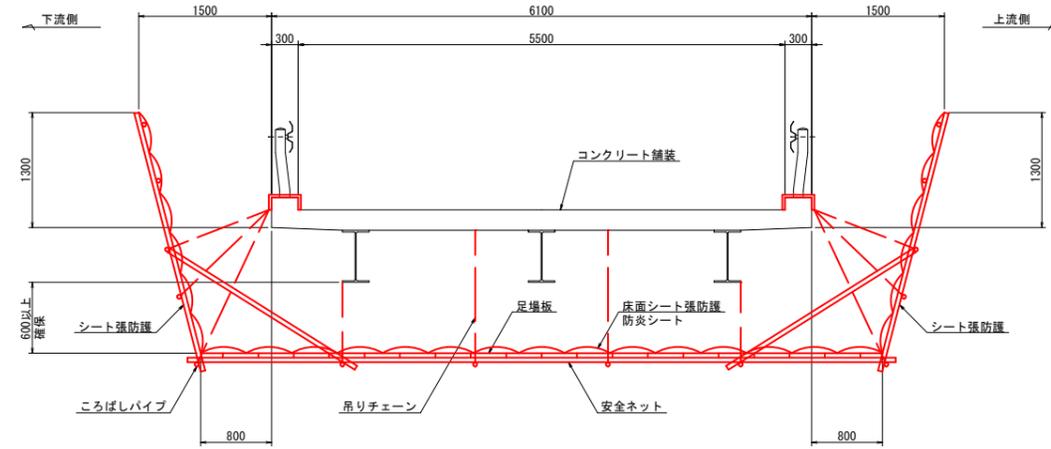
大板橋				
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線(納所橋)外1路線)			
図面名	大板橋 補修詳細図(参考図)(その2)			
場所	三原市沼田東町納所外			
縮尺	図示	図面番号	2	/ 8
三原市				

1号桥梁(大板橋) 仮設足場図(参考図)

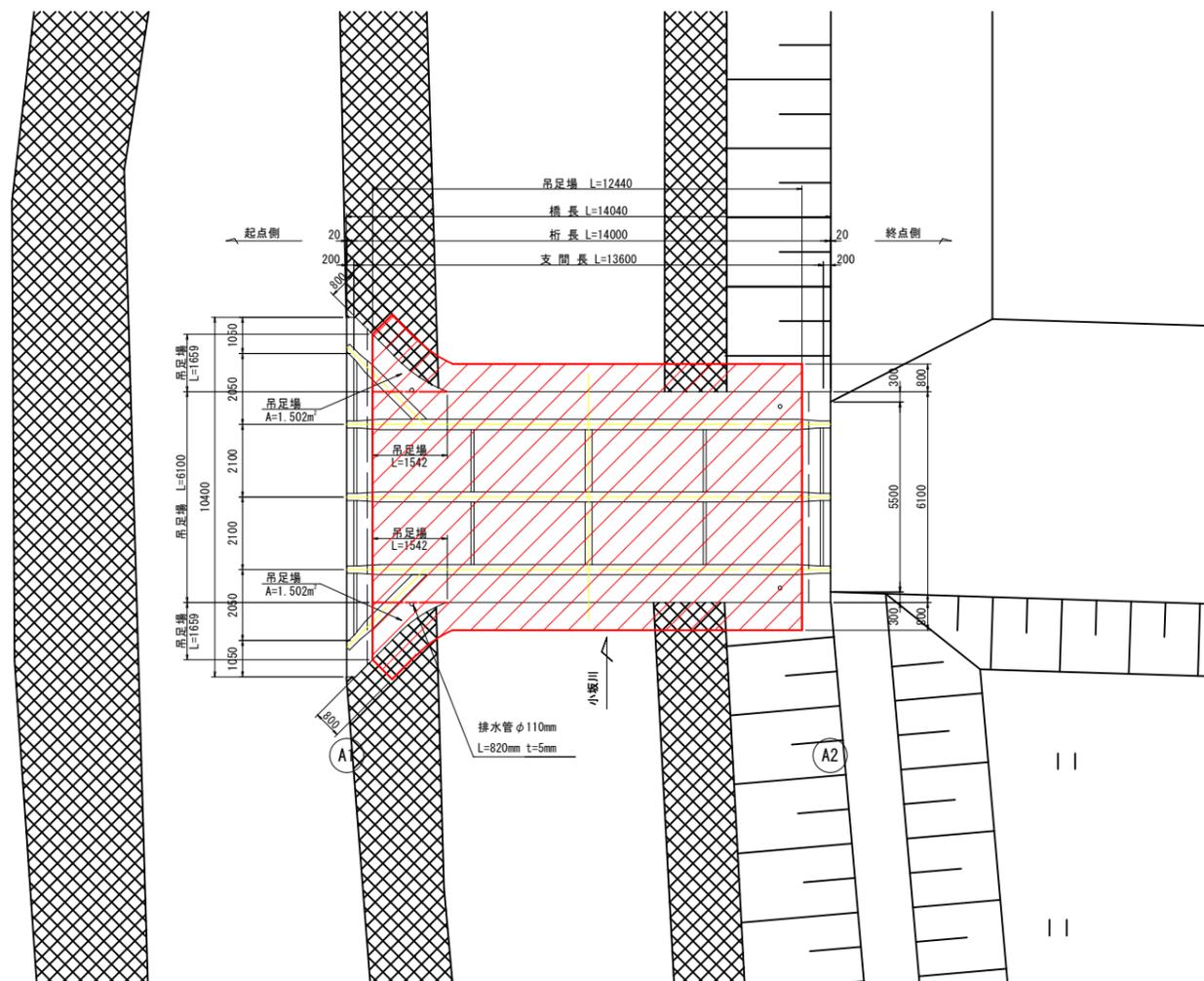
側面図 S=1:100



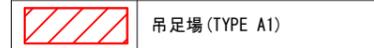
標準断面図 S=1:40



平面図 S=1:100



凡例

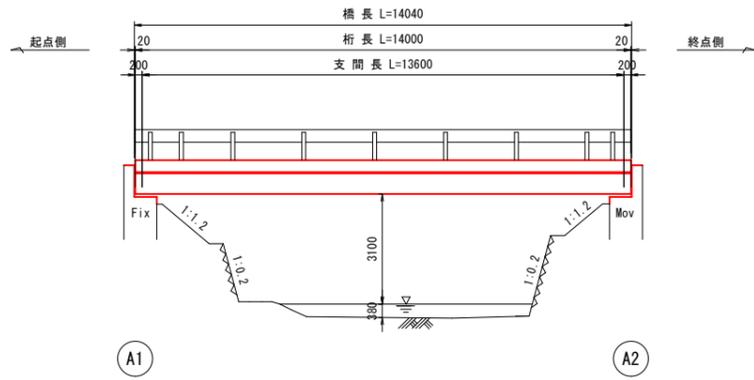


- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

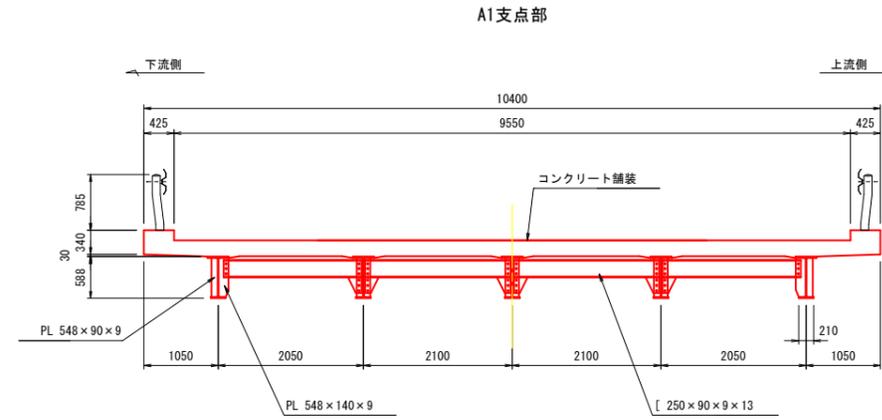
大板橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線(納所橋)外1路線)		
図面名	大板橋 仮設足場図(参考図)		
場所	三原市沼田東町納所外		
縮尺	図示	図面番号	3 / 8
三原市			

1号桥梁(大板橋) 桥梁一般図

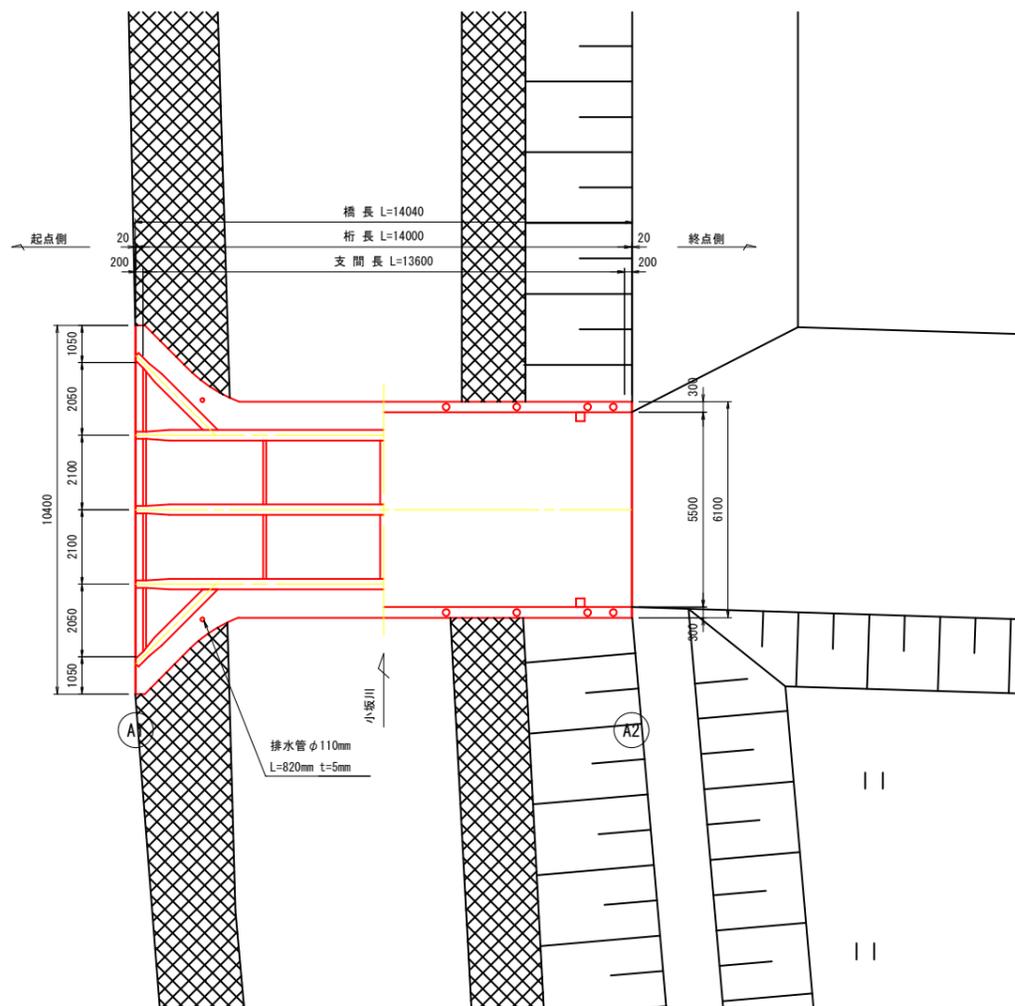
側面図 S=1:100



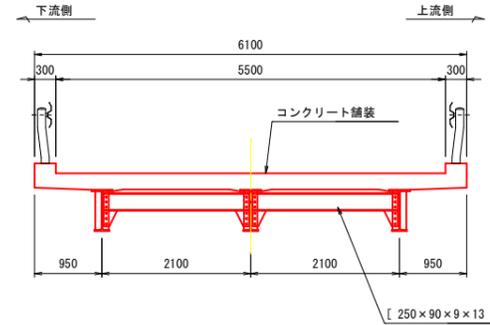
断面図 S=1:50



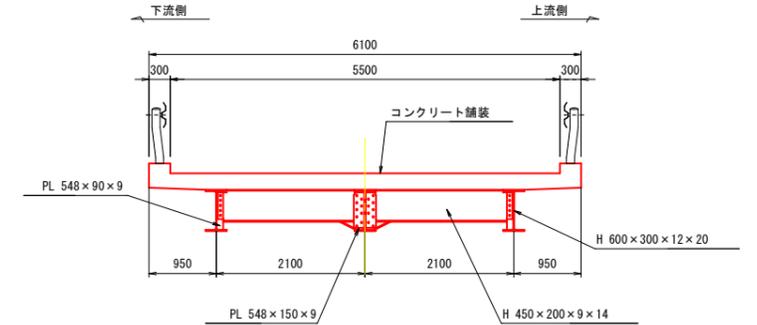
平面図 S=1:100



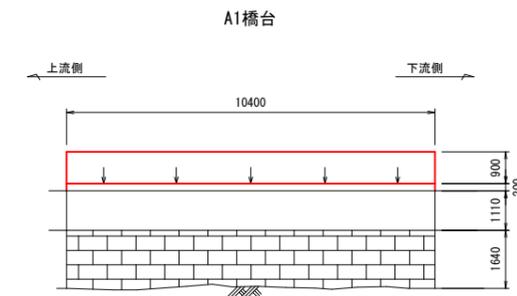
A2支点部



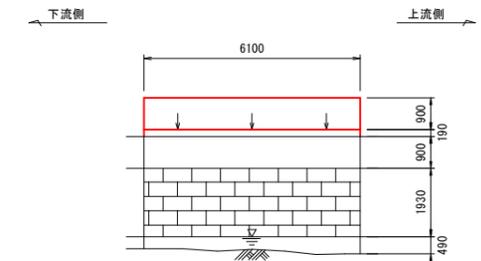
中間部



橋台正面図 S=1:100



A2橋台



※一般図は、現地計測結果を基に作成したものである。

大板橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線(納所橋)外1路線)
図面名	大板橋 橋梁一般図
場所	三原市沼田東町納所外
縮尺	図示 図面番号 4 / 8
三原市	

1号桥梁(大板橋) 桥梁変状図(その1)

S=1:40

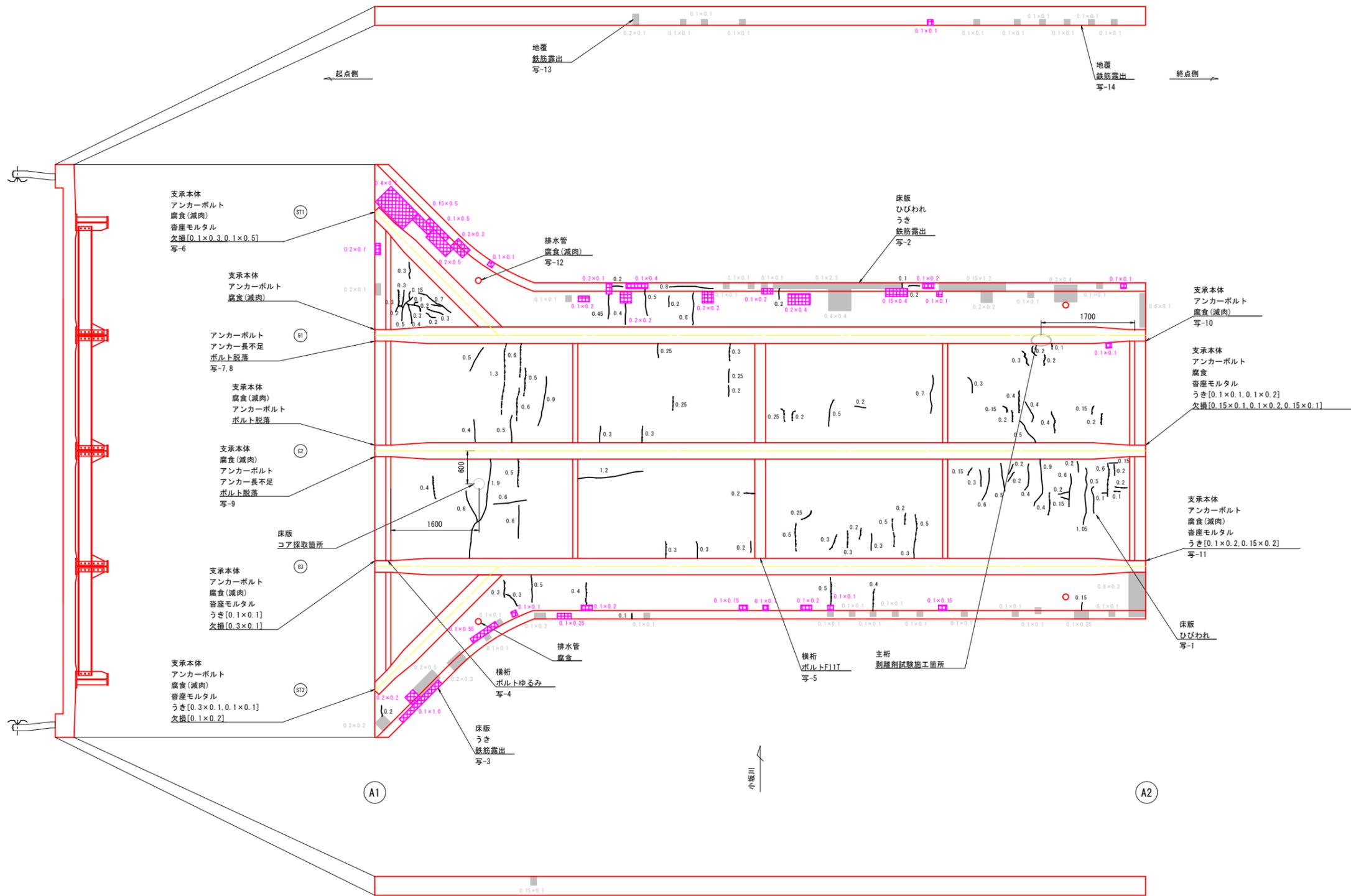
桁下面

変状凡例

	長さ(m)	ひびわれ(開口幅0.2mm未満)
	長さ(m)	ひびわれ(開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅×長さ(mm)	ひびわれ(開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅×長さ(mm)	ひびわれ(開口幅5.0mm以上)
	長さ(m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	縦×横(mm)	うき
	縦×横(mm)	剝離・欠損
	縦×横(mm)	鉄筋露出
	縦×横(mm)	豆板
	縦×横(mm)	遊離石灰
	縦×横(mm)	漏水(伝い水)
	縦×横(mm)	腐食(減肉)
		その他

調査凡例

	コア採取
	剝離剤試験施工



※ 鋼部材全体で防食機能の劣化(点錆)が見られる

大板橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線(納所橋)外1路線)
図面名	大板橋 橋梁変状図(その1)
場所	三原市沼田東町納所外
縮尺	図示 図面番号 5 / 8
三原市	

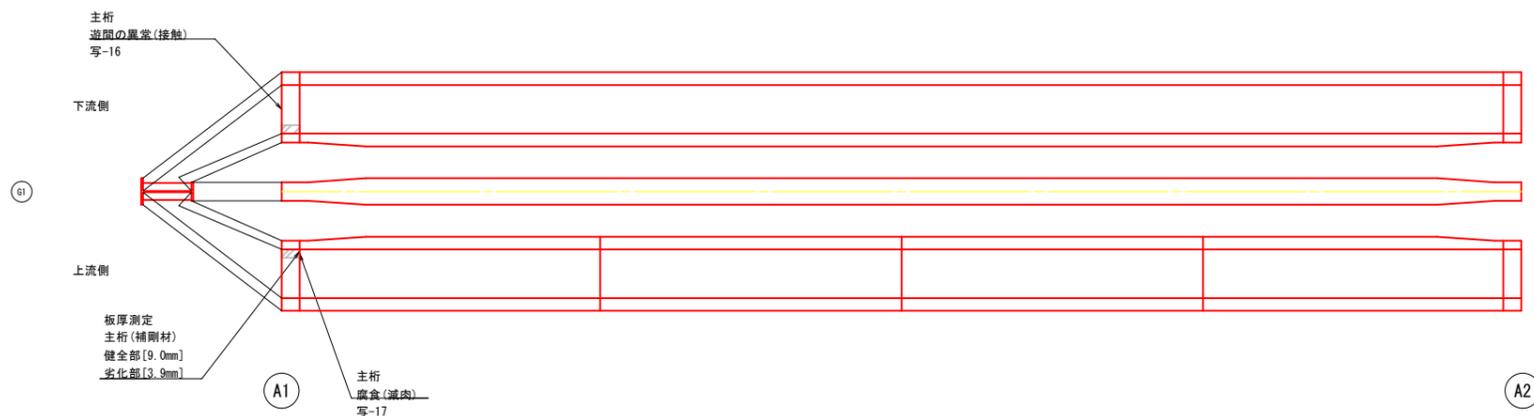
1号桥梁(大板橋) 桥梁変状図(その2)

S=1:40

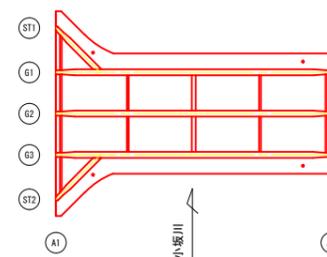
変状凡例

	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅5.0mm以上)
	長さ (m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	縦 × 横 (m) (m)	うき
	縦 × 横 (m) (m)	剝離・欠損
	縦 × 横 (m) (m)	鉄筋露出
	縦 × 横 (m) (m)	豆板
	縦 × 横 (m) (m)	遊離石灰
	縦 × 横 (m) (m)	漏水 (伝い水)
	縦 × 横 (m) (m)	腐食(減肉)
		その他

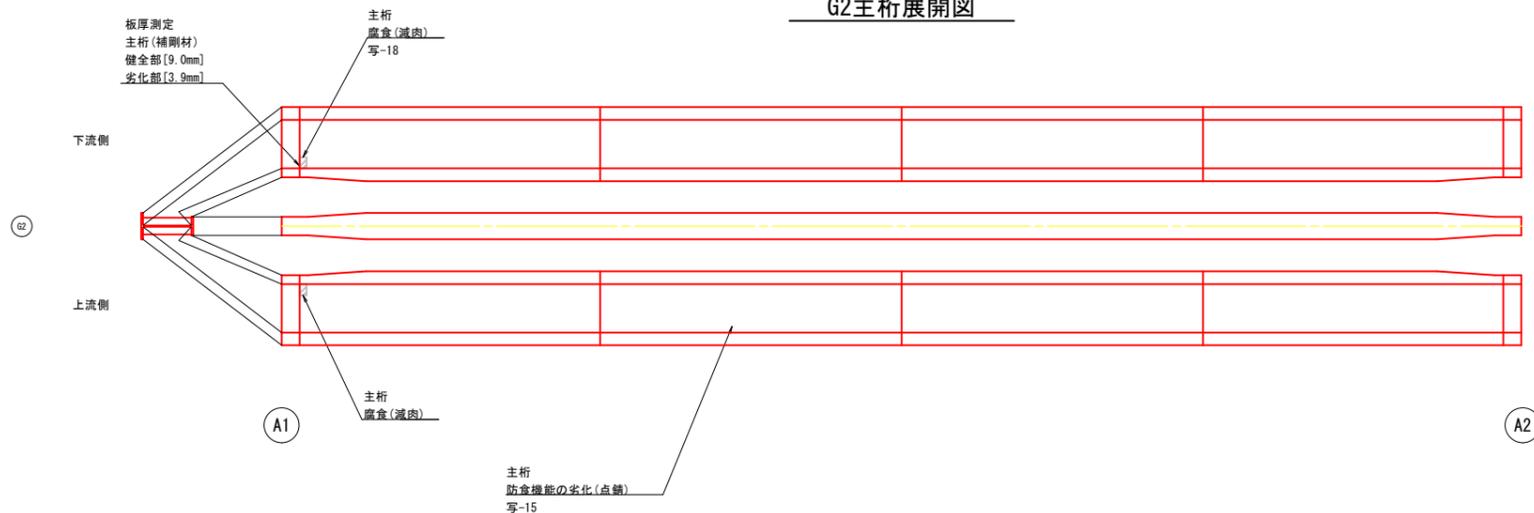
G1主桁展開図



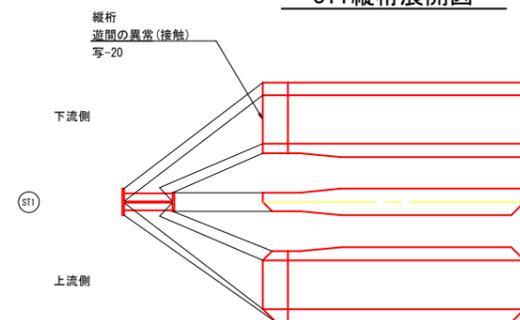
マーク図



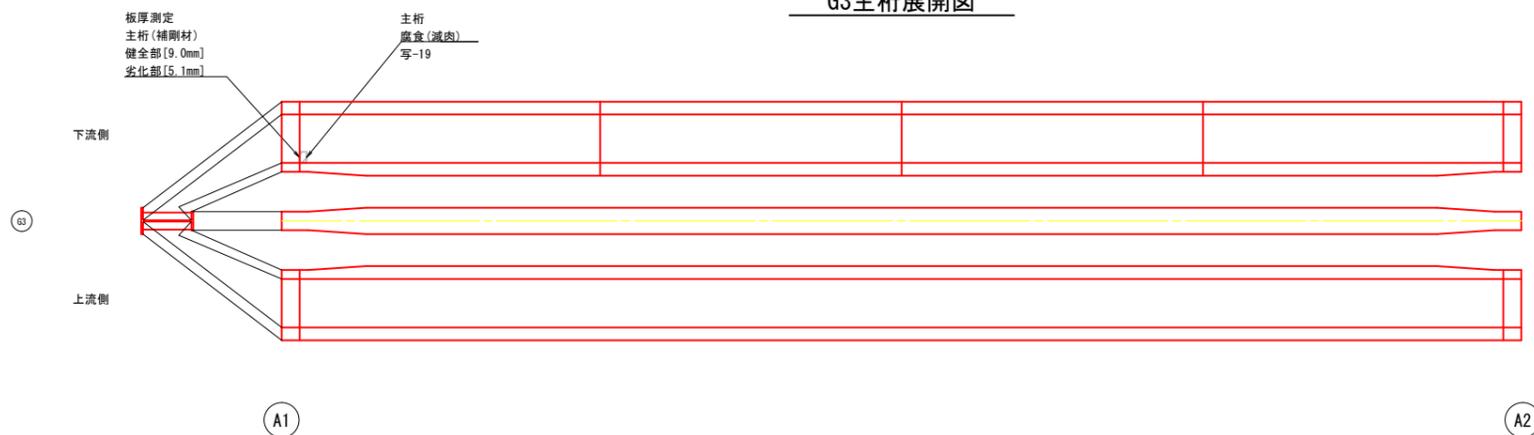
G2主桁展開図



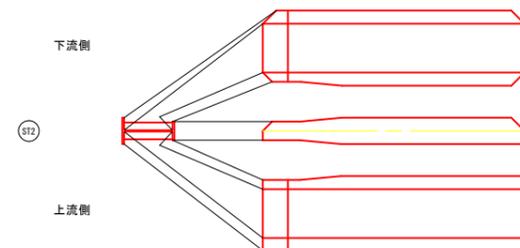
ST1縦桁展開図



G3主桁展開図



ST2縦桁展開図



※ 鋼部材全体で防食機能の劣化(点錆)が見られる

大板橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線 (納所橋) 外1路線)
図面名	大板橋 橋梁変状図 (その2)
場所	三原市沼田東町納所外
縮尺	図示 図面番号 6 / 8
三原市	

1号桥梁(大板橋) 桥梁変状図(その3)

S=1:40

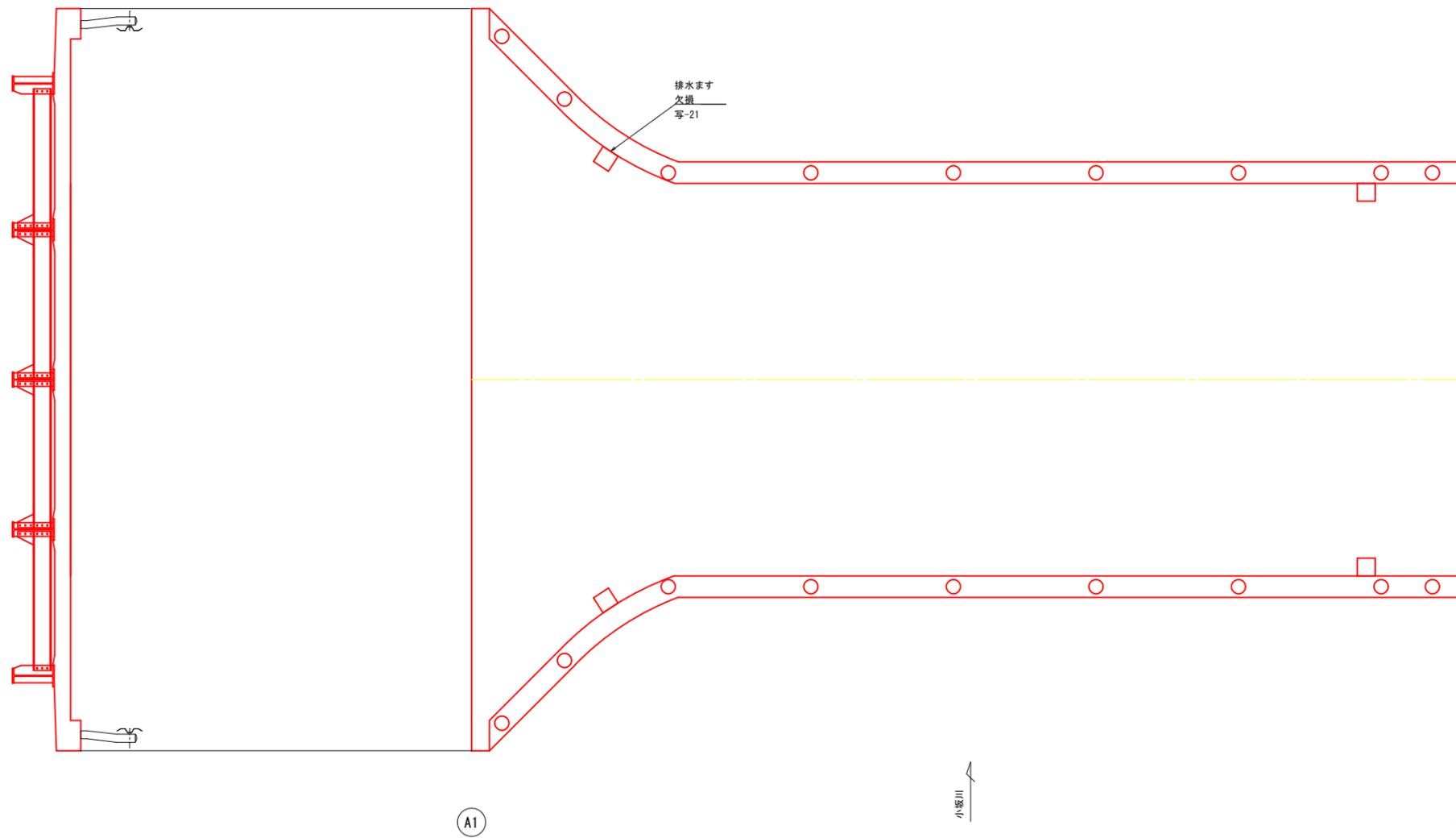
変状凡例

	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅5.0mm以上)
	長さ (m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	縦 × 横 (m) (m)	うき
	縦 × 横 (m) (m)	剥離・欠損
	縦 × 横 (m) (m)	鉄筋露出
	縦 × 横 (m) (m)	豆板
		遊離石灰
		漏水 (伝い水)
		腐食(減肉)
		その他

橋面

起点側

終点側



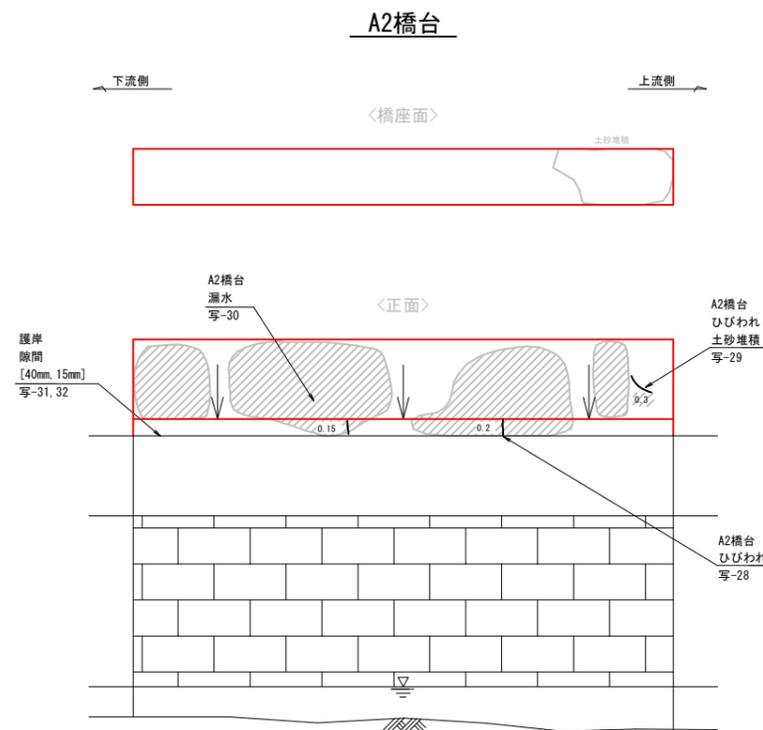
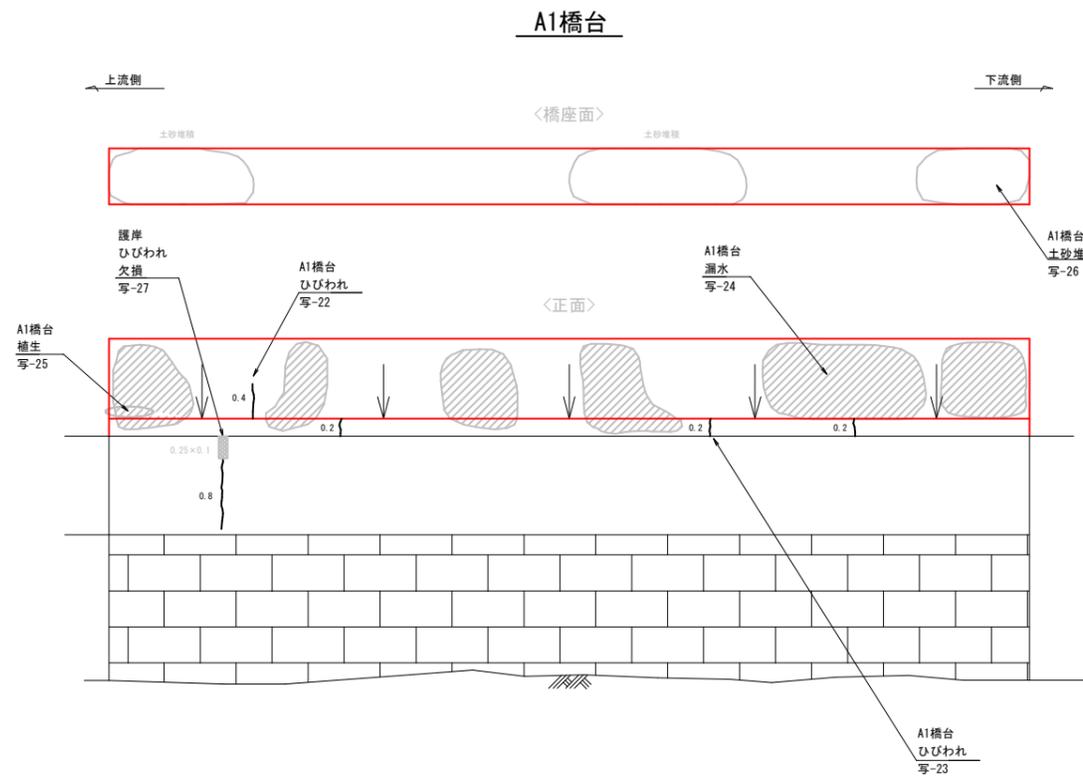
大板橋			
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部66号線(納所橋)外1路線)		
図面名	大板橋 橋梁変状図(その3)		
場所	三原市沼田東町納所外		
縮尺	図示	図面番号	7 / 8
三原市			

1号桥梁(大板橋) 桥梁変状図(その4)

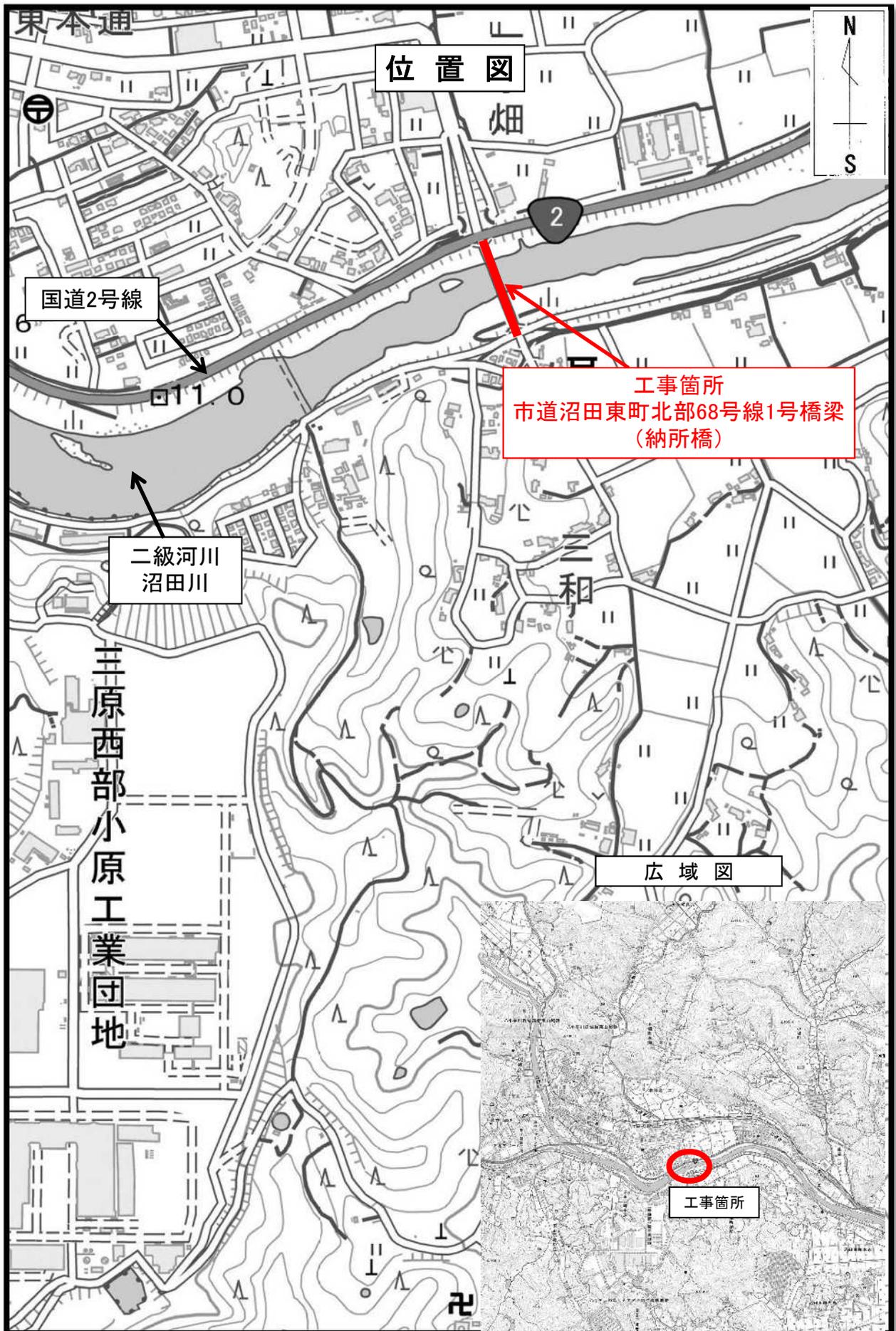
S=1:40

変状凡例

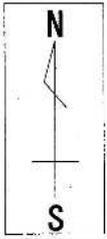
	長さ(m)	ひびわれ(開口幅0.2mm未満)
	長さ(m)	ひびわれ(開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅・長さ(mm)(m)	ひびわれ(開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅・長さ(mm)(m)	ひびわれ(開口幅5.0mm以上)
	長さ(m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	縦×横(m)(m)	うき
	縦×横(m)(m)	剝離・欠損
	縦×横(m)(m)	鉄筋露出
	縦×横(m)(m)	豆板
	縦×横(m)(m)	遊離石灰
	縦×横(m)(m)	漏水(伝い水)
	縦×横(m)(m)	腐食(減肉)
		その他



大板橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道沼田東町北部68号線(納所橋)外1路線)
図面名	大板橋 橋梁変状図(その4)
場所	三原市沼田東町納所外
縮尺	図示 図面番号 8 / 8
三原市	



位置図



国道2号線

二級河川
沼田川

三原西部小原工業団地

工事箇所
市道沼田東町北部68号線1号橋梁
(納所橋)

広域図

工事箇所

